NTT docomo

F-41A

arrows Be4

取扱説明書

はじめに

「F-41A」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用の前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

取扱説明書について

「クイックスタートガイド」（本体付属品）

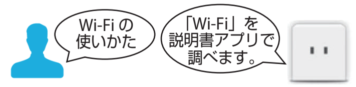
各部の名称と機能について説明しています。

「取扱説明書」アプリ（eトリセツ）（本端末のアプリ）

機能の詳しい案内や操作について説明しています。
フリーワード検索や表示中のページから設定画面やアプリを直接起動できるなど、本端末をより便利にお使いになれます。



【ご利用方法】
ホーム画面で → ［取扱説明書］
※初めてご利用になる場合は、画面の指示に従って本アプリをダウンロードしてインストールする必要があります。
※「my daiz」から「取扱説明書」（eトリセツ）アプリを呼び出すこともできます。



「取扱説明書」（PDFファイル）

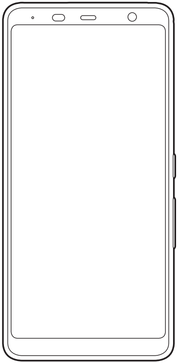
機能の詳しい案内や操作について説明しています。
ドコモのホームページでダウンロードできます。

本書の見かた

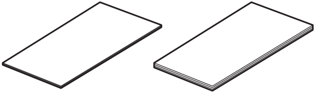
- 本書においては、「F-41A」を「本端末」と表記しています。
- 本書は、お買い上げ時の内容を記載しています。
- 本端末は、品質改善や機能の追加のため、オペレーティングシステム（OS）のバージョンアップを行うことがあります。その際、操作方法が変更になったりすることがありますので、機能の追加や操作方法の変更などに関する情報は、ドコモのホームページをご覧ください。また、古いOSバージョンで使用していたアプリが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- 本書は端末色が「Gold」、ホームアプリが「docomo LIVE UX」の場合で説明しています。
- 本書の内容やホームページのURLに関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書に掲載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書内の「認証操作」という表記は、機能に応じて暗証番号やパスワードなどを入力する操作、または指紋認証を行う操作を表しています。

本体付属品

■ F-41A本体



■ クイックスタートガイド
ご利用にあたっての注意事項



- 本端末に対応するオプション品（別売品）は、ドコモのオンラインショップでも確認、購入いただけます。
https://onlineshop.smt.docomo.ne.jp/options/search.html

目　次

カメラ 100

アプリ 107

本体設定 124

ファイル管理 162

データ通信 164

外部機器接続 168

海外利用 170

付録 177

索引 204

注意事項

本端末のご利用について

- 本端末は、LTE・W-CDMA・GSM/GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない場所、屋外でも電波の弱い場所、LTEサービスエリアおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強く電波状態アイコンがを表示している状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、LTE・W-CDMA・GSM/GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- 本端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い場所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身で本端末に登録されたデータは、定期的にメモを取ったり、microSDカードやパソコンなどの外部記録媒体に保管してくださるようお願いします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリやアクセスしたサイトなどによっては、本端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用されたりする可能性があります。このため、ご利用になるアプリやサイトなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケットパック／パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- お客様がご利用のアプリやサービスによっては、Wi-Fi通信中であってもパケット通信料が発生する場合があります。
- microSDカードや端末の空き容量が少ない場合、起動中のアプリが正常に動作しなくなることがあります。その場合は保存されているデータを削除してください。
- 紛失に備え画面ロックのパスワードなどを設定し、本端末のセキュリティを確保してください。→P142
- 万が一紛失した場合は、Gmail™、Google Play などのGoogle™ サービスやSNSなどを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワード変更や認証の無効化を行ってください。

- Google LLC が提供するアプリを含む第三者提供サービスおよびアプリのご利用にあたっては、Google および各提供元が定める利用規約などをご確認ください。当該サービスおよびアプリに起因するすべての不具合について、当社としては一切の責任を負いかねます。
- 利用規約などが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- アプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- spモード、mopera UおよびビジネスmoperaインターネットJ以外のプロバイダはサポートしておりません。
- ご利用の料金など詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 本端末は有機ELディスプレイを使用しています。長時間同じ画像を表示させるとディスプレイに残像が発生することがありますが故障ではありません。残像発生防止のため、長時間同じ画像を表示し続けないようにしてください。
- ディスプレイの明るさを必要以上に明るい設定にしたり、極端に長く使用したりすると部分的に明るさが落ちたり、色が変化する場合があります。また、見る方向によって色や明るさのむら、色の変化が見える場合があります。これらは、有機ELディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。
- 市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

おすすめ機能

■ Exlider

Exliderに触れることで、画面の拡大／縮小、スクロールが指1本でかんたんに操作できます。→P49

■ FASTフィンガーランチャー

指紋センサーに触れてスライドすると、ロック解除とよく使うアプリの起動がかんたんにできます。→P145

■ ジュニアモード

使用可能なアプリや時間帯、1日の使用可能時間の上限が設定できるため、お子様にも安心して持たせることができます。→P154

■ 画面が見やすくなるモードを各種搭載

文字やアイコンが大きく読みやすいシンプルホーム、文字やアイコンの大きさを自動的に調整する「はっきり文字」、文章などの一部分を拡大させる「くっきり表示」など、画面が読みやすくなるさまざまな機能を搭載しています。→P64、P150

■ radiko+FM

本端末にはハイブリッドラジオアプリ「radiko+FM」が搭載されており、最新の情報を得たり、タイムフリー機能で過去1週間以内の番組を聴いたりすることができます。FM放送で聴く場合は、イヤホンケーブル（別売）を本端末に接続することで、アンテナとして利用できます。→P113

■ 電池長持ち充電機能

フル充電時の充電量を約85%で停止するよう設定することで、電池寿命を延ばすことができます。→P136

■ ララしあコネクト

歩数・歩速、心拍数、睡眠時間、血圧などのデータを元に、健康管理をサポートします。→P113

■ 迷惑電話対策機能

発信時に有効な「還付金詐欺機能対策」機能と、着信時に有効な「迷惑電話対策」機能が搭載されています。→P153

■ かんたんお引越し

携帯電話の電話帳やスケジュール、写真や動画などのデータを、microSDカードを利用して本端末に移行できます。→P123

機能の詳細については、富士通のホームページ（https://www.fmworld.net/product/phone/f-41a/）をご覧ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷（※1）を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷（※1）を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷（※2）を負う可能性が想定される場合および物的損害（※3）の発生が想定される」内容です。

※1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。

※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

◆本端末、アダプタ、ドコモnanoUIMカードの取り扱い（共通）

⚠危険

禁止

高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止

電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止

砂や土、泥をかけたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水・防塵性能については以下をご参照ください。

→P24「防水／防塵、耐衝撃性能」

禁止

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡れた状態では、充電しないでください。

また、風呂場などの水に触れる場所では、充電しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については以下をご参照ください。

→P24「防水／防塵、耐衝撃性能」

禁止
本端末に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶつけたり、物に挟んだりしないでください。
内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。
※ ご注意いただきたい例
- ズボンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする
- 上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む
- ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける
- 電車やバスなどの座席シートに挟み込む

禁止
本端末の内蔵電池を取り外そうとしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止
本端末の外装ケース（背面）を取り外そうとしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

分解禁止
分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

水濡れ禁止
水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
→P24「防水／防塵、耐衝撃性能」

水濡れ禁止
充電端子や外部接続端子に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
→P24「防水／防塵、耐衝撃性能」

指示
オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。
指定以外のものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠警告

禁止
落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止
充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止
使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどなどの原因となります。

指示
所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。

指示

可燃性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
可燃性ガスなどへの引火により、爆発や火災などの原因となります。

指示

ガソリンスタンド構内などでの使用については、各施設の指示に従ってください。
ガソリンスタンド構内などでは充電をしないでください。
また、ガソリンスタンド構内などでご使用になる際は落下などに注意し、特に給油中は使用しないでください。
可燃性ガスなどへの引火により、爆発や火災などの原因となります。

指示

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は安全に注意し、次の作業を行ってください。

- 電源プラグをコンセントやアクセサリーソケットから抜く。
- 本端末の電源を切る。

上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠注意

禁止

破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。バイブレータ設定中は特にご注意ください。
落下して、けがなどの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
→P24「防水／防塵、耐衝撃性能」

禁止

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。

禁止

乳幼児の手の届く場所に置かないでください。スロットキャップのトレイなどの小さい部品の保管場所には特にご注意ください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。

指示

本端末を継続してご使用になる場合や充電中は温度が高くなることがありますのでご注意ください。また、衣類のポケットに入れたり、眠ってしまったりするなどして、意図せず継続して触れることがないようご注意ください。
アプリ、通話、データ通信、動画視聴など、長時間の使用や充電中は、本端末やアダプタの温度が高くなることがあります。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

◆本端末の取り扱い

⚠危険

禁止 **火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。**
火災、やけど、けがなどの原因となります。

禁止 **鋭利なもの（釘など）を刺したり、硬いもの（ハンマーなど）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。**
火災、やけど、けがなどの原因となります。

指示 **本端末内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。**
本端末内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

⚠警告

禁止 **フラッシュ／ライトの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。**
視力障害などの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止 **自動車などの運転者に向けてフラッシュ／ライトを点灯、発光しないでください。**
運転の妨げとなり、事故などの原因となります。

禁止 **点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。**
けいれんや意識喪失などの原因となります。

禁止 **本端末内のスロットキャップの挿入口に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や金属片（カッターの刃やホチキスの針など）、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。**
また、ドコモnanoUIMカードやmicroSDカードの挿入場所や向きを間違えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止 **カメラのレンズに直射日光などを長時間当てないでください。**
レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

指示 **航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切るか、機内モードに設定してください。**
航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

指示 **病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。**
使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。
電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。

ハンズフリーに設定して通話するときや、大きな音で着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

指示

ハンズフリーに設定して通話すると、本端末から大きな音が出ます。
待ち受け中であっても、突然の着信音やアラーム音が鳴動する場合があります。
大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障害の原因となります。
また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

指示

突然の着信バイブレータ（振動）や着信音の鳴動に驚き、心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

指示

電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

指示

電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

ディスプレイ部やカメラのレンズなどのガラスを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。

指示

破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。

内蔵電池内部の物質が漏れたり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

指示

漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。

ペットなどが本端末に噛みつかないようご注意ください。

指示

内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠注意

禁止
ストラップなどを持って本端末を振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。

禁止
モーションセンサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。

禁止
ディスプレイを破損し、内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

禁止
一般のゴミと一緒に捨てないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本端末は、ドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。

禁止
内蔵電池内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

指示
自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示
本端末の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
各箇所の材質については以下をご参照ください。
→P16「材質一覧」

指示
本端末のアウトカメラ部、受話口部、スピーカー部に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片（カッターの刃やホチキスの針など）が付着していないことを確認してください。
付着物により、けがなどの原因となります。

指示
ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。
暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

◆アダプタの取り扱い

⚠警告

禁止
アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止 **DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。**
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止 **雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。**
感電などの原因となります。

禁止 **コンセントやアクセサリーソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、体の一部を触れさせないでください。**
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止 **アダプタのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。**
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止 **コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。**
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止 **ACアダプタに変圧器（海外旅行用のトラベルコンバーターなど）を使用しないでください。**
発火、発熱、感電などの原因となります。

禁止 **本端末にアダプタを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

濡れ手禁止 **濡れた手でアダプタのコードや充電端子、電源プラグに触れないでください。**
火災、やけど、感電などの原因となります。

指示 **指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。**
誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。
ACアダプタ：AC100V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）

指示 **DCアダプタのヒューズを交換する場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。**
指定以外のヒューズを使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。指定のヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指示 **電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。**
ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。

指示 **アダプタをコンセントやアクセサリーソケットに差し込むときは、確実に差し込んでください。**
確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。

指示 **電源プラグをコンセントやアクセサリーソケットから抜く場合は、アダプタのコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタを持って抜いてください。**
アダプタのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。

指示

本端末にアダプタを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。

正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

指示

充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。

充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

電源プラグを抜く

使用しない場合は、電源プラグをコンセントやアクセサリーソケットから抜いてください。

電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。

電源プラグを抜く

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）が付着した場合は、直ちに電源プラグをコンセントやアクセサリーソケットから抜いてください。

付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやアクセサリーソケットから抜いて行ってください。

抜かずに行うと、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠注意

禁止

コンセントやアクセサリーソケットにつないだ状態でアダプタに継続して触れないでください。

やけどなどの原因となります。

◆ ドコモnanoUIMカードの取り扱い

⚠注意

指示

ドコモnanoUIMカードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。

切断面が鋭利になっている場合があり、けがなどの原因となります。

◆医用電気機器近くでの取り扱い

⚠警告

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末を15cm以上離して携行および使用してください。（指示）
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器をご使用になる場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。（指示）
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください（機内モードまたは電源オフなど）。（指示）
付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。（指示）
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

◆材質一覧

■F-41A 本体

使用箇所		材質／表面処理
ディスプレイパネル		強化ガラス／AFコーティング
外装ケース		PA-GF樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
受話口		ポリエステル／なし
フラッシュ／ライトパネル		PC樹脂／なし
アウトカメラパネル		PMMA・PC複合材／ハードコート
電源キー		PC樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
音量キー		PC樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
スロットキャップ	キャップ本体	PC樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
	キャップ本体パッキン部	シリコンゴム／なし
	キャップ本体ツメ部	ポリエステル系エラストマー樹脂／なし
	トレイ	POM樹脂／なし
ステレオイヤホン端子		PA樹脂／なし

使用箇所		材質／表面処理
銘板プレート（プレート、バーコード）		PET／なし
USB Type-C接続端子		PA樹脂／なし
指紋センサー／Exlider	センサー部	エポキシ樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
	ベゼル部	アルミ／アルマイト処理

取り扱い上のご注意

◆共通のお願い

- **F-41Aは防水／防塵性能を有しておりますが、本端末内部に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物を入れたり、オプション品にこれらを付着させたりしないでください。**
  - アダプタ、ドコモnanoUIMカードは防水／防塵性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所や雨などがかかる場所でのご使用はおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。修理につきましては、本書巻末の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
  - 強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
  - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジンなどで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- **端子や指紋センサーなどは時々清掃し、きれいな状態で使用してください。**
  - 端子などが汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。
    また、清掃する際には端子などの破損に十分ご注意ください。

- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
  - 急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- **本端末に無理な力がかからないように使用してください。**
  - 多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、内蔵電池などの故障、破損の原因となります。
    また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、故障、破損の原因となります。
- **オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。**
  - 指定以外のものを使用すると、故障、破損の原因となります。
- **対応の各オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**
- **落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  - 故障、破損の原因となります。

◆本端末についてのお願い

- **ディスプレイを強く押したり、先の尖ったもので操作したりしないでください。**
  - 傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- **極端な高温、低温は避けてください。**
  - 温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
    風呂場でのご使用については、「F-41Aが有する防水性能でできること」（→P25）をご参照ください。
- **家庭用電子機器（テレビ・ラジオなど）をお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**
- **お客様ご自身で本端末に登録されたデータは、microSDカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。**
  - 万が一、登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
  - 故障、破損の原因となります。
- **使用中や充電中に本端末が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **カメラのレンズを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
  - 素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- **通常はスロットキャップを閉じた状態でご使用ください。**
  - 水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物が入り故障の原因となります。
- **指紋センサーに強い衝撃を与えたり、表面に傷をつけたりしないでください。**
  - 指紋センサーの故障の原因となるだけでなく、認証操作ができなくなる場合があります。
- **microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。**
  - データの消失、故障の原因となります。
- **磁気カードや磁気を帯びたものを本端末に近づけないでください。**
  - キャッシュカード、クレジットカード、交通系ICカードなどのデータが消えてしまうことがあります。
    また、強い磁気を近づけると本端末の誤動作の原因となります。

- **本端末をフィルムやシールで装飾しないでください。**
  - 近接センサーを使用する各種機能が正常に動作しない場合があります。
    近接センサーの位置は、以下をご参照ください。
    →P33「各部の名称と機能」
- **内蔵電池は消耗品のため、保証対象外です。**
  - 内蔵電池の使用条件により、寿命が近づくにつれて内蔵電池が膨れる場合があります。
    十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときや、内蔵電池が膨らんでいるときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、本書巻末の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。**
- **本端末を保管される場合は、内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となるため、下記のような状態で保管しないでください。**
  - フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
  - 電池残量なしの状態（本端末の電源が入らない程消費している状態）での保管

  なお、保管に適した電池残量の目安は40パーセント程度です。
- **本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。**

表　示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

- **指紋センサーに金属を近づけないでください。**
  - Exliderが誤動作する場合があります。

◆アダプタについてのお願い

- **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **次のような場所では、充電しないでください。**
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - 家庭用電子機器（テレビ・ラジオなど）の近く
- **充電中にアダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。**
  - 自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- **抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。**
- **強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。**
  - 故障の原因となります。

◆ ドコモnanoUIMカードについてのお願い

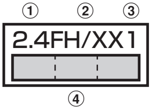
- ドコモnanoUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどにドコモnanoUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分は時々清掃し、きれいな状態で使用してください。
  - IC部分が汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身で、ドコモnanoUIMカードに登録されたデータは、microSDカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。
  - 万が一、登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったドコモnanoUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
  - データの消失、故障の原因となります。
- ドコモnanoUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  - 故障の原因となります。
- ドコモnanoUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
  - 故障の原因となります。
- ドコモnanoUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けないでください。
  - 故障の原因となります。

◆ Bluetooth機能を利用する場合のお願い

■ 本端末は、Bluetooth機能を利用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を利用した通信を行う際にはご注意ください。

■ Bluetooth機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- 周波数帯について
  本端末のBluetooth機能が利用する周波数帯は次のとおりです。



① 2.4：2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
② FH/XX：変調方式がFH-SS方式およびその他の方式（DS-SS方式／DS-FH方式／FH-OFDM複合方式／OFDM方式以外）であることを示します。
③ 1：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
④ ▭：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

ご利用の国によってはBluetooth機能の利用が制限されている場合があります。その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。
航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。

Bluetooth機器使用上の注意事項

本端末の利用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで利用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに利用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

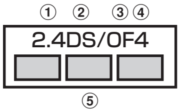
◆無線LAN（WLAN）についてのお願い

■ 無線LAN（WLAN）は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、利用することを推奨します。

■ 無線LAN機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- 無線LANについて
  電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで利用しないでください。
  - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
  - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
  - 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャネルを利用していると、正しく検索できない場合があります。

- **周波数帯について**
  本端末の無線LAN機能が利用する周波数帯は次のとおりです。



① 2.4：2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
② DS：変調方式がDS-SS方式であることを示します。
③ OF：変調方式がOFDM方式であることを示します。
④ 4：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
⑤ ：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャネルは国により異なります。WLANを海外で利用する場合は、その国の利用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。
航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。
圏外の場合には、国内外に関わらず2.4GHz帯の12、13チャネルは使用できません。

2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

5GHz機器使用上の注意事項

5.2／5.3GHz帯無線LANの屋外利用は法律で禁止されています（5.2GHz帯高出力データ通信システムのアクセスポイント／中継局と通信する場合を除く）。
本端末が日本で使用できる周波数とチャネル番号は次のとおりです。

- 5.2GHz帯：5180～5240MHz（36、38、40、42、44、46、48ch）
- 5.3GHz帯：5260～5320MHz（52、54、56、58、60、62、64ch）
- 5.6GHz帯：5500～5720MHz（100、102、104、106、108、110、112、116、118、120、122、124、126、128、132、134、136、140、144ch）

◆FeliCaおよびNFCリーダー／ライターについて

- **本端末のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター，P2P機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を利用しています。**
- **使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター，P2P機能をご利用の場合、十分に離してお使いください。**
  また、他の同一周波数帯を利用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。
- **航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。ご利用の国によっては利用が制限されている場合があります。**
  その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

◆注意

- **改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。**
  本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク」が本端末の電子銘板に表示されております。
  電子銘板は、本端末で次の手順でご確認いただけます。
  ホーム画面で→［設定］→［デバイス情報］→［規制ラベル］
  本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**
  法令で定める場合を除き、運転中に本端末の画面を注視したり、手で持って通話することは、罰則の対象となります。
- **本端末のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。**
- **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**
  ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

防水／防塵、耐衝撃性能

F-41Aは、スロットキャップをしっかりと閉じた状態で、IPX5※1、IPX8※2の防水性能、IP6X※3の防塵性能を有しています。また、MIL規格に準拠する試験※4をクリアした耐衝撃構造を採用しています。

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、通信機器としての機能を有することを意味します。

※2 IPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mのところに携帯電話を静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに通信機器としての機能を有することを意味します。

※3 IP6Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に携帯電話を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。

※4 米国国防総省が制定したMIL-STD-810G Method 516.6-Shockに準拠した独自の落下試験を実施しています。

落下	高さ約1.22mから26方向で合板（ラワン材）に落下させる試験
耐衝撃	40Gの衝撃を6方向から3回与える試験
防水（浸漬）	30分間にわたる水深1.5mでの浸漬試験
防塵（6時間風速有り）	連続6時間（粉塵10±7g/m^3、風速8.9m/s）の粉塵試験
防塵（脆弱面90分）	脆弱面に最小で90分間砂を当てる試験
塩水耐久	連続96時間（濃度5%の塩水を噴霧24時間、乾燥24時間を2サイクル）の塩水耐久試験
防湿	連続10日間（湿度95%、30～60℃）の高湿度試験
耐日射（連続）	連続24時間（合計1,120W/m^2）の日射試験
耐日射（湿度変化）	温度差（+49度差）を与えると同時に、すべての湿度レベルで対日射を繰り返す試験（24時間サイクルで3回）
耐振動	3時間（3方向各1時間）の振動試験
防水（風雨）	30分間にわたる18m/sの降雨試験
雨滴	1mの高さから15分間雨滴を落とす試験
熱衝撃	-21～50℃の急激な温度変化において、連続3時間の温度耐久試験
高温動作（60℃固定）	動作環境：60℃の高温試験
高温動作（32～49℃変化）	温度32～49℃までの変化を3サイクル実施する高温試験
高温保管（70℃固定）	保管環境：70℃の高温試験
高温保管（30～60℃変化）	温度30～60℃まで変化させる高温試験
低温動作（-20℃固定）	動作環境：-20℃の低温試験
低温保管（-30℃固定）	保管環境：-30℃の低温試験
低圧動作	連続1時間（57.11kPa/約4,572m）の低圧試験

低圧保管	連続1時間（57.11kPa/約4,572m）の低圧試験
氷結（-10℃結露）	-10℃で結露や霧を発生させ1時間維持し、25℃、95%RHで動作確認（凍結融解）
氷結（-10℃氷結）	-10℃の冷却水で、6mm厚の氷が張るまで氷結させる試験

米国国防総省の調達基準（MIL-STD-810G）の23項目、落下、耐衝撃、防水（浸漬）、防塵（6時間風速有り）、防塵（脆弱面90分）、塩水耐久、防湿、耐日射（連続）、耐日射（湿度変化）、耐振動、防水（風雨）、雨滴、熱衝撃、高温動作（60℃固定）、高温動作（32～49℃変化）、高温保管（70℃固定）、高温保管（30～60℃変化）、低温動作（-20℃固定）、低温保管（-30℃固定）、低圧動作、低圧保管、氷結（-10℃結露）、氷結（-10℃氷結）に準拠した試験を実施しています。本端末の有する性能は試験環境下での確認であり、実際の使用時すべての環境での動作を保証するものではありません。また、無破損・無故障を保証するものではありません。

❖F-41Aが有する防水性能でできること

- **1時間の雨量が20mm程度の雨の中で、傘をささずに通話ができます。**
  - 手が濡れているときや本端末に水滴がついているときには、スロットキャップの開閉はしないでください。
- **常温の水道水で手洗いすることができます。**
  - スロットキャップが開かないように押さえたまま、強くこすらずに洗ってください。
  - 規定（→P24）以上の強い水流を直接当てないでください。
  - ブラシやスポンジ、指定（→P25）以外の石鹸などは使用しないでください。
  - 泥や土が付着した場合は洗面器などに溜めた水道水の中で数回ゆすって汚れを落とし、流水で洗い流してください。
  - 洗った後は所定の方法（→P31）で水抜きしてください。
- **本端末は、国内メーカー製の家庭用泡タイプのハンドソープあるいは国内メーカー製の家庭用液体タイプの食器用洗剤を使って洗うことができます（富士通コネクテッドテクノロジーズ株式会社試験方法による）。上記以外（固形石鹸や粉末石鹸など）は使用しないでください。**
  - 洗いかたについては「洗いかたについて」（→P28）をご参照ください。

※ 本製品の有する性能は試験環境下での確認であり、すべての泡タイプのハンドソープあるいは液体タイプの食器用洗剤で洗えることを保証するものではありません。

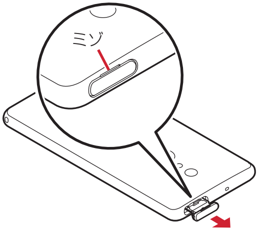
- **本端末についた泡は、やや弱めの水流（6L／分以下、常温の水道水）で、しっかりすすいでください。洗った後は乾いた清潔な布で水抜きしてください。**
- **本端末を洗う際はスロットキャップを確実に取り付けてください。**

- **風呂場で使用できます。**
  - 風呂場でご使用後は、所定の方法（→P31）で水抜きしてください。
  - 湯船には浸けないでください。また、お湯の中で使用しないでください。故障の原因となります。万が一、湯船に落としてしまった場合には、すぐに拾って所定の方法（→P31）で水抜きしてください。
  - 温泉や指定（→P25）以外の石鹸、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。万が一、水道水以外が付着してしまった場合は、前述の方法で洗い流してください。
  - 風呂場では、温度は5℃～45℃、湿度は45%～99%以下でご使用ください（但し、温度36℃以上または湿度86%以上は一時的な使用に限ります）。なお、すべての機能の連続動作を保証するものではありません。
  - 蛇口やシャワーからお湯をかけないでください。
  - 寒いところから暖かい風呂場などに本端末を持ち込むと、急激な温度変化でディスプレイやケース表面に結露が発生する場合があります。結露によりディスプレイが見にくくなったり、タッチ操作がしにくくなったりした場合は、本端末が常温になるまでお待ちください。

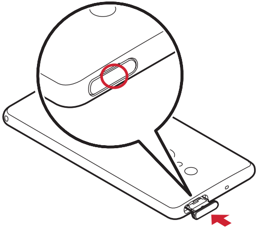
◆防水／防塵性能を維持するために

水や粉塵の侵入を防ぐために、必ず次の点を守ってください。

- ドコモnanoUIMカードやmicroSDカードの取り付け／取り外し時には、本端末のディスプレイ側を下に向け、ミゾに指先をかけてスロットキャップを開け、スロットキャップを矢印の方向にまっすぐ水平に引き出します。
  ※スロットキャップを開けた後、スロットキャップを下に強く押さないでください。スロットキャップの破損の原因となります。



- 使用後はスロットキャップを矢印の方向にまっすぐ水平に差し込み、◯部分をしっかり押します。本端末とスロットキャップの間にすき間がないことを確認してください。



- スロットキャップはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、水や粉塵が入る原因となります。
- ステレオイヤホン端子、USB Type-C接続端子、送話口／マイク、受話口、スピーカー、セカンドマイク、スロットキャップなどを尖ったものでつつかないでください。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- スロットキャップのゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。ゴムパッキンをはがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。

防水／防塵性能を維持するため、異常の有無に関わらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

◆ご使用にあたっての注意事項

次のイラストで表すような行為は行わないでください。

〈例〉



指定以外の石鹸／入浴剤をつける



ブラシ／スポンジで洗う



洗濯機で洗う



強すぎる水流を当てる



海水につける



温泉で使う

また、次の注意事項を守って正しくお使いください。

- オプション品は防水／防塵性能を有していません。本端末のUSB Type-C接続端子にACアダプタを接続している状態では、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。
- 規定（→P24）以上の強い水流を直接当てないでください。F-41AはIPX5の防水性能を有していますが、内部に水が入り、感電や電池の腐食などの原因となります。

- 万が一、塩水や海水、清涼飲料水などがかかったり、泥や土などが付着したりした場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- 本端末を水中で移動させたり、水面に叩きつけたりしないでください。
- プールで使用する際は、その施設の規則を守ってください。
- 本端末は水に浮きません。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。寒冷地では凍結したりして、故障の原因となります。
- ステレオイヤホン端子、送話口／マイク、受話口、スピーカー、セカンドマイクに水滴を残さないでください。通話不良となるおそれがあります。
- USB Type-C接続端子に水滴を残さないでください。
- 本端末を洗うときは、国内メーカー製の家庭用泡タイプのハンドソープあるいは国内メーカー製の家庭用液体タイプの食器用洗剤を使用してください。上記以外（固形石鹸や粉末石鹸など）は使用しないでください。
- 業務用・無添加・アルカリ性の泡ハンドソープあるいは業務用・無添加・アルカリ性の食器用洗剤は使用しないでください。本体が変色するおそれがあります。
- 指定（→P25）以外の石鹸、入浴剤、シャンプー、リンス、洗顔剤、メイク落とし、歯磨き粉などで洗わないでください。付着した場合はすぐに水で洗い流してください。
- 洗うときはスロットキャップが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。
- 洗濯機や超音波洗浄機、食器洗浄機などで洗わないでください。
- スロットキャップが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、ドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。
- スロットキャップのゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口にてお取り替えください。

実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

◆洗いかたについて

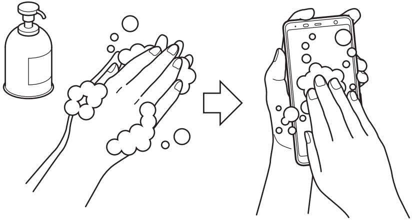
本端末を洗う場合には注意事項をご確認の上、次の手順で行ってください。

- 市販のアクセサリー商品（端末カバー、ケース、ストラップなど）は取り外してください。なお、市販のアクセサリー商品の取り扱いについては、各商品の注意事項をご確認ください。
- 国内メーカー製の家庭用泡タイプのハンドソープあるいは国内メーカー製の家庭用液体タイプの食器用洗剤を使用してください。上記以外（固形石鹸や粉末石鹸など）は使用しないでください。
- 食器用洗剤を使用する場合は、各製品の使用上の注意をよくお読みの上、使用量の目安を守って洗ってください。
- 本端末に、食器用洗剤の原液を直接つけないでください。原液がついた場合はすぐに水で洗い流してください。
- 本端末を洗う際は、腕時計、指輪、付け爪などの装飾品は外してください。本体に傷がつくおそれがあります。

- 本端末を洗う際は、電源を切ってから行ってください。
- スロットキャップはしっかりと閉じてください。

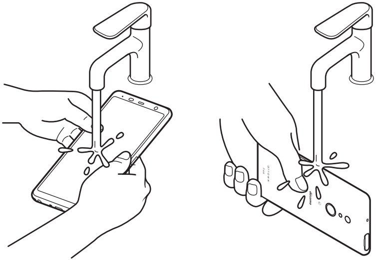
① 泡ハンドソープまたは食器用洗剤を手にとり、泡立ててください。本端末を手のひらに乗せ、前面と背面を泡でこするように洗ってください。

- スロットキャップが開かないように押さえたまま洗ってください。



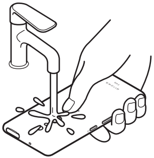
② 前面、背面、各ボタンなど、本端末についた泡が完全になくなるまですすいでください。

- やや弱めの水流（6L／分以下、常温の水道水）で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で洗ってください。
- スロットキャップの開閉はしないでください。
- スロットキャップに直接水をかけないでください。

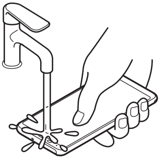


③ 指紋センサー／Exlider、受話口、セカンドマイク、ステレオイヤホン端子、送話口／マイク、USB Type-C接続端子、ストラップホール、スピーカーをすすいでください。

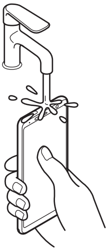
- セカンドマイク、受話口、送話口／マイク、スピーカーに泡ハンドソープや食器用洗剤の成分が残っていると目詰まりが発生し、着信音や通話時の音質が低下するおそれがあります。
また、USB Type-C接続端子は充電不良など故障の原因となります。
しっかり洗い流してください。



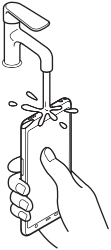
指紋センサー／Exlider



受話口



セカンドマイク



ステレオイヤホン端子
送話口／マイク
USB Type-C接続端子
ストラップホール
スピーカー

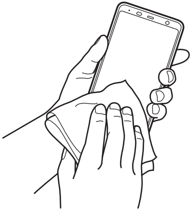
④ 水抜きをしてください。→P31

- 十分に乾燥させて、水滴が残っていないことを確認してください。

◆水抜きについて

本端末を水に濡らすと、拭き取れなかった水が後から漏れてくることがありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

① 本端末をしっかりと持ち、前面、背面を乾いた清潔な布などでよく拭き取ってください。

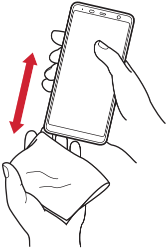


② 本端末をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。受話口とフラッシュ／ライト、指紋センサー／Exliderの位置を入れ替えて同じように振ってください。

- 本端末を振り落とさないように、しっかり握ってください。



③ 指紋センサー／Exlider、ステレオイヤホン端子、USB Type-C接続端子、送話口／マイク、受話口、スピーカー、セカンドマイク、キーなどのすき間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに本端末を10回程度振るように押し当てて確実に拭き取ってください。



④ 本端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、自然乾燥させてください。

- 水を拭き取った後に本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
- すき間に溜まった水を綿棒などで直接拭き取らないでください。

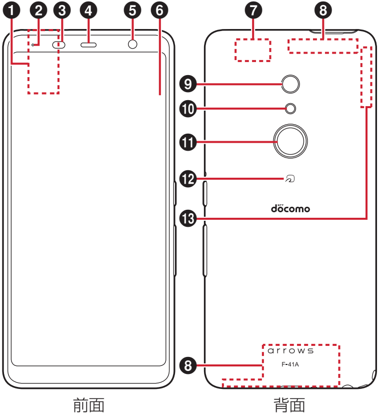
◆充電のときには

充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

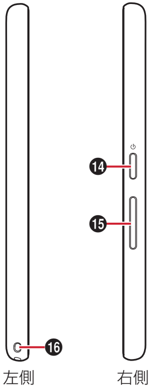
- 本端末が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
- 本端末が濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を拭き取ってから充電してください。
- USB Type-C接続端子に水滴や異物が入っていないか確認の上、ご使用ください。
- ACアダプタは、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りや水のかかる場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 濡れた手でACアダプタに触れないでください。感電の原因となります。

ご使用前の準備

各部の名称と機能



❶ 銘板プレート※1→P188
❷ お知らせLED→P57
❸ 近接センサー／照度センサー※2
通話中に顔の接近を検知してタッチパネルの誤動作を防止したり、画面の明るさの自動制御に使用したりします。
❹ 受話口
❺ インカメラ→P100
❻ ディスプレイ（タッチパネル）→P47
❼ Wi-Fi／Bluetoothアンテナ部※3
❽ LTE／FOMAアンテナ部※3
❾ アウトカメラ→P100
❿ フラッシュ／ライト
⓫ 指紋センサー／Exlider※4→P49、P143
⓬ マーク→P109
⓭ GPSアンテナ部※3



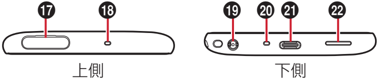
⓮ ⏻ **電源キー→P41、P50、P77、P132**

電源を入れる／切るときや、画面を点灯／消灯するときに使用します。1秒以上押すとメニューが表示され、再起動、機内モードの設定／解除、画面の保存、非常用節電モードの設定／解除の操作、緊急通報ができます。

⓯ **音量キー**

各種音量の調節やカメラの撮影などに使用します。

⓰ **ストラップホール**



⓱ **スロットキャップ**※5

⓲ **セカンドマイク**※6

通話時に騒音を抑えるために使用します。また、ハンズフリー通話中は送話口として使用します。

⓳ **ステレオイヤホン端子（防水）**

⓴ **送話口／マイク**※6

㉑ **USB Type-C接続端子（防水）**

充電時などに使用します。

㉒ **スピーカー**

※1 CEマーク、FCC ID、IMEI情報などを印刷したシールが貼られています。シールをはがしたり、銘板プレートを取り外したりしないでください。

※2 センサー部分に保護シートやシールなどを貼り付けたり、指などでふさいだりすると、誤動作したり正しく検知されない場合があります。

※3 本体に内蔵されています。手で覆うと通信品質に影響を及ぼす場合があります。

※4 センサー部分に保護シートやシールなどを貼り付けないでください。

※5 取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。また、水や粉塵の侵入を防ぐために、しっかりと閉じてください。

※6 保護シートやシールなどを貼り付けたり、指などでふさいだりしないでください。

■ ご注意

- 外装ケース（背面）は取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。
- 本端末の電池は内蔵されており、お客様ご自身では交換できません。

ドコモnanoUIMカード

ドコモnanoUIMカードとは、電話番号などのお客様情報が記録されているICカードです。

- 本端末ではドコモnanoUIMカードのみご利用できます。ドコモminiUIMカード、ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてドコモnanoUIMカードにお取り替えください。
- ドコモnanoUIMカードが本端末に取り付けられていないと、電話の発着信やSMSの送受信、パケット通信などの機能を利用することができません。
- 電源を入れた状態で、ドコモnanoUIMカードを取り付けたスロットキャップを抜き差しすると、本端末が再起動します。
- ドコモnanoUIMカードの取り扱いについての詳細は、ドコモnanoUIMカードの取扱説明書または、ドコモのホームページをご覧ください。

◆ ドコモnanoUIMカードの取り付け／取り外し

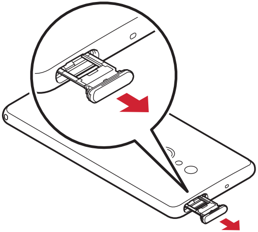
- 取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。
- ドコモnanoUIMカードの取り付けには、必ずスロットキャップを使用してください。ドコモnanoUIMカードを単体で取り付けると、故障の原因となります。

■ 取り付けかた

① 本端末のディスプレイ側を下に向け、ミゾに指先をかけてスロットキャップを開ける→P26

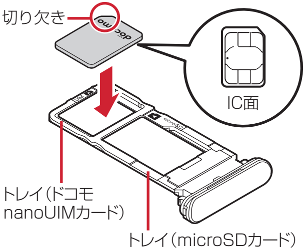
② スロットキャップを矢印の方向にまっすぐ水平に引き出す

- スロットキャップは本端末から外れる構造になっています。

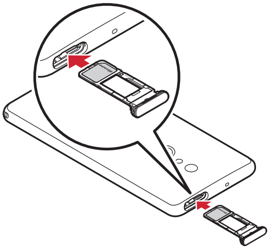


③ ドコモnanoUIMカードのIC面を下にして、スロットキャップのトレイ（ドコモnanoUIMカード）にはめ込む

- 切り欠きの方向と、はめ込むトレイにご注意ください。
- スロットキャップのトレイからドコモnanoUIMカードが浮かないようにはめ込んでください。



④ 本端末のディスプレイ側が下に向いていることを確認して、スロットキャップを矢印の方向にまっすぐ水平に差し込む



⑤ スロットキャップをしっかり押して閉じる→P27

■ 取り外しかた

① 本端末のディスプレイ側を下に向け、ミゾに指先をかけてスロットキャップを開ける→P26
② スロットキャップを矢印の方向にまっすぐ水平に引き出す→P35
③ ドコモnanoUIMカードをスロットキャップのトレイから取り外す
④ 本端末のディスプレイ側が下に向いていることを確認して、スロットキャップを矢印の方向にまっすぐ水平に差し込む→P36
⑤ スロットキャップをしっかり押して閉じる→P27

✔お知らせ

- ドコモnanoUIMカードを取り扱うときは、ICに触れたり、傷つけないようにご注意ください。また、ドコモnanoUIMカードを無理に取り付けたり取り外そうとすると、ドコモnanoUIMカードが壊れることがありますのでご注意ください。
- スロットキャップを挿入口に抜き差しする際は、無理に引き出したり差し込んだりしないでください。スロットキャップが破損するおそれがあります。

◆ ドコモnanoUIMカードの暗証番号

ドコモnanoUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。→P45

microSDカード

本端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを本端末に取り込んだりできます。

◆ microSDカードについて

- 本端末は、2GBまでのmicroSDカード、32GBまでのmicroSDHCカードまたはmicroSDHC UHS-Iカード、1TBまでのmicroSDXCカードまたはmicroSDXC UHS-Iカードに対応しています（2020年5月現在）。
- 市販されているすべてのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。対応のmicroSDカードは各microSDカードメーカーへお問い合わせください。
- microSDカードの読み込み中や、microSDカード内のデータ編集中に電源を切らないでください。データが壊れることや正常に動作しなくなることがあります。
- 他の機器からmicroSDカードに保存したデータは、本端末で表示、再生できないことがあります。また、本端末からmicroSDカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できないことがあります。

✔お知らせ

- microSDXCカードは、SDXC対応機器でのみご利用いただけます。SDXC非対応の機器にmicroSDXCカードを差し込むと、microSDXCカードに保存されているデータが破損することがあるため、差し込まないでください。データが破損したmicroSDXCカードを再度利用するためには、SDXC対応機器にてmicroSDXCカードを初期化（データはすべて削除されます）する必要があります。
- SDXC非対応機器とのデータコピーについては、コピー先（元）機器の規格に準拠したmicroSDHCカードまたはmicroSDカードをご利用ください。
- 動画撮影など大容量のデータを扱うアプリを利用する場合は、高速のmicroSDカード（クラス10以上を推奨）をご利用ください。
- microSDカードのスピードクラスは、クラス10まで使用できます。
- microSDカードのUHSスピードクラスは、クラス3まで使用できます。
- スピードクラスはmicroSDカードの性能であり、スピードクラスの性能のすべての動作を保証するものではありません。

◆ microSDカードの取り付け／取り外し

- スロットキャップにドコモnanoUIMカードを取り付けた状態で、microSDカードの取り付け／取り外しをするときは、電源を切ってから行ってください。
- スロットキャップにドコモnanoUIMカードを取り付けていない状態で、microSDカードの取り外しをするときは、microSDカードのマウントを解除（→P141）するか、電源を切ってから行ってください。
- microSDカードの取り付けには、必ずスロットキャップを使用してください。microSDカードを単体で取り付けると、故障の原因となります。

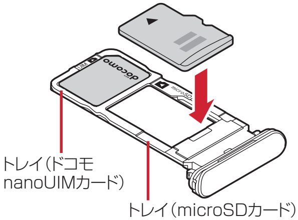
■ 取り付けかた

① 本端末のディスプレイ側を下に向け、ミゾに指先をかけてスロットキャップを開ける→P26

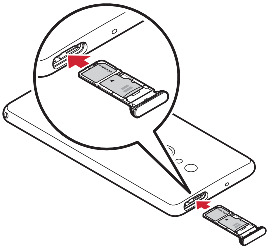
② スロットキャップを矢印の方向にまっすぐ水平に引き出す→P35

③ microSDカードの金属端子面を下にして、スロットキャップのトレイ（microSDカード）にはめ込む

- スロットキャップのトレイからmicroSDカードが浮かないようにはめ込んでください。



④ 本端末のディスプレイ側が下に向いていることを確認して、スロットキャップを矢印の方向にまっすぐ水平に差し込む



⑤ スロットキャップをしっかり押して閉じる→P27

■ 取り外しかた

① 本端末のディスプレイ側を下に向け、ミゾに指先をかけてスロットキャップを開ける→P26

② スロットキャップを矢印の方向にまっすぐ水平に引き出す→P35

③ microSDカードをスロットキャップのトレイから取り外す

④ 本端末のディスプレイ側が下に向いていることを確認して、スロットキャップを矢印の方向にまっすぐ水平に差し込む→P38

⑤ スロットキャップをしっかり押して閉じる→P27

充電

❖充電時のご注意

- アプリを使いながら充電すると、充電が完了するまで時間がかかったり、電池残量が減り充電が完了しなかったりすることがあります。充電を完了したい場合は、アプリを終了してから充電することをおすすめします。
- 充電中は本端末やACアダプタが温かくなることがありますが、故障ではありません。本端末が温かくなったとき、安全のため一時的に充電を停止することがあります。本端末が極端に熱くなる場合は、直ちに使用を中止してください。
- 内蔵電池または端末の温度が充電可能な範囲外になった場合は充電エラーになり、お知らせLEDが点滅または消灯します。温度が下がってから再度充電を行ってください。
- 長時間充電が完了しない場合は充電エラーになり、お知らせLEDが消灯します。充電器から本端末を取り外して、充電し直してください。
- 内蔵電池の電圧に異常があると充電エラーになり、お知らせLEDが点滅します。アプリを使用中の場合は、直ちに終了してください。充電器から本端末を取り外して、正しい方法でもう一度充電を行ってください。以上の操作を行っても正常に充電できない場合は、充電器から本端末を取り外して、一度電源を切ってから、本書巻末の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」またはドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- 電池切れの状態で充電を開始した場合、電源を入れてもすぐに起動しないことがあります。その場合は、本端末の電源を切ったまま充電し、しばらくしてから電源を入れてください。
- 充電時間については「主な仕様」をご覧ください。→P190
- 本端末に対応する最新の充電機器は、ドコモのオンラインショップでご確認ください。
  https://onlineshop.smt.docomo.ne.jp/options/search.html

❖内蔵電池の寿命について

- 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。充電しながら通話などを長時間行うと、内蔵電池の寿命が短くなることがあります。
- 「電池」から内蔵電池の性能（充電能力）を確認することができます。→P136
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、内蔵電池の寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。内蔵電池の交換につきましては、本書巻末の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」またはドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- このマークはリチウムイオン電池のリサイクルマークです。
  製造元 富士通コネクテッドテクノロジーズ株式会社

Li-ion 00

❖ ご利用になれる充電用アダプタについて

詳しくは、ご利用になるACアダプタ、DCアダプタ、USBケーブルの取扱説明書をご覧ください。

ACアダプタ 07（別売品）：AC100Vから240Vまで対応しています。ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。

DCアダプタ 05（別売品）：自動車の中で充電する場合に使用します。ご利用には、別途USBケーブル A to C 02（別売品）が必要となります。

◆ ACアダプタを使って充電

ACアダプタ 07（別売品）を使って充電する場合は次の操作を行います。

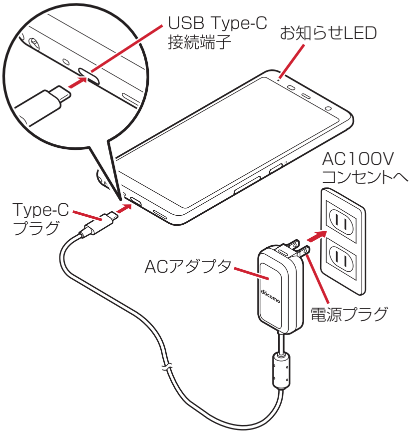
① ACアダプタのType-Cプラグを本端末のUSB Type-C接続端子に水平に差し込む

② ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む

- 充電中は本端末のお知らせLEDが赤色に点灯し、充電が完了すると消灯します。

③ 充電が終わったら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く

④ 本端末のUSB Type-C接続端子からACアダプタのType-Cプラグを水平に抜く



◆ パソコンを使って充電

USBケーブル A to C 02（別売品）などを使って、本端末をパソコンから充電することができます。

- パソコン上にハードウェアの検索画面や実行する動作の選択画面などが表示されたら、画面を閉じてください。

電源を入れる／切る

◆ 電源を入れる

- 電源を入れる前に、本端末とスロットキャップの間にすき間がないことを確認してください。

1 お知らせLEDが緑色に点灯するまで⏻（電源キー）を押し続ける（2秒以上）

本端末が振動した後、起動画面に続いて誤操作防止用のロック画面が表示されます。

- 初めて電源を入れたときは初期設定を行います。→P42

2 画面ロックを解除

- 画面ロックの解除方法については「画面ロックの解除」をご覧ください。→P42

◆ 電源を切る

1 ⏻（電源キー）（1秒以上）

2 [電源を切る]→[OK]

本端末が振動して電源が切れます。

◆ スリープモード

スリープモードにすると、画面が消灯してタッチパネルの誤動作を防止したり、画面ロックをかけたりします。また、電池の消費を抑えることもできます。

1 ⏻（電源キー）

✔お知らせ

- 本端末を一定時間操作しなかったときも、［画面消灯］（→P138）の設定に従ってディスプレイの表示が消え、スリープモードになります。
- スリープモード中に電話着信があると、スリープモードは解除されます。

◆ 画面ロックの解除

1 **スリープモード中に（電源キー）**

2 **ロック画面でを上にスワイプ**

ロックが解除されます。



- ［セキュリティ解除方法］の設定（→P142）によっては、ロック画面をスワイプ後に認証操作になります。
- ロック画面のを左にスワイプするとカメラが起動します。

✔お知らせ

- お買い上げ時の設定では、ロック画面に不在着信と未読ドコモメールの件数が表示されます。
- ロック画面は約10秒後にスリープモードになります。

初期設定

本端末の電源を初めて入れたときは、画面の指示に従って初期設定を行います。

- Google アカウントの設定により表示される項目が異なる場合があります。

1 **［日本語（日本）］を選択して［開始］**

- 以降は画面の指示に従って以下の設定などを行ってください。
  - ネットワークの接続設定→P125
  - アプリとデータのコピー方法の選択
  - Google アカウント→P43
  - 日付と時刻→P158
  - Google サービス
  - 画面ロックの設定→P142
  - 指紋によるロック解除とアプリ登録→P143
  - Google アシスタント
  - シンプルモード設定→P150
  - Exlider（指で触れる、新操作体験）→P49、P150
  - 迷惑電話対策機能→P153
  - 診断データ送信→P161

2 **ドコモ初期設定画面で［次へ］→［上記のリンク先の内容に同意する］をONにする→［次へ］**

3 各項目を設定

機能の利用確認：「電話の発信と管理」の許可を設定します。

dアカウント：ドコモアプリで利用するdアカウントを設定します。→P43

ドコモサービス一括設定：セキュリティとクラウド、契約中サービス、便利でお得なアプリ、★の付くアプリからのお知らせ（広告内容を含む）を受け取るについて利用設定を行います。

4 その他の設定項目画面で各項目を設定→[設定完了]

ホーム画面が表示されます。

✔お知らせ

- ドコモサービスの選択画面、ホーム画面を使ってみよう！画面、ホーム画面の使い方画面が表示された場合は、内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。

◆ Google アカウントの設定

Google アカウントとは、Google の各種サービスを利用するためのユーザー名／パスワードです。本端末に Google アカウントを設定することで、Gmail を利用してEメールを送受信したり、Google Play を利用してアプリやゲームなどのコンテンツをダウンロードしたりできます。

1 ホーム画面で田→[設定]→[アカウント]

2 [アカウントを追加]→[Google]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

✔お知らせ

- 本端末には複数の Google アカウントを設定することができます。

◆ dアカウントの設定

dアカウントとは、スマートフォン、タブレット、パソコンなどでdポイントやdマーケットなどのドコモが提供するサービスを利用するときに必要なID／パスワードです。ここでは、新規でアカウントを作成する方法を説明します。

1 ホーム画面で田→[設定]→[ドコモのサービス／クラウド]→[dアカウント設定]

2 [新たにdアカウントを作成]

- 以降は画面の指示に従って以下の項目を設定してください。
  - 連絡先メールアドレス
  - ID
  - パスワード
  - お客様情報

本端末で利用する暗証番号について

本端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要なものがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、ドコモnanoUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳細は本書巻末の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コード（PUK）は、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモnanoUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

❖画面ロック用パターン／暗証番号／パスワード

画面ロックの解除時に認証操作を必要とすることで、本端末のセキュリティを確保することができます。設定できる認証操作の種類には、最低4つの点を結ぶパターン、4〜16桁の数字を設定する暗証番号、4〜16桁の英数字と記号で設定するパスワードがあります。→P142

❖ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモインフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

- ネットワーク暗証番号の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

❖PINコード

ドコモnanoUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P46

PINコードは、第三者によるドコモnanoUIMカードの無断使用を防ぐため、ドコモnanoUIMカードを取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4〜8桁の暗証番号（コード）です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作ができます。

- 別の端末で利用していたドコモnanoUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります（PUKロック）。この場合は、「PINロック解除コード（PUK）」でロックを解除してください。ロックを解除しないと新しいPINコードは設定できません。
- ドコモnanoUIMカードがPINロックまたはPUKロックされた場合は、ドコモnanoUIMカードを取り外すことでホーム画面が表示されるようになり、Wi-Fi接続による通信が可能です。

❖PINロック解除コード（PUK）

PINロック解除コード（PUK）は、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コード（PUK）はお客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コード（PUK）の入力を10回連続して間違えると、ドコモnanoUIMカードがロックされます。その場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。
- ドコモnanoUIMカードがPINロックまたはPUKロックされた場合は、ドコモnanoUIMカードを取り外すことでホーム画面が表示されるようになり、Wi-Fi接続による通信が可能です。

◆PINコードの設定（SIMカードロック）

電源を入れたときにPINコードを入力するように設定します。

1. ホーム画面で田→[設定]→[セキュリティ]→[SIM カードロック]
2. [SIM カードをロック]→PINコードを入力→[OK]

✔お知らせ

- 初めてPINコードを入力する場合は、「0000」を入力してください。
- 設定を解除するには、操作2で［SIM カードをロック］をOFFにします。

❖PINコードの入力

1. 電源を入れる→コード入力画面でPINコードを入力→⇥

❖PINロックの解除

PINコードがロックされた場合（PUKロック）は、ロックを解除してから新しいPINコードを設定します。

1. コード入力画面でPINロック解除コード(PUK)を入力→⇥
2. 新しいPINコードを入力→⇥
3. もう一度新しいPINコードを入力→⇥

◆PINコードの変更

あらかじめPINコードを設定（［SIM カードをロック］をONにする）しておく必要があります。

1. ホーム画面で田→[設定]→[セキュリティ]→[SIM カードロック]
2. [SIM PINの変更]
3. 現在のPINコードを入力→[OK]
4. 新しいPINコードを入力→[OK]
5. もう一度新しいPINコードを入力→[OK]

基本操作

基本操作

◆ タッチパネルの使いかた

本端末は、タッチパネルに直接指を触れて操作します。

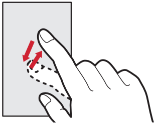
❖タッチパネル利用上のご注意

タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先の尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。

- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作
  - タッチパネルが濡れたままでの操作
  - 指が汗や水などで濡れた状態での操作
  - 水中での操作

❖タップ／ダブルタップ

タップ：画面に軽く触れてからすぐに離します。
ダブルタップ：すばやく2回続けてタップします。



例：タップ

❖ロングタッチ

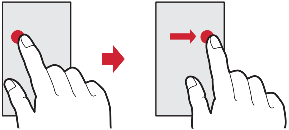
画面に長く触れます。画面に指を触れたまま続けて操作を行う場合もあります。

❖ドラッグ／スライド（スワイプ）／パン

ドラッグ：画面の項目やアイコンに指を触れたまま、任意の位置に動かします。
スライド（スワイプ）：画面に指を軽く触れたまま、目的の方向に動かします。

- アプリによっては、数本の指を画面に触れたまま上下に動かしたり回転させたりして操作できます。

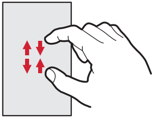
パン：Webページなどで一画面では表示しきれないときに、画面そのものを任意の方向にドラッグして見たい部分を表示します。



例：ドラッグ

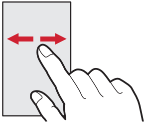
❖ピンチ

画面に2本の指で触れたまま、指の間隔を広げたり（ピンチアウト）、狭くしたり（ピンチイン）します。



❖フリック

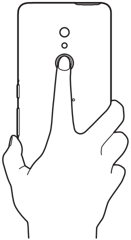
画面に触れた指をすばやく払います。



◆ Exliderの使いかた

Exliderに触れることで画面のスクロールや拡大ができます。

- ExliderのON／OFF、詳細設定については、「Exlider設定」をご覧ください。→P150



❖Exlider利用上のご注意

- 次の場合は、本機能は動作しません。
  - 非常用節電モード中
  - スライドインランチャー表示中
  - 分割画面表示中
  - 電話着信中
  - 指紋登録時、指紋認証中
  - ロック画面表示中
  - 画面ロック中に表示されたアプリの画面（「カメラ」アプリをのぞく）
- 静止画表示中などアプリによっては、スクロールできない場合があります。

❖操作方法

■ 拡大／縮小

Exliderに触れ続けると、画面にガイド（ ）が表示され、画面が1.5倍に拡大します（ ）。
そのまま指を少し上に動かすと画面がさらに拡大、指を少し下に動かすと画面が縮小します。

■ スクロール

Exliderに触れると、画面にガイド（ や ）が表示され、移動したい方向に指を動かすと、画面がスクロールします。

✔お知らせ

- ホーム画面で → ［設定］ → ［arrowsオススメ機能］ → ［Exlider設定］ → ［体験する］ ／ ［Exlider体験］ をタップすると、Exliderの使いかたを確認できます。→P150

◆ 縦／横画面表示の自動切り替え

向きや動きを検知するモーションセンサーによって、本端末を縦または横に傾けて、画面表示を切り替えることができます（画面の自動回転→P137）。

- 表示中の画面によっては、本端末の向きを変えても画面表示が切り替わらない場合があります。
- パネルスイッチ（→P60）の「自動回転」でも設定できます。

◆ スクリーンショット

本端末に表示されている画面を画像として保存します。

- 画面によっては画像を保存できない場合があります。

1 **⏻(電源キー)(1秒以上)→[画面の保存]**

スクリーンショットが保存され、ステータスバーに🖼が表示されます。

- ステータスバーを下方向にフリックして通知パネルを開き（→P59）、スクリーンショットの通知をタップ→アプリを選択、またはホーム画面で⊞→［フォト］をタップすると、画像を確認できます。

✔お知らせ

- ⏻（電源キー）と音量キーの下を同時に1秒以上押しても、スクリーンショットを保存できます。

◆ 非常用節電モード

災害などの非常時に、画面の明るさを抑えたり各種機能をオフにしたりして、電池の消費を抑えることができます。

1 **⏻(電源キー)(1秒以上)**

2 **[非常用節電モード]→[OK]**

本端末が再起動し、非常用節電モードが設定されます。

- 設定を解除するには再度同じ操作を行うか、非常用節電モードのホーム画面で［節電解除］→［OK］をタップします。

✔お知らせ

- ホーム画面で⊞→［災害用キット］→SAVE→［OK］をタップしても、非常用節電モードを設定できます。
- 非常用節電モード中は、電源をオフにしても設定は解除されません。

◆ アプリの権限

本端末の機能や情報にアクセスするアプリや機能を初めて起動すると、アクセス権限を許可するかの確認画面が表示されます。アクセス権限を許可すると、アプリや機能で該当する機能や情報を利用できるようになります。

- アプリや機能によって表示される確認画面が異なります。表示内容をよくご確認の上、操作してください。

〈例〉「かんたん電話帳」アプリを初めて起動する場合

1 **ホーム画面で⊞→[かんたん電話帳]→内容を確認して[次へ]**

確認画面が表示されます。

2 **[許可]／[許可しない]**

以降は画面の指示に従って操作してください。

✔お知らせ

- アクセス権限を許可しないとアプリや機能を起動できない場合や、機能の利用が制限される場合があります。
- 権限の設定を変更するには、ホーム画面で⊞→［設定］→［アプリと通知］→［XX個のアプリをすべて表示］→アプリを選択→［権限］→変更する権限を設定します。

文字入力

ディスプレイに表示されるソフトウェアキーボードを使って、文字を入力します。

- ここでは、主にSuper ATOK ULTIASでの入力方法について説明します。
- 他の入力方法に切り替えることもできます。→P54
- 外付けキーボードを接続して入力ができます。→P56

◆ キーボードの使いかた

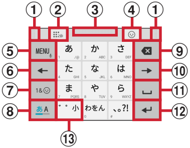
テンキーキーボード、QWERTYキーボード、手書き入力で文字を入力できます。

- 各キーボードから、音声入力を起動できます。→P52
- 上書き手書き入力が有効に設定されているときは、テンキーキーボードやQWERTYキーボードが表示されている状態で手書き入力ができます。→P54

■ テンキーキーボード

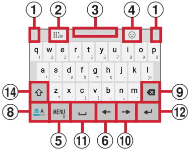
1つのキーに複数の文字が割り当てられています。

- フリック入力、ケータイ入力、ジェスチャー入力、2タッチ入力から入力方式を選択できます。→P53



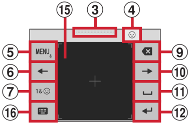
■ QWERTYキーボード

ローマ字入力で入力します。



■ 手書き入力

手書きで文字を入力します。



- 設定や状況により、表示が変わるキーがあります。

① 左右にドラッグしてキーボードの横幅を調整
② 上書き手書き入力の有効／無効
③ 上下にドラッグしてキーボードの高さを調整
④ 数字／記号／顔文字／絵文字／絵文字D一覧の表示
⑤ MENU：メニューの表示

- メニューを表示すると、次の操作ができます。
  テンキー：テンキーキーボードへ切り替え
  QWERTYキー：QWERTYキーボードへ切り替え
  手書き：手書き入力へ切り替え
  上書き手書き：上書き手書き入力の有効／無効
  定型文：定型文の表示

記号・顔文字・絵文字：数字／記号／顔文字／絵文字／絵文字D一覧の表示
テーマ切替：キーボードテーマの切り替え
引用アプリ：電話帳の引用、パーソナルノートの引用
［設定］をタップすると、キーを上にフリックしたときに起動するアプリを選択できます。
パーソナルノート：パーソナルノートの引用
設定：Super ATOK ULTIASの設定→P54
- 上にフリックすると設定した引用アプリを起動します。右にフリックして郵便番号を入力→［変換］をタップすると、郵便番号に対応した住所を入力できます。

MENU（ロングタッチ）：音声入力の起動
：キーに割り当てられた文字を逆順に表示

⑥ カーソルを左に移動
- テンキーキーボード、手書き入力では、上下にフリックするとカーソルを上下に移動、右にフリックするとカーソルを右に移動します。
QWERTYキーボードでは、上にフリックするとカーソルを上に移動、右にフリックするとカーソルを下に移動します。

⑦ 数字／記号／顔文字／絵文字／絵文字D一覧の表示
⑧ あA：かな／英字入力モードの切り替え
あA1：かな／英字／数字入力モードの切り替え
あ1：かな／数字入力モードの切り替え
⑨ Backspace（カーソルの左側の文字を削除）
- 文字確定後にキーを上にフリックするとカーソルの右側の文字を削除、左にフリックするとカーソルの左側にある文字を全削除します。
- 文字確定後に削除した文字を元に戻すには、キーを下にフリックします。

⑩ カーソルを右に移動
- テンキーキーボード、手書き入力では、上下にフリックするとカーソルを上下に移動、左にフリックするとカーソルを左に移動します。
QWERTYキーボードでは、上にフリックするとカーソルを上に移動、左にフリックするとカーソルを下に移動します。

⑪ ␣：空白の入力
- 上にフリックすると、全角入力時は半角の空白、半角入力時は全角の空白を入力します。

変換：文字の変換
⑫ ↵：確定または改行
確定：確定
次へ：次の入力欄へカーソルを移動
：検索
実行：実行
⑬ ゛゜小：小文字／大文字の切り替え、濁点／半濁点をつける
A/a：英字の大文字と小文字の切り替え
⑭ シフトキー
シフトなし（⇧）／シフト（⬆）／シフトロック（⬆）：小文字／最初の1文字のみ大文字／大文字の切り替え
- キーに割り当てられた記号も切り替わります。

⑮ 手書き入力領域：指で文字を書いて入力
- 文字を入力すると、入力領域の上部に認識された文字が表示されます。認識された文字をタップして表示される補正候補一覧から文字を選択できます。補正候補一覧の上で文字を書き直すこともできます。

⑯ ：テンキーキーボードまたはQWERTYキーボードに戻る

✔お知らせ

- キーボードを非表示にするには、をタップします。再度キーボードを表示するには、文字入力欄をタップします。
- 変換候補にない単語を入力して確定したとき、②の位置にが表示される場合があります。をタップすると入力した単語をユーザー辞書に登録できます。
- パスワードなどの入力画面では、入力画面とパーソナルノートで登録したID（アカウント）やパスワードなどを関連付けし、引用入力することができます。
  キーボード上部に表示された［パーソナルノートへの登録］をタップし、パーソナルノートに認証情報を登録して入力画面と関連付けします。引用入力する場合は、［パーソナルノートからの引用］をタップします。
  - Chrome™ では、関連付けされた画面情報をもとに、ID、パスワードが自動で引用入力されます。ただし、ID、パスワードの画面構成によっては、自動で引用入力されない場合もあります。
  - その他のアプリでは、関連付けされた画面情報をもとに、一覧画面から選択した項目が引用入力されます。

❖テンキーキーボードの入力方式

テンキーキーボードでは、次の4つの入力方式を利用できます。

- ［テンキー］で入力方式を選択して利用します。→P54

■ フリック入力

入力したい文字が割り当てられているキーをロングタッチすると、キーの上に文字（フリックガイド）が表示されます。指を離さず目的の文字の方向にフリックします。

- 濁音／半濁音／拗音／促音を入力するには、フリックした後゛゜小を1回または2回タップします。

■ ケータイ入力

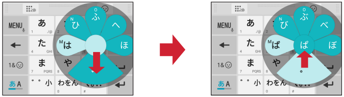
入力したい文字が割り当てられているキーを、目的の文字が表示されるまで続けてタップします。

- 濁音／半濁音／拗音／促音を入力するには、タップした後゛゜小を1回または2回タップします。

■ ジェスチャー入力

入力したい文字が割り当てられているキーをロングタッチすると、キーの周りに文字（ジェスチャーガイド）が表示されますので、指を離さず目的の文字までスライドします。

- 濁音／半濁音／拗音／促音を入力するには、キーから指を離さず下に1回または2回スライドします。キーの周りに濁音／半濁音／拗音／促音のジェスチャーガイドが表示されますので、指を離さず目的の文字までスライドします。



例：「ぱ」を入力する場合

- 英字入力モードの場合は、キーをタッチした指を離さず下にスライドすると、大文字／小文字の切り替えができます。

■ 2タッチ入力

1回目に入力したい文字が割り当てられているキーをタップし、2回目に目的の文字をタップします。

◆ 入力方法の切り替え

1 文字入力中にナビゲーションバー(→P57)の

2 入力方法を選択

◆ 文字入力の設定

入力方法ごとに各種設定ができます。

1 ホーム画面で→[設定]→[システム]→[言語と入力]

2 [仮想キーボード]

仮想キーボード一覧画面が表示されます。

3 [Super ATOK ULTIAS]／[ドコモ文字編集]／[Google音声入力]

- ［キーボードを管理］をタップすると、仮想キーボード一覧画面に表示するキーボードを設定できます。

4 各項目を設定

- 設定できる項目は、入力方法により異なります。

❖Super ATOK ULTIASの設定

各キーボードの入力中の動作やデザインなどについて設定します。また、単語の登録（ユーザー辞書）や定型文の編集、設定の初期化などもできます。

1 ホーム画面で→[設定]→[システム]→[言語と入力]→[仮想キーボード]→[Super ATOK ULTIAS]

2 各項目を設定

ULTIASオススメ機能：選べるキーボード、スマホ入力（フリック）学習モード、ATOK キーワード Express（有効にする、ジャンルの選択、更新を通知、今すぐ受信、自動受信、受信間隔、Wi-Fi接続時のみ受信）を設定します。
操作音・バイブ：キー操作音、キー操作バイブを設定します。
テンキー：入力方式（フリック入力／ケータイ入力／ジェスチャー入力／2タッチ入力）、フリック入力（フリックガイド、フリック感度、「や」キーフリック、修飾キーフリック、英字キーフリック）、ケータイ入力の有効化、自動カーソル移動（自動カーソル移動、自動カーソル移動の速度）、ジェスチャー入力（ジェスチャーガイド、ジェスチャー感度、タッチ位置を中心に表示、高速表示、高速で閉じる、ジェスチャーガイドの表示時間、「や」キージェスチャー）、数字は確定入力を設定します。
QWERTYキーボード：英字は確定入力、数字キー表示（縦画面、横画面）を設定します。
手書き入力：上書き手書き入力（テンキー、QWERTYキーボード）を設定します。
共通設定：ひらがな入力時／英字入力時／数字入力時のキーボードの選択、使用するキーボード、MENUフリックの引用アプリ選択、推測変換、未入力時の推測候補表示、学習機能、スペースは半角で出力、自動スペース入力、文字削除キー、機能フリックガイド、バックキー、自動全画面化（横画面）、ハードキーボードを優先、マルチタッチを設定します。

- アプリによっては、文字入力時に推測変換候補が表示されません。

- ［自動全画面化（横画面）］を有効に設定しても、アプリによっては全画面表示にならないものがあります。

変換候補一覧の表示：文字サイズ、候補の表示行数（縦画面、横画面）、表現モード、句読点の表現、推測訂正候補の表示、校正支援の表示を設定します。
デザイン：選べるキーボード、テーマ、キーボードのサイズ調整（テンキー（縦画面／横画面）、QWERTY（縦画面／横画面）、手書き（縦画面／横画面））、フローティングキーボード（縦画面、横画面）を設定します。

- ［フローティングキーボード］の［横画面］を有効に設定しても、全画面表示のときはフローティングキーボードが無効になります。

ユーティリティ：ユーザー辞書の登録／編集、定型文の登録／編集、ATOK Sync（有効にする、共有した単語の確認、今すぐ更新、自動更新、更新間隔、Wi-Fi接続時のみ実行）、設定のエクスポート／インポート（設定のエクスポート、設定のインポート）、一括エクスポート／インポート（一括エクスポート、一括インポート）を設定します。
初期化：設定の初期化、学習データの初期化を行います。

- ［設定の初期化］を実行しても学習データや編集したユーザー辞書／定型文は削除されません。

オープンソースライセンス：オープンソースライセンスを表示します。
Super ATOK ULTIAS：Super ATOK ULTIASのバージョンを確認します。

◆ テキスト編集

文字入力欄、Webサイト、受信メールなどのテキストコピー、文字入力欄でのテキストの切り取り、貼り付けの操作ができます。

- アプリの種類によって、操作方法が異なる場合があります。

❖テキストのコピー／切り取り

1 テキストをロングタッチ

選択された語句がハイライト表示されます。

- テキスト範囲の両端にあるつまみをドラッグすると選択範囲を調節できます。
- すべてを選択するには、［すべて選択］をタップします。
- 選択範囲を解除するには、選択範囲外をタップします。
- Webサイトによっては、リンクをロングタッチして表示されるメニューから［リンク テキストをコピー］などの操作ができます。

2 ［コピー］／［切り取り］

✔お知らせ

- テキストをロングタッチし、［共有］をタップすると、選択したテキストをアプリで送信できます。
- 表示中のテキストによっては、本機能を利用できない場合や、表示されるメニューが異なる場合があります。

❖テキストの貼り付け

1 貼り付け位置をロングタッチ→[貼り付け]

カーソル位置にテキストが貼り付けられます。

- 貼り付け位置にテキストが入力されている場合は、貼り付ける位置をタップ→カーソルのつまみをタップ→［貼り付け］をタップします。

◆外付けキーボードの利用

本端末とBluetoothキーボード（HID／SPP）やUSBキーボードを接続して文字入力ができます。

- 101キーボード、104キーボード、106キーボード、OADG 109キーボード、OADG 109Aキーボードに対応しています。
- Bluetoothキーボードの接続方法については、「Bluetooth機器との接続」をご覧ください。→P165
- USBキーボードを利用する場合は、USBキーボードを本端末のUSB Type-C接続端子に接続後、ホーム画面で⊞→［設定］→［接続済みのデバイス］→［接続の設定］→［USB機器の検出］→［USB機器の検出］をタップします。

❖外付けキーボードの設定

- 外付けキーボードが接続されていると、キーボードが表示されます。

1 ホーム画面で⊞→[設定]→[システム]→[言語と入力]

2 [物理キーボード]→任意のキーボードを選択→[キーボードレイアウトの設定]→任意のキーボードレイアウトを選択

❖仮想キーボードの表示

外付けキーボードが接続されているときにソフトウェアキーボードを表示するかを設定できます。

1 ホーム画面で⊞→[設定]→[システム]→[言語と入力]

2 [物理キーボード]→[仮想キーボードの表示]をタップしてON／OFFを設定

❖キーボードのショートカット表示

接続した外付けキーボードで使用できるショートカットを表示します。

1 ホーム画面で⊞→[設定]→[システム]→[言語と入力]

2 [物理キーボード]→[キーボード ショートカット ヘルパー]

お知らせLED

充電中や不在着信など、本端末の状態をお知らせLEDの点灯や点滅で通知します。

■ 主な通知の種類と点灯／点滅について

本端末起動時：緑色1回点灯
充電中：赤色点灯
充電異常：赤色点滅
不在着信：白色点滅

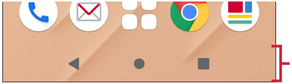
✔お知らせ

- アプリ利用時の点灯／点滅は、アプリによって設定や動作などが異なります。
- 電源を切った状態で充電を開始した後、充電器から本端末を取り外すと、お知らせLEDが消灯するまで時間がかかる場合があります。
- 通知の内容によっては、スリープモード中のみ点灯します。

画面表示／アイコン

◆ ナビゲーションバー

画面下部のナビゲーションバーには、画面を操作するためのアイコンが表示されます。



ナビゲーションバー

◁ バックアイコン
タップ：直前の画面に戻る、アプリの終了
○ ホームアイコン
タップ：ホーム画面に戻る→P66
ロングタッチ：Google アシスタントの起動
□ 履歴アイコン
タップ：最近使ったアプリの表示→P63

✔お知らせ

- ナビゲーションバーの動作を「ジェスチャーナビゲーション」に切り替えることもできます。→P158

◆ ステータスバーのアイコン

画面上部のステータスバーに表示される通知アイコンとステータスアイコンでさまざまな状態を確認できます。



■ 主な通知アイコン

- : 新着 Gmail→P94
- : 新着ドコモメール→P89
- : 新着＋メッセージ→P89
- : 新着エリアメール→P95
- : Wi-FiがONでWi-Fiネットワークが利用可能→P125
- : USBテザリングが有効→P131
- : Bluetoothテザリングが有効→P131
- : 2つ以上のテザリングが有効→P130
- : 不在着信→P81
- : 伝言メモあり→P82
- : 留守番電話サービスの伝言メッセージ→P82
- ／: データのアップロード／ダウンロード
- : Google Play のアプリがアップデート可能→P107
- : radiko+FMの使用中→P113
- : アラームの鳴動中／スヌーズ中／設定時刻2時間以内→P118
- : ララしあコネクトの通知あり→P113
- : 心拍数の自動測定中→P114
  - ララしあコネクトの心拍数の設定で「自動測定」をオンにすると、心拍数の自動測定中に点滅してお知らせします。
- : ドコモデータコピーの通知あり→P121
- : 安心データ保存→P159
- : ソフトウェアアップデート→P184
- : スクリーンショットで画像を保存→P50
- : 位置提供設定ON→P147
- : おまかせロック設定中
- : 本端末のメモリの空き容量低下
- : エラー／警告メッセージあり
- : dアカウント設定の認証失敗→P43
- : カメラが自動的に終了→P100
- : 表示しきれない通知あり

■ 主なステータスアイコン

- : 電波状態（4段階表示）
- : 圏外
- : 通信状態の悪い、またはインターネット未接続のモバイル ネットワークに接続中→P128
- : 国際ローミング中
- ／／: 4G（LTE）／3G／GSM使用可能
  - 通信中は△（アップロード時）▽（ダウンロード時）が白く表示されます。
- : 機内モード設定中→P132
- : Wi-Fi接続中（4段階表示）→P125
  - 通信中は△（アップロード時）▽（ダウンロード時）が白く表示されます。
  - 数字は、接続中のWi-Fi規格を表しています。
- : 通信状態の悪い、またはインターネット未接続のWi-Fiネットワークに接続中→P125
- : Wi-Fiテザリングが有効→P130
- : Bluetooth機器接続中→P165
- : 本端末とドコモnanoUIMカードにNFC／おサイフケータイ ロックを設定中→P112
- : 本端末またはドコモnanoUIMカードにNFC／おサイフケータイ ロックを設定中→P112
- : 本端末とドコモnanoUIMカードにおまかせロックを設定中

: 本端末またはドコモnanoUIMカードにおまかせロックを設定中
: スピーカーフォンON→P81
: マイクミュート→P80
: 着信音の音量0（バイブレーション）または着信バイブレーションON→P139
: 着信音の音量0（ミュート）→P139
: アラーム設定中→P118
: GPS測位中→P115
: マナーモード（通常マナー）→P140
: マナーモード（サイレントマナー）→P140
: 電池残量0～15%
: 電池残量16～30%
: 電池残量31～100%※
※ 電池残量に応じてアイコンの残量表示部分が変化します。
: 充電中→P39
(白)：持ってる間ON設定中（動きを検出して画面点灯中）→P150
(グレー)：持ってる間ON設定中→P150
: 手袋タッチON→P151
: VPN接続→P132
: かな入力モード→P51
: 英字入力モード→P51
: 数字入力モード→P51
: 手書き入力モード→P51
: 数字／記号／顔文字／絵文字、定型文入力→P51
: 表示しきれない通知あり

◆ 通知パネル

ステータスバーを下方向にフリックすると、通知パネルを開くことができます。通知パネルでは、通知アイコンの情報を確認したり設定を行ったりできます。

1 ステータスバーを下方向にフリック



① **パネルスイッチ**
- パネルスイッチの一部が表示されます。→P60
- パネルスイッチをタップすると、機能や設定のON／OFFを切り替えることができます。
- パネルスイッチを下方向にフリックすると、表示されていないパネルスイッチを表示することができます。

② **通知**
- 通知をタップすると、詳細を確認したり、対応するアプリを起動したりすることができます。
- 通知をロングタッチまたは、左右にスライドして⚙をタップすると、通知設定をすることができます。

③ **管理**
通知のあったアプリが表示され、通知のON／OFFを切り替えることができます。

④ **パネルスイッチを開く**
下方向にフリックすると、表示されていないパネルスイッチを表示することができます。→P60

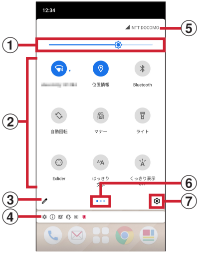
⑤ **すべて消去**
通知をすべて削除して通知パネルを閉じることができます。
通知の内容によっては削除されない場合や［すべて消去］が表示されない場合があります。

✔お知らせ
- 通知パネルを閉じるには、通知パネルを上方向にフリック、または◀（バック）をタップします。
- 不在着信の通知の下に表示されている［発信］［メッセージ］をタップして、電話をかけたりSMSを送信したりできます。

◆ パネルスイッチ

ステータスバーを2本指で下方向にフリックすると、パネルスイッチを開くことができます。パネルスイッチをタップして、機能や設定のON／OFFを切り替えることができます。

1 2本指でステータスバーを下方向にフリック



① **画面の明るさのレベル**
スライダーをスライドして明るさを調整できます。

② **パネルスイッチ**
パネルスイッチをタップすると、機能や設定のON／OFFを切り替えることができます。
パネルスイッチをロングタッチすると、対応する設定メニューが表示されます。
- Wi-Fi：→P125
- 位置情報：→P116
- Bluetooth：→P165
- 自動回転：→P137
- マナー／サイレント：→P140

- ライト：ライトをON／OFFにします。
- Exlider：→P49、P150
- はっきり文字：→P150
- くっきり表示：→P64、P151
- 拡大鏡：拡大鏡（アウトカメラ）を起動して、文字などにかざして拡大表示します。画面をピンチアウト／ピンチインして倍率を変更したり、ライトのON／OFFを設定したりできます。
- 機内モード：→P132
- アクセスポイント：→P130
- ブルーライトカット：→P137
- NFC：→P167
  充電中やFMラジオを聴いているときはNFCを利用できないため、ON／OFFを操作できません。
- モバイルデータ：→P128
- 手袋タッチ：→P151
- 伝言メモ：→P82
- 画面のキャスト：Wi-Fi Miracast対応機器と接続して、動画や画像を表示します。
- バッテリーセーバー：→P136
- ダークテーマ：→P137
- 色を反転※：→P149
- データセーバー※：アプリのバックグラウンドでのデータ通信を制限します。
- グレースケール※：画面をグレースケールに設定／解除します。
- グループの通知設定※：+メッセージのグループの通知設定をON／OFFにします。

※ 利用するには、パネルスイッチに追加する必要があります。→P61

③ 編集

パネルスイッチをロングタッチしたままドラッグして、削除や追加をすることができます。編集画面で⋮→［リセット］をタップすると、編集内容をリセットできます。

④ 通知→P60

⑤ 通信事業者

⑥ インジケータ

パネルスイッチのページ枚数と現在表示位置を示します。

⑦ 設定

設定メニューを表示することができます。→P124

✔お知らせ

- パネルスイッチを閉じるには、パネルスイッチを上方向にフリック、または◀（バック）をタップします。

◆ スライドイン機能の使いかた

画面の端にあるスライドスポット（スライドを始める位置）から指をスライドすることで、スライドインランチャーを呼び出すことができます。

- スライドイン機能の設定については、「スライドイン機能」をご覧ください。→P153

❖スライドインランチャー

スライドインランチャーに登録されたショートカットからアプリを起動します。

1 スライドスポットから画面中央へ向かって指をスライドさせて、スライドインランチャーのショートカットで指を離す

- スライドイン機能をONにすると、画面の右上のスライドスポットにスライドインランチャーが設定されます。
- スライドインランチャーと同時に呼び出されるの位置で指を離すと、スライドイン機能を設定できます。

2 目的の操作を行う

❖キャプメモ

表示されている画面をキャプチャして、画像として編集したり、他のアプリと共有したりできます。

- 画面によってはキャプチャできない場合があります。

1 スライドスポットから画面中央へ向かって指をスライドさせて、スライドインランチャーので指を離す

2 目的の操作を選択

画像を編集：ツールをタップして編集操作を行う→［保存］

- 画像は、フォト（→P106）などで確認できます。
- 描画ツールで画像に文字や絵などを手書きしたり、トリミングや拡大／縮小したりできます。

他のアプリと共有：［共有］→アプリを選択→画面の指示に従って操作

- ［共有］の隣に表示されているアプリアイコンをタップしてもアプリを起動できます。

❖なぞってコピー

画面を指でなぞって選択した文字列を、コピーしたり他のアプリと共有したりできます。

1 **スライドスポットから画面中央へ向かって指をスライドさせて、スライドインランチャーの[アイコン]で指を離す**

2 **コピーしたい文字列を指でなぞる**

認識された文字にマーカーが引かれ、プレビュー表示されます。

- プレビューをタップするとキーボードが表示され、文字を編集することができます。
- 選択した文字列や背景画像によっては、正しく認識されない場合があります。

3 **目的の操作を行う**

文字列をコピー：[コピーする]

- [^]／[v]をタップして、プレビューの表示／非表示を切り替えられます。[クリア]をタップすると、文字列の選択が解除されます。

他のアプリと共有：貼り付け先のアプリを選択

- 選択した文字列によって、表示されるアプリが異なります。

タスク管理

[○]（ホーム）をタップするなどしてアプリの操作を中断すると、バックグラウンドで起動したままの状態になる場合があります。また、操作によっては複数のアプリが実行中の状態になることがあります。本機能で実行中のアプリを確認したり、表示を切り替えたり、終了したりできます。

1 **[□]（履歴）**

最近使ったアプリが表示されます。

- 画面を左右にフリックして、表示したいアプリのサムネイルをタップするか下にフリックすると、アプリを切り替えることができます。
- サムネイルを上にフリックするとアプリを終了できます。すべてのアプリを終了するには、画面を右にフリックして［すべてクリア］をタップします。

✔お知らせ

- ［利用アプリの固定］（→P146）をONにしている場合は、サムネイルのアプリアイコンをタップ→［固定］→［はい］をタップすると、アプリを固定して他のアプリを利用できないようにすることができます。

画面表示の拡大

本端末には、画面の表示を見やすくする3つの拡大機能があります。用途に合わせてご利用ください。

■ はっきり文字

文字やアイコンのサイズなどを自動で調節して、常にはっきり見えるように拡大します。

拡大表示タイミング：設定を有効にしている間

設定方法→P150

■ くっきり表示

表示画面内の文字が小さい文章ブロックなどを一時的に拡大させることができます。

拡大表示タイミング：画面に表示されるをタップしたとき

設定・操作方法→P64、P151

■ Exlider

表示画面の拡大率を手動で調節して拡大します。

拡大表示タイミング：Exliderで拡大している間

設定・操作方法→P49、P150

◆ くっきり表示の使いかた

くっきり表示機能をONにすると、見えにくいと判断された画面にが表示されます。をタップすることで、表示画面内の文字が小さい文章ブロックなどを一時的に拡大させることができます。

- くっきり表示機能のON／OFF、基本設定については、「くっきり表示」をご覧ください。→P151
- くっきり表示中は、アプリの操作はできません。
- カメラの撮影画面、分割画面表示中など、一部の表示画面では本機能が動作しないことがあります。
- くっきり表示中でも、表示画面によっては見えにくくなる場合があります。
- くっきり表示中でも、表示画面によっては横方向への拡大が動作しないことがあります。

❖ 操作方法

あらかじめ、くっきり表示機能をONにします。→P151

画面に表示されるをタップすると、画面全体が拡大表示されます（第1段階）。続けて画面内の見えにくい位置をタップすると、タップした位置の周辺や文章ブロックがさらに拡大表示されます（第2段階）。

元の表示に戻すには、第1段階の状態ではをタップします。第2段階の状態では→の順にタップします。

✔お知らせ

- 各アプリでくっきり表示機能を使用するには、［くっきり表示］の［アイコン表示アプリ指定］でアプリを指定する必要があります。→P151
- くっきり表示のアイコンは、画面上でドラッグして表示位置を変更できます。
- ホーム画面で→［設定］→［arrowsオススメ機能］→［くっきり表示］→［機能説明］をタップすると、くっきり表示機能の使いかたを確認できます。

分割画面

画面を2分割して、それぞれの画面で異なる2つのアプリを同時に操作できます。

- 表示するアプリをあらかじめ起動しておいてください。
- 分割画面に対応していないアプリは、本機能で表示できません。

1 □（履歴）

最近使ったアプリが表示されます。

2 表示するアプリのアイコンをタップ→[分割画面]

3 画面下側から表示するアプリのサムネイルをタップ

- アプリがサムネイル表示されていない場合は、○（ホーム）をタップして表示するアプリを起動してください。

✔**お知らせ**

- 分割画面は、縦画面表示では上下、横画面表示では左右に分割して表示されます。
- 画面下側（横画面表示の場合は右側）に表示したアプリは切り替えができます。
アプリを切り替えるには、▤をタップして最近使ったアプリのサムネイルを選択するか、○（ホーム）をタップして表示するアプリを起動します。
- 画面中央の▬を画面上部または下部（横画面表示の場合は左端または右端）までドラッグすると、分割画面を終了できます。

ホーム画面

ホームアプリの切り替えかた

◯（ホーム）をタップして表示される画面（ホーム画面）を変更します。本端末には「docomo LIVE UX」「arrowsホーム」「シンプルホーム」の3種類のホームアプリが用意されています。

1 ホーム画面で⊞→［設定］→［表示の設定］→［詳細設定］→［ホーム画面切替］

2 切り替えるホームアプリを選択

✔お知らせ

- ホームアプリによっては、ホームアプリを切り替えるとロック画面の壁紙が変更される場合があります。

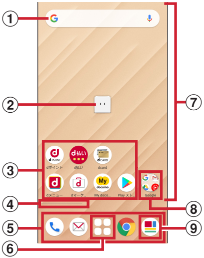
docomo LIVE UX

ドコモが提供するホームアプリです。ホーム画面を直感的にカスタマイズできます。
docomo LIVE UXの詳細については、ホーム画面で⊞→⋮→［ヘルプ］をタップしてヘルプを参照するか、以下のホームページをご覧ください。
https://www.nttdocomo.co.jp/service/live_ux/index.html

ホーム画面の見かた

ホーム画面では、アプリを起動したり、ウィジェットを利用したりすることができます。すべてのアプリはアプリ一覧に格納されており、アプリアイコンショートカットがホーム画面に配置されます。

- ホーム画面を左右にフリックするとページを切り替えられます。
- アプリの通知があるとき、アイコンやフォルダの右上にドット（点）または数字が表示される場合があります。



① **ウィジェット**
- ウィジェット（Google 検索）を起動できます。
- ロングタッチするとショートカットメニューが表示され、特定の操作を実行できます。

② **マチキャラ**
- タップすると知りたいことに対話で応えてくれます。

③ **アプリアイコンショートカット**
- タップすると、アプリを起動できます。
- ロングタッチするとショートカットメニューが表示され、特定の操作を実行したり、アプリ情報を確認したりできます。═が表示された場合は、ロングタッチして任意の場所までドラッグすると、特定の操作のショートカットをホーム画面に追加できます。

④ **インジケータ**
- ホーム画面をスライドしているときに現在の表示位置を示します。

⑤ **ドック**
- ホーム画面のページを切り替えても常に表示されます。

⑥ **アプリ一覧ボタン**
- すべてのアプリを表示します。アプリを検索、おすすめアプリ（→P73）も利用できます。

⑦ **カスタマイズエリア**
- アプリ、ウィジェット、フォルダなどを配置できます。

⑧ **フォルダ**
- 複数のアプリアイコンなどが格納されています。

⑨ **マイマガジンボタン**
- マイマガジンを表示します。→P74

ホーム画面の管理

◆ アプリアイコンなどの移動

1 **ホーム画面で移動するアプリアイコンやウィジェットなどをロングタッチ**

2 **移動したい位置までドラッグ**
- ホーム画面の端までドラッグすると、隣のページへ移動できます。

◆ アプリアイコンを追加

1 **ホーム画面で⊞→ホーム画面に追加したいアイコンをロングタッチ**

2 **［ホーム画面に追加］**

3 **貼り付けたい位置までドラッグ**
- ホーム画面の端までドラッグすると、隣のページへ移動できます。
- 同じアイコンを複数貼り付けることも可能です。

◆ アプリアイコンをホーム画面から削除

1 **ホーム画面で削除するアイコンをロングタッチ**

2 **画面上部の［削除］までドラッグ**
- ホーム画面からアイコンは削除されますが、アプリ自体はアンインストールされません。

◆ ウィジェットなどの削除

1 ホーム画面で削除するウィジェットなどをロングタッチ

2 画面上部の[削除]までドラッグ

◆ アプリのアンインストール

1 ホーム画面でアンインストールするアプリアイコンをロングタッチ

- フォルダ内のアプリをアンインストールする場合は、フォルダをタップしてからアンインストールするアプリをロングタッチします。

2 [アプリ情報]→[アンインストール]→[OK]

- アプリをアンインストールできない場合、［アンインストール］は表示されません。
- ［無効にする］と表示された場合は、アプリを無効化（→P135）することができます。
- アンインストールすると、アプリ一覧からもアプリが削除されます。

◆ フォルダ名の変更

1 ホーム画面でフォルダを選択

2 フォルダ名をタップ

3 フォルダ名を入力

- 入力が終了したら、キーボードに表示される［確定］をタップします。

◆ ホーム画面の設定

1 ホーム画面でアイコンなどがない部分をロングタッチ→[ホーム設定]

2 各項目を選択

通知ドット：アプリにお知らせがあるときのドット（点）のON／OFFができます。
ホーム画面にアイコンを追加：新しいアプリをインストールした際に、ホーム画面に自動でアイコンを貼り付けるか、アプリ一覧だけに表示するか選択できます。
※お買い上げ時の設定では、インストールしたアプリはホーム画面に配置されます。
ホーム設定アイコン：ホーム画面上ののON／OFFができます。
壁紙設定：ホーム画面とロック画面の壁紙を変更できます。
マチキャラ設定：マチキャラのON／OFFや、キャラ変更などマチキャラに関する設定ができます。
おすすめアプリ設定：アプリ一覧画面に表示される「あなたにおすすめ」の表示設定ができます。
my daiz NOW表示設定：ホーム画面の一番左にあるmy daiz NOWの表示のON／OFFができます。
マイマガジン起動設定：マイマガジンの上フリック起動のON／OFFができます。
ホームの使い方：ホーム画面のチュートリアルを確認できます。
ヘルプ：ホーム画面の詳しい使い方を確認できます。

アプリ一覧画面

ホーム画面で⊞をタップすると表示されます。アプリ一覧画面ではアプリを使用した順やインストールした順に一覧で探したり、アプリ名でアプリを検索することができます。また、今のあなたにおすすめのアプリを厳選してみることができます。



① アプリ検索バー
タップすると文字入力でアプリを検索することができます。

② あなたにおすすめ
おすすめアプリから、厳選したアプリを最大4つ表示します。

③ もっと見る
おすすめアプリ（→P73）へ遷移します。

④ プルダウン
アプリ一覧上のすべてのアプリを、つかった順、アプリ名順、インストール順に並び替えができます。

⑤ すべてのアプリ
端末にインストールされているすべてのアプリが表示されます。タップするとアプリが起動します。

◆ プリインアプリ一覧

インストールされているアプリは次のとおりです。

- アプリによっては、ヘルプから機能や操作手順などを確認できます。
- 一部のアプリの使用には、別途お申し込み（有料）が必要となるものがあります。

＋メッセージ：携帯電話番号を宛先にして、テキストメッセージを送受信できるメッセージングアプリです。テキスト以外にも画像や動画、スタンプなどを送ることができます。→P89

Amazon Kindle：Amazonで購入した書籍を読むための電子書籍リーダーアプリです。

Amazon ショッピング：Amazonでよりお得に、より便利にオンラインショッピングをご利用いただける公式アプリです。

arrows life：arrows lifeのサイトへ接続し、旬な記事をお届けします。

Chrome：パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。→P97

Disney DX：ディズニー、ピクサー、マーベル 、スター・ウォーズの4ブランドのニュースやコンテンツを楽しむことができます。

Duo：ビデオ通話ができます。

dcard：dカードのご利用明細、たまったdポイント、おトクな情報のエントリーを簡単に確認できるアプリです。また、ドコモが提供する電子マネー「iD」の設定ができます。

d払い：ドコモが提供するスマホ決済サービス「d払い」を利用するためのアプリです。対象の街のお店で、アプリに表示されたバーコードを提示するだけで、簡単・便利・おトクにお買い物をすることができます。

dフォト：写真や動画を無料で5GBまでクラウドにバックアップし、スマートフォン、タブレット、パソコンなどからアクセスできるサービスです。また、クラウドや本端末にある写真をフォトブックにできるサービスもあります（ご利用には別途有料サービスへのお申し込みが必要です）。

dポイント：dポイントを「確認する」「ためる」「つかう」ことができるアプリです。

dマーケット：音楽、動画、書籍などのデジタルコンテンツの販売や、ショッピングサイトや旅行予約サイトなどさまざまなサービスを提供しています。→P107

dメニュー：「d メニュー」へのショートカットアプリです。d メニューでは、ドコモのおすすめするサイトや便利なアプリに簡単にアクセスすることができます。→P107

Exlider体験：Exliderを体験するアプリです。

Facebook：Facebookは、友達や家族、同僚や同級生たちとのつながりを深めたり、今世界で何が起こっているかを知ることができます。

Gmail：Google や一般のプロバイダが提供するEメールを利用できます。→P94

Google：本端末内やWebサイトを検索します。→P120

iDアプリ：ドコモが提供する電子マネー「iD」を利用するためのアプリです。「iD」を設定したおサイフケータイをお店の読み取り機にかざして簡単・便利にショッピングができます。→P112

my daiz：話しかけるだけで簡単に情報検索を行ったり、あなたに必要な情報を最適なタイミングでお届けするサービスです。
天気や乗り換えのほかに、レシピ検索や宅配調整などの提携サービスを追加でき、便利にご利用いただくことができます。

My docomo アプリ：お客様のご利用データ量・ご利用料金・dポイントなどの確認、各種手続き・お申し込みもオンラインで行えます。

Photoshop Express：Photoshop Expressを利用できます。

Play ストア：Google Play を利用できます。→P107

Playムービー &TV：映画などを購入またはレンタルして視聴できます。ダウンロードして好きなときに視聴することもできます。

radiko+FM：地上波のラジオ音声を、そのまま同時に放送エリアに準じた地域に配信するサービスです。FMラジオにも対応しています。→P113

TikTok：TikTokはショート音楽動画コミュニティです。他の人とコミュニケーションをとったり、音楽動画の撮影、投稿ができます。

ULTIASオススメ機能：選べるキーボード、スマホ入力（フリック）学習モード、ATOKキーワードExpress（有効にする、ジャンルの選択、更新を通知、今すぐ受信、自動受信、受信間隔、Wi-Fi接続時のみ受信）を設定します。→P54

YouTube：YouTube™ の動画を再生できます。

YouTube Music：YouTube Music の音楽を再生します。

洗い方説明：本端末の洗い方を確認できるアプリです。

あんしんセキュリティ：ウイルス、危険サイト、危険Wi-Fi、迷惑電話などのセキュリティ対策がご利用いただけるアプリです。

遠隔サポート：「あんしん遠隔サポート」をご利用いただくためのアプリです。「あんしん遠隔サポート」はお客様がお使いの機種の画面を、専用コールセンタースタッフが遠隔で確認しながら、操作のサポートを行うサービスです。→P189

おサイフケータイ：複数の登録済みおサイフケータイ対応サービスを、一覧で表示できるアプリです。おすすめサービスの登録や登録済みサービスの残高、ポイントの確認もできます。→P109

オススメ機能：シンプルモードやかんたんアプリ起動、文字入力、Exliderの体験、迷惑電話対策機能、ジュニアモードの設定や、洗い方の説明の7つの機能を利用できます。

カメラ：静止画や動画を撮影します。→P100

カレンダー：カレンダーの表示とスケジュールの登録ができます。

かんたんお引越し：電話帳やスケジュール、写真、動画などのデータをmicroSDカードを利用して本端末に移行できます。→P123

かんたん電話：電話の利用や通話の設定ができます。→P76

かんたん電話帳：電話帳を利用できます。→P86

災害用キット：災害用伝言板と災害用音声お届けサービス、緊急速報「エリアメール」をご利用いただくためのアプリです。→P95

スケジュール：スケジュールを作成・管理できるアプリで、メモアプリとデータを共有しています。→P117

スプレッドシート：スプレッドシートの作成・編集・共有ができます。

スライド：プレゼンテーションの作成・編集・共有ができます。

設定：本端末の各種設定を行います。→P124

地図アプリ：車・徒歩・電車など複数の移動手段に合わせてお出かけをトータルにサポートするアプリです。ナビゲーション機能など一部機能のご利用にあたっては別途有料サービスへのお申し込みが必要です。

通話設定：通話の設定ができます。→P82

データコピー：機種変更時のデータ移行や、microSDカードへのバックアップ・復元ができるアプリです。→P121

データ保管BOX：データ保管BOXをご利用いただくためのアプリです。データ保管BOXは、必要なファイルをアップロードし、クラウド上で手軽に管理できるサービスです。

電卓：加算、減算、乗算、除算などの計算ができます。→P120

電話：電話の利用や、通話の設定をすることができるアプリです。

ドキュメント：ドキュメントの作成・編集・共有ができます。

時計：アラーム、時計（世界時計）、タイマー、ストップウォッチが利用できます。→P118

ドコモ電話帳：ドコモが提供する電話帳アプリです。docomoアカウントの電話帳データをクラウド上で管理できます。

ドコモメール：ドコモのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。
dアカウントを利用すれば、タブレットやPCブラウザなど複数のデバイスから同一のメールアドレスを使ってメールの送受信や閲覧が行えます。→P89

ドライブ：本端末に保存されている写真や動画などをGoogle ドライブにアップロードして、複数のデバイスからアクセスできます。文書を作成して共有したり、編集したりできます。

取扱説明書：本端末の取扱説明書です。説明から使いたい機能を直接起動することもできます。

ニュース：無料で新聞・雑誌・エンタメニュースが読めて、クーポンも充実の人気ニュースアプリです。

パーソナルノート：ID（アカウント）やパスワードなどの認証情報を登録して管理します。→P145

はなして翻訳：お互いの言葉を相手の言語に翻訳するアプリです。対面翻訳・電話翻訳・うつして翻訳・定型文機能を利用し言語の異なる相手とのコミュニケーションを楽しむことができます。

ファイル：本端末やmicroSDカードなどのデータを管理できるアプリです。→P163

フォト：写真の閲覧や加工ができます。また Google のクラウドに保存することもできます。→P106

マイマガジン：お客様が選んだジャンルの記事が表示される検索サービスです。→P74

マクドナルド：マクドナルドの公式アプリです。店舗検索で近くのマクドナルドを探したり、店舗で使えるお得なクーポンや最新情報を取得することができます。またdアカウントなどでログインすると、ワンタッチでポイントを貯めたり、使うことができます。

マップ：現在地の表示や別の場所の検索、経路検索などを行うことができます。→P117

メモ：メモを作成・管理できるアプリで、スケジュールアプリとデータを共有しています。

らくらくコミュニティ：趣味や生活に役立つ情報、登録者同士での交流が楽しめるインターネット上のコミュニケーションの場です。

ララしあコネクト：歩数・歩速、心拍数、睡眠時間、血圧などのデータを元に、健康管理をサポートする総合アプリです。→P113

ローソン：ローソンの公式アプリです。ケータイが会員カード代わりになるデジタル会員証の表示や店舗検索、おトクなお試し引換券のチェックができます。

✔お知らせ

- このプリインアプリ一覧は、お買い上げ時の状態でホーム画面またはアプリ一覧画面に表示されているものです。
- プリインアプリによっては、アンインストールできる場合があります。アンインストールしても Play ストアなどで再度ダウンロードできる場合があります。→P107
- プリインアプリによっては、初回起動時に Play ストアやドコモのサイトにアクセスしてインストールが必要な場合があります。

おすすめアプリを利用

お客様の利用状況に合わせて、アプリやサービスをおすすめします。

1 ホーム画面で

2 [おすすめアプリ]

- 初めて使用するときは利用の確認画面が表示され、［おすすめアプリを見る］をタップすると説明画面が表示されます。説明画面で［おすすめアプリ一覧へ］をタップするとアプリの一覧画面が表示され、おすすめアプリの通知もONになります。

3 利用するアプリやサービスを選択

- アプリの紹介画面またはサービスページが表示されます。

✔お知らせ

- おすすめアプリ一覧画面で→各設定の／をタップすると、設定をON／OFFに切り替えることができます。
- おすすめアプリの許諾に同意した状態で、ホーム画面でをタップすると、おすすめアプリ一覧の抜粋版が表示されるようになります。おすすめアプリ一覧をもっと見たい場合は［もっとみる］をタップします。

アプリを探す

アプリを使用した順やインストールした順に一覧で探したり、アプリ名で検索したりする機能です。

1 ホーム画面で

2 アプリ検索バーにアプリ名を入力

- ［つかった順］／［アプリ名順］／［インストール順］をタップすると、任意の並び順ですべてのアプリを一覧で表示できます。

3 アプリを選択

アプリが起動します。

マイマガジン

マイマガジンはお客様が選んだジャンルの記事が表示される検索サービスです。読む記事の傾向やプロフィール情報によって使えば使うほどお客様の好みに近づいていきます。お知らせの通知や位置情報、ドコモサービス契約情報などを利用したマイマガジンのカスタマイズが利用できるように設定することもできます。

◆ 記事の見かた

1 ホーム画面で

- 表示するジャンル選択画面が表示された場合は、ジャンルを選択して［OK］をタップします。
- ジャンル別の記事一覧画面が表示されます。
- 左右にフリックするとジャンルを切り替えられます。

2 読みたい記事をタップ

- をタップすると、マイマガジンの設定を変更したり、ヘルプを確認したりできます。

◆ 表示ジャンル設定

1 ホーム画面で

ジャンル別の記事一覧画面が表示されます。

2 →［表示ジャンル設定］

- チェックを付けたジャンルがマイマガジン上に表示されるようになります。
- 右上のをタップするとジャンルの並べ替えをすることができます。

my daiz NOW

my daiz NOWは、あなたの好みや行動に合わせて便利な情報をお届けするサービスです。天気や交通情報、グルメ情報などの生活に便利な情報が簡単にチェックできます。

◆ 画面の見かた



1 ホーム画面で右にフリック

- 上下スワイプで表示するカードを切り替えることができます。
- 左右にフリックするとホーム画面に戻ります。

2 読みたいカードをタップ

- カードをタップすると、より詳細な情報が閲覧できます。
- 画面左上に表示されるmy daiz（キャラクター）をタップすると、知りたいことに対話で応えてくれます。

◆ 表示設定

1 ホーム画面でアイコンなどがない部分をロングタッチ→[ホーム設定]

2 [my daiz NOW表示設定]のON／OFFを設定

ホームアプリの情報

docomo LIVE UXのバージョン情報などが確認できます。

1 ホーム画面で田→⋮

2 [アプリ情報]
- docomo LIVE UXのアップデートがある場合は、アプリケーション情報画面に［今すぐアップデート］が表示され、タップするとdocomo LIVE UXをアップデートできます。

電話／電話帳

電話をかける

1 ホーム画面で ➡［かんたん電話］

ダイヤル入力画面が表示されます。

- 通話履歴が表示された場合は、［ダイヤル］をタップします。

2 電話番号を入力

- 訂正する場合は［削除］をタップします。
- 電話番号を入力せずに［電話帳を開く］をタップすると、かんたん電話帳の連絡先一覧画面が表示されます。
- 電話番号を入力した状態で［メニュー］をタップすると、「電話帳に登録」「通知で電話する」「非通知で電話する」「国際電話をかける」の操作ができます。

3 ［電話をかける］

4 通話が終了したら

✔**お知らせ**

- VoLTEは、音声通話を高品質でご利用いただけます。
VoLTEのご利用には、自分と相手が以下の条件を満たす必要があります。
  - VoLTE対応機種であること
  - VoLTE利用可能エリアであること
  - モバイル ネットワーク設定の「優先ネットワークタイプ※1」が「4G/3G/GSM」、「4G LTE拡張モード※2」がONであること

  ※1 ホーム画面で ➡［設定］➡［ネットワークとインターネット］➡［モバイル ネットワーク］➡［詳細設定］➡［優先ネットワークタイプ］で設定できます。

  ※2 ホーム画面で ➡［設定］➡［ネットワークとインターネット］➡［モバイル ネットワーク］➡［詳細設定］➡［4G LTE拡張モード］で設定できます。
- ドコモのLTEサービスエリアでは、「4G LTE拡張モード」がOFFの場合、データ通信も3Gとなります。
- 「4G LTE拡張モード」をOFFからONに変更しても、直ちに音声通信及びデータ通信が3GからLTEに切り替えできない場合があります。
- VoLTE（HD+）は、通話の音声がVoLTEよりさらに高音質でご利用いただけます。
VoLTE（HD+）のご利用には、VoLTEのご利用条件に加えて、自分と相手がVoLTE（HD+）対応機種である必要があります。
- 通話中に近接センサーに顔などが近づくとディスプレイの表示が消え、離れると再表示されます。
- 本端末にイヤホンを挿入している場合、またはスピーカーフォンで通話を行っている場合は、近接センサーを停止します。そのため、近接センサーに顔などが近づいてもディスプレイの表示は消えません。
- 通話中に髪の毛の上から受話口を当てている場合、近接センサーが正常に動作しなくなり、通話が遮断される場合があります。
- ［発信者番号通知］（➡P82）で通知／非通知を一括設定できます。
- 通話中にプッシュ信号を送信する場合は、「通話中の操作」をご覧ください。➡P80

◆ 緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上保安本部への通報	118

- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。位置情報を通知した場合には、通報した緊急通報受理機関の名称が表示されます。
  なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定に関わらず、機関側がGPSを利用した位置測位による正確な位置情報と電話番号を取得することがあります。
  また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- 本端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- ⏻（電源キー）（1秒以上）→［緊急通報］をタップしても緊急通報をかけることができます。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。
- 日本国内ではドコモnanoUIMカードを取り付けていない場合、PINコードの入力画面、PINコードロック・PUKロック中、ソフトウェア更新中は緊急通報110番、119番、118番に発信できません。
- 海外で110番、119番、118番を発信すると緊急呼通話中画面が表示される場合がありますが、通常発信されています。
- 着信拒否設定が有効な状態で緊急通報を行うと、着信拒否設定は無効に変更されます。
- 通信事業者によってはVoLTE緊急通報が利用できない場合があります。その場合は、［4G LTE拡張モード］（→P128）をOFFにしてください。
- 一部のネットワークでは、緊急通報が利用できない場合があります。

◆ 通話ごとに発信者番号を通知／非通知

電話をかけるときに自分の電話番号を相手の端末に表示させるかどうかを設定します。

- 発信者番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際にはご注意ください。

1 ホーム画面で⊞→［かんたん電話］

2 電話番号を入力

3 ［メニュー］→［通知で電話する］／［非通知で電話する］→［電話をかける］

◆ 追加番号を入力して発信

銀行の残高照会やチケットの予約サービスなど、通話中に番号を追加入力する必要がある場合、あらかじめ電話番号と追加の番号を一度に入力して発信することができます。「#」をロングタッチすると「;」（待機）が、「⁎」をロングタッチすると「,」（2秒間の停止）が入力されます。

- 待機「;」：電話番号をダイヤルした後、自動的に待機し追加番号の確認メッセージが表示されます。
［送信する］をタップすると追加番号をダイヤルします。
- 2秒間の停止「,」：電話番号をダイヤルした後、自動的に2秒間一時停止してから追加番号をダイヤルします。

1 **ホーム画面で田→［かんたん電話］**

2 **電話番号を入力→待機「;」（「#」をロングタッチ）／2秒間の停止「,」（「⁎」をロングタッチ）→追加番号を入力**

3 **［電話をかける］**

- 待機「;」の場合、電話がつながったら［送信する］をタップすると追加番号をダイヤルします。

✔お知らせ

- 通話中にダイヤルパッドを表示して番号を入力する場合は、通話中画面で［通話を追加］→追加番号を入力します。

◆ 国際電話（WORLD CALL）

WORLD CALLは国内でドコモの端末からご利用になれる国際電話サービスです。

- WORLD CALLの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 **ホーム画面で田→［かんたん電話］→+（「0」をロングタッチ）→「国番号-地域番号（市外局番）の先頭の0を除いた電話番号」を入力→［電話をかける］**

- イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。
- 国リストから選択して「＋国番号」を入力する場合は、地域番号（市外局番）と電話番号を入力し、［メニュー］→［国際電話をかける］→国を選択します。

電話を受ける

◆ 音声電話を受ける

〈例〉スリープモード中に電話がかかってきた場合

1 電話がかかってくる



音声電話の着信中画面

着信画面（全画面）が表示されます。

- 着信音、バイブレータの動作を止めるには、（電源キー）／音量キーを押します。

2 を上にスワイプ

着信拒否：を下にスワイプ

応答拒否SMS送信：を上にスワイプ→メッセージを選択

伝言メモ録音：を上にスワイプ

3 通話が終了したら

✔**お知らせ**

- ホーム画面表示中やアプリ起動中に着信すると、画面上部に着信画面が表示されます。応答し、通話を終了すると通話前の画面に戻ります。なお、着信画面で着信相手の名前または電話番号をタップすると、着信画面（全画面）を表示できます。
- 伝言メモをONにしていた場合は10件まで保存できます。すでに10件保存された状態で着信があると、通常の着信となり伝言メモは起動しません。
  伝言メモを起動できるようにするには、伝言メモのリストから不要な伝言メモを削除（→P82）してください。
- 電話に出られなかったときは、ステータスバーに通知アイコン（→P58）が表示されます。通知パネル（→P59）を開いて不在着信を確認したり、電話の発信やSMSを送信したりできます。
- ［スグ電設定］（→P84）をONにしていると、音声電話がかかってきた際に、本端末を耳にあてるだけで電話を受けられます。

◆ 操作中に着信を受ける

ホーム画面表示中やアプリ起動中に着信すると、画面上部に着信画面がポップアップ表示されます。



- 着信画面で着信相手の名前または電話番号をタップすると、着信画面（全画面）が表示できます。
- 応答して通話を終了すると、通話前の画面に戻ります。

通話中の操作

通話中画面では次の操作ができます。

- 発信中／通話中に音量キーで、通話音量の調節をすることができます。



音声通話中画面

① **相手の名前や電話番号**

② **ダイヤル入力のダイヤルパッドを表示**
　プッシュ信号（DTMFトーン）を送信します。

③ **ミュートをON／OFF**
- ミュートをONにすると、自分の声が相手に聞こえないようにします。

④ **通話を追加**
　キャッチホンを利用して別の相手との通話を追加の操作ができます。

⑤ **サブメニューの表示**
　はっきりボイスのON／OFF、あわせるボイスの設定変更ができます。

⑥ **通話時間**

⑦ **自分の電話番号**

⑧ **スピーカーフォンをON／OFF**

- Bluetooth機器を接続している場合は、音声の出力先を切り替えることができます。

⑨ **保留**

通話の保留※／保留解除ができます。

※ 保留をご利用いただく場合は、キャッチホン契約が必要です。

⑩ **通話を終了**

✔お知らせ

- はっきりボイスをONにすると、相手の聞こえにくい声を強調したり、受話音を整えたりして聞き取りやすくします。
- あわせるボイスを設定することで、通話音声を自動で聞き取りやすく調整できます。
- キャッチホンをご契約の場合は、音声通話中に［通話を追加］をタップして別の相手に電話をかけることができます。
- スピーカーフォンをONにすると、相手の声をスピーカーから流してハンズフリーで通話ができます。

発着信履歴

電話の発着信履歴を確認できます。

1 **ホーム画面で→［かんたん電話］**

2 **［履歴］**



① **名前や電話番号**

タップすると詳細画面が表示されます。詳細画面から電話発信や電話帳に登録、メッセージの送信などができます。

② **履歴アイコン**

発信履歴は、着信履歴は、不在着信履歴はがそれぞれ表示されます。

③ **発着信の種別**

発信、着信、不在着信がそれぞれ表示されます。

④ **通話履歴の全件削除**

⑤ **電話帳を開く**

タップすると、かんたん電話帳の連絡先一覧画面が表示されます。

◆ 発着信履歴の削除

1 通話履歴画面で[全ての履歴を削除する]

2 [削除する]→[OK]

伝言メモ

伝言メモの設定や録音した伝言の再生／削除を行います。

1 ホーム画面で⊞→[通話設定]→[伝言メモ]

2 各項目を設定

伝言メモ：伝言メモのON／OFFを設定します。

- 保存した伝言メモが最大保存件数を超えた場合は、設定を有効にしていても伝言メモで応答しません。

伝言メモリスト：録音した伝言メモのリストを表示します。伝言メモを選択→▶をタップすると伝言が再生されます。

- 伝言メモをロングタッチ→［1件削除］→［はい］をタップすると伝言が1件削除されます。伝言メモがない旨のメッセージが表示された場合は［OK］をタップしてください。
- 伝言メモのリストで⋮→［全件削除］→［はい］→［OK］をタップすると伝言が全件削除されます。
- 伝言メモに録音できる1件あたりの最大録音時間や保存可能件数については、「主な仕様」をご覧ください。→P190

着信呼出設定：着信呼出時間を設定します。

✔お知らせ

- かかってきた電話に伝言メモで対応する場合は、相手の方へ「ただいま電話に出ることができません。ピーッという発信音の後に、60秒以内でメッセージをお話しください。」というメッセージが流れます。

通話設定

ドコモのネットワークサービスや通話、インターネット通話に関するさまざまな設定を行います。

1 ホーム画面で⊞→[通話設定]

2 各項目を設定

ネットワークサービス・海外設定：ドコモのネットワークサービスと海外ローミング時の動作を設定します。

ネットワークサービス：次のドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。

- 留守番電話サービス：サービスの開始／停止、呼出時間設定などを行います。
- 転送でんわサービス：サービスの開始／停止、転送先変更などを行います。
- キャッチホン：サービスの開始／停止、設定確認を行います。
- 発信者番号通知：通知設定を行います。
- 迷惑電話ストップサービス：登録、削除、登録件数の確認、詳細設定を行います。
- 番号通知お願いサービス：サービスの開始／停止、設定確認を行います。
- 着信通知：サービスの開始／停止、設定確認を行います。

- 英語ガイダンス：設定、設定確認を行います。
- 遠隔操作設定：サービスの開始／停止、設定確認を行います。
- 公共モード（電源OFF）設定：サービスの開始／停止、設定確認を行います。

海外設定：設定方法→P175
利用者情報の送信：利用者情報の送信を許諾するかどうかを設定します。
伝言メモ：設定方法→P82
着信拒否設定：着信拒否に関する設定を行います。
- 次の各項目をタップして着信拒否を設定できます。
  - 登録外着信拒否：電話帳に未登録の着信を拒否するかを設定します。
  - 非通知着信拒否：非通知の着信を拒否するかを設定します。
  - 公衆電話着信拒否：公衆電話からの着信を拒否するかを設定します。
  - 通知不可能着信拒否：電話番号を通知できない電話からの着信を拒否するかを設定します。
  - 番号を追加：登録した電話番号からの着信とSMSを拒否します。

応答拒否SMS：着信時に利用できる応答拒否SMSの編集を行います。
迷惑電話対策：設定方法→P153
国際ダイヤルアシスト：設定方法→P175
通話音声の自動調整：はっきりボイスのON／OFF、あわせるボイスの設定変更を行います。通話音声を自動で聞き取りやすく調整するように設定できます。
はっきりボイス：相手の声を強調して聞き取りやすくするかを設定します。
あわせるボイス：通話音声が自動で聞き取りやすくなるように調整する設定をします。
電源ボタンで通話を終了：通話中に、⏻（電源キー）を押して通話を終了するように設定できます。
スグ電設定：設定方法→P84
ドコモへのお問合せ※1：総合お問い合わせ先など、ドコモのお問い合わせ先へ電話をかけます。
通話アカウント：SIPアカウントやSIP通話の使用などを設定します。
オフィスリンク設定※2：オフィスリンクの保留転送、プレフィックスに関する設定を行います。

※1 ドコモnanoUIMカードを取り付けていない場合は表示されません。
※2 オフィスリンクは法人のお客様向け内線サービスです。

✔お知らせ
- ホーム画面で⊞→［設定］→［音］をタップして、通話音量や着信音など、音に関する設定ができます。→P139
- ［電源ボタンで通話を終了］にチェックを付けると、⏻（電源キー）を押して通話を終了することができます。通話中にスリープモードになった場合は、⏻（電源キー）を押してスリープモードを解除してから⏻（電源キー）を押すと、通話を終了できます。

◆ スグ電設定

モーションおよび音声キーワードだけで電話の操作ができる「スグ電」の設定を行います。

1 **ホーム画面で→[通話設定]**

2 **[スグ電設定]**

3 **各項目を設定**

応答：本端末を耳に当てることで応答できます。

ミュート（保留）：通話中にミュート（保留）キーワードを含んだ言葉を発した後に本端末を耳から離すことで本端末のマイクをOFF（ミュート）にできます。

切断（モーション）：通話中に画面を下向きにして本端末を水平に置く、または本端末を2回振ることで切断できます。

切断（音声）：通話中に切断キーワードを発した後に本端末を耳から離すことで切断できます。

発信：ホーム画面で本端末を1回振ってから耳に当てることで、あらかじめ登録した相手、または発着信履歴に登録された相手に発信できます。

消音・拒否：着信中に画面を下向きにして本端末を水平に置く、または本端末を2回振ることで着信音を消音・応答拒否できます。「消音」「拒否」「拒否してSMS送信」から選択して設定できます。

発信ランキング：発信回数の多い相手の確認ができます。

利用者情報の送信：利用者情報の送信について設定できます。

ローミング時スグ電無効：海外渡航時にスグ電機能を自動的にOFFにできます。

✔お知らせ

- 次の場合は、スグ電が正しく動作しません。
  - スピーカーフォン利用時
  - イヤホンやヘッドセット利用時
  - 通話機能を持つBluetooth機器と接続中の場合（ミュート（保留）、切断（音声）、発信（モーション））
  - 通話中にさらに発信／着信を行う場合
  - 寝ている体勢の場合
  - 走る、階段の上り下りをするなど激しい運動をしている場合
  - ブックタイプのスマートフォンケースなどでディスプレイを覆っている場合
- 着信中に画面が点灯したままバッグやポケットに入れると、まれにモーションが実行されたとみなされ、応答または切断される場合があります。
- 近接センサーは黒いものに反応しにくい特性があります。（応答をする際）髪の毛の上から受話口をあてている場合、近接センサーが正常に動作しにくいため、電話に応答できない場合があります。その場合は耳に直接受話口をあててください。
  （切断（モーション）／消音・拒否をする際）黒い机などの上で本端末を裏返すと反応しない（切断（モーション）／消音・拒否されない）場合があります。その場合は直接置かず、机などから1cm程度浮かせるように本端末を裏返すと反応（切断（モーション）／消音・拒否）します。
- スグ電の機能が利用可能なときは、通知アイコン（）が表示され、通知パネル（→P59）を開いてスグ電の情報を確認したり、スグ電設定を表示したりできます。

- スグ電の機能やご利用時の注意事項など、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご覧ください。
https://www.nttdocomo.co.jp/service/suguden/

切断（モーション）について
- モーションが実行されると、以下においては切断が有効となり、通話が切断されます。
  - 相手が保留中の場合
  - 伝言メモ起動中の場合（応答メッセージ再生中／伝言メモ録音中）
- 切断する際に、本端末を下向きに置く動作が速いと反応しない（切断できない）場合があります。その場合は、動作をゆっくり行うと反応（切断）します。
- 本端末を強く振ると、モーションが実行されたとみなされ、切断される場合があります。

切断（音声）について
- 切断キーワードを発すると、以下においては切断が有効となり、通話が切断されます。
  - 相手が保留中の場合
  - 相手が伝言メモ起動中の場合（応答メッセージ再生中／伝言メモ録音中）

ミュート（保留）、切断（音声）について
- ミュート（保留）、切断（音声）をONにしている状態で通話しているときは、他のマイクを利用するアプリや通話中の音声を利用するアプリ（例：通話録音アプリ）は使用できないことがあります。通話中にご利用になりたい場合は、終話後にミュート（保留）、切断（音声）の両機能をOFFにすることで利用可能になります。
- 伝言メモの起動中（応答メッセージの再生中／伝言メモの録音中）は、ミュート（保留）、音声での切断ができません。伝言メモの録音中に電話に出た場合には、ミュート（保留）、音声での切断が可能になります。
- 「はなして翻訳」を利用した通話の場合は、音声での切断はできません。
- スグ電音声機能の提供には音声認識技術や言語処理技術を用いておりますが、当社はそれらの技術の精度などについて何らの保証をするものではありません。
- 通話時に声量が小さすぎたり、騒音下で通話したり、または発話の仕方によっては、音声認識ができない場合があります。

発信について
- ホーム画面またはロック画面（セキュリティ解除方法が［スワイプ］の場合のみ）表示中に発信が可能です。

消音・拒否について
- 本端末を強く振ると、モーションが実行されたとみなされ、消音・拒否で設定している機能が実行される場合があります。

ローミング時スグ電無効について
- スグ電機能は海外では自動で無効になります。海外でご使用の場合はスグ電設定より、ローミング時スグ電無効をOFFにしてからお使いください。

電話帳

電話帳には電話番号やメールアドレスなどを登録できます。簡単な操作で登録した相手に連絡できます。

- ドコモデータコピーアプリを使用すると、電話帳やその他のデータを一括でバックアップ／復元することができます。詳細は「ドコモデータコピー」の「バックアップ・復元」をご覧ください。→P121

1 ホーム画面で→[かんたん電話帳]



① **新規登録**
連絡先を新規登録します。

② **名前**
タップすると詳細画面が表示されます。詳細画面から電話発信、メール送信、SMS送信、登録内容の修正などの操作ができます。

③ **メニュー**
グループ表示、電話帳検索などができます。

④ **インデックス**
インデックスを表示します。

◆ 電話帳に登録

連絡先を登録します。

1 ホーム画面で→[かんたん電話帳]

2 [新規登録]

3 名前を入力→[次へ]

4 フリガナを入力→[次へ]

- 入力した名前のフリガナがあらかじめ入力されています。修正の必要がなければそのまま［次へ］をタップします。

5 電話番号を入力→[次へ]

6 [この内容で登録する]→[OK]

- 住所やメモなどを登録する場合は、各項目で［追加］をタップします。

✔お知らせ

- 各項目で［省略］をタップすると、項目を設定せずに次の操作に進みます。
- 発着信履歴から電話帳に登録する場合は、ホーム画面で→［かんたん電話］→［履歴］→登録したい履歴を選択→［メニュー］→［電話帳に登録］→［電話帳に新規登録］／［電話帳に追加登録］→各項目を設定→［この内容で登録する］→［OK］をタップします。

◆ 連絡先の編集

登録済みの連絡先の内容を修正します。

1 連絡先リストで修正したい連絡先を選択→[修正する]

2 各項目を設定

- 名前や電話番号などを編集できます。

3 [この内容で登録する]→[OK]

◆ 連絡先の削除

登録済みの連絡先を削除します。

1 連絡先リストで削除したい連絡先を選択

2 [メニュー]→[削除する]→[削除する]→[OK]

✔お知らせ

- シンプルホームの短縮ダイヤルに連絡先を登録している場合、電話帳から連絡先を削除しても、シンプルホームの短縮ダイヤルは自動では削除されません。次の手順で削除してください。
  短縮ダイヤルアイコンをロングタッチ→［ホーム配置をやめる］→［OK］

◆ 連絡先を検索

連絡先を検索します。

1 連絡先リストで[メニュー]→[検索する]

2 検索したいキーワードを入力→[検索する]

◆ 電話帳をグループごとに表示

連絡先を登録したグループごとに表示できます。

1 連絡先リストで[メニュー]→[グループ表示する]→表示したいグループを選択

❖グループの新規作成

連絡先を登録するグループを作成できます。

1 連絡先リストで[メニュー]→[グループ表示する]

2 [メニュー]→[グループを編集する]→[グループを追加]

3 [一覧から選ぶ]→一覧からグループを選択→[この内容で登録する]→[OK]

入力して追加：［直接入力する］→グループ名を入力→［決定］→［この内容で登録する］→［OK］

自分の電話番号

ご利用の電話番号を確認できます。また、ご自身の情報を入力、編集したりできます。

1 ホーム画面で→[設定]→[アカウント]→[マイプロフィール]→アプリを選択

- [修正する]（ドコモ電話帳の場合は）をタップすると、名前やメールアドレスなどのマイプロフィールを修正できます。
- プロフィール画面で［メニュー］（ドコモ電話帳の場合は→［共有]）をタップすると、共有の操作ができます。

メール／ウェブブラウザ

ドコモメール

ドコモのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。
送受信したメールはドコモのメールサーバに保存されるので、機種変更時のデータ移行や、端末紛失時のデータ復旧が簡単に行えます。またdアカウントを利用すれば、タブレットやPCブラウザなど複数のデバイスから同一のメールアドレスを使ってメールの送受信や閲覧が行えます。
ドコモメールの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
https://www.nttdocomo.co.jp/service/docomo_mail/

1 ホーム画面で

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

＋メッセージ

携帯電話番号を宛先にして、テキストメッセージだけでなく、画像、動画、スタンプなどをチャット形式で送受信できます。また、1対1でのメッセージのやりとりだけではなく、複数人でのグループメッセージのやりとりもできます。
＋メッセージを利用していない相手とは、＋メッセージアプリでショートメッセージサービス（SMS）での送受信をすることができます。
また、公式アカウントを利用することで企業とのメッセージのやりとりを行うことができます。
＋メッセージの詳細については、ホーム画面で［+メッセージ］→→［マイページ］→［ヘルプ］→［使い方ガイド］を参照するか、ドコモのホームページをご覧ください。
https://www.nttdocomo.co.jp/service/plus_message/

1 ホーム画面で［+メッセージ］

- をタップすると連絡先一覧画面が、をタップするとメッセージ一覧画面が表示されます。



連絡先一覧画面



メッセージ一覧画面

① **切替タブ**
タップすることで、すべての連絡先を表示するか、＋メッセージの利用者（のアイコンが表示されている連絡先）のみを表示するか、切り替えることができます。

② **マイプロフィール**
お客様の連絡先が表示されています。タップすることでマイプロフィールを表示・編集できます。

③ **公式アカウントを探す**
タップすると公式アカウントストアが表示されます。

④ **お気に入りの連絡先**
お気に入りに設定した連絡先が連絡先一覧の上段、［公式アカウントを探す］の下に表示されます。

⑤ **連絡先**
タップすることで、連絡先の詳細を確認することができます。

⑥
＋メッセージを利用している連絡先を表すアイコンです。このアイコンが表示されている連絡先とグループメッセージのやりとりができたり、写真、スタンプなどをやりとりしたりすることができます。

⑦
タップすることで連絡先を追加できます。

⑧ **プロフィール画像**
相手のプロフィール画像が表示されます。連絡先に登録されたプロフィール画像より、相手が登録したプロフィールの画像が優先して表示されます。

⑨ **メッセージ**
タップするとメッセージ画面を表示することができます。

⑩ **公式アカウント**
企業が運営しているアカウントです。アイコンが丸囲いの四角（）で表示されます。

⑪
ドコモの審査を通過したことを示す認証済みマークです。

⑫
サブメニューを表示します。
- すべて既読：未読メッセージをすべて既読にします。
- メッセージの並べ替え：メッセージの並べ替えを行います。
- マイページ：マイページを表示します。マイページではプロフィールの編集、設定、スタンプストアなどが利用できます。

⑬
新しいメッセージと新しいグループメッセージを作成できます。

◆ メッセージの送信

1 **ホーム画面で[＋メッセージ]**

2 **→→[新しいメッセージ]／[新しいグループメッセージ]**

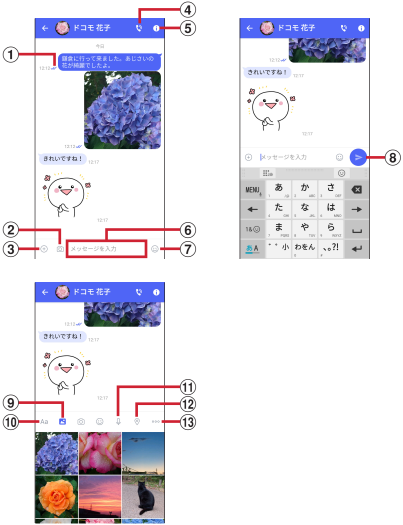
- グループメッセージとは、＋メッセージサービス利用者（連絡先にマークがついている人）複数人でメッセージのやりとりができる機能です。

3 **宛先を選択**

- 連絡先に登録されていない宛先に送信する場合は、［名前や電話番号を入力］をタップし、電話番号を直接入力してください。
- グループメッセージの場合は、宛先を複数選択後［OK］をタップしてください。

4 **メッセージ入力欄をタップして文字を入力→**

- 宛先が＋メッセージ利用者であれば、写真や動画、スタンプを送信できます。



① 配信状態

メッセージの配信状態を表示します。

✓✓：相手がメッセージを閲覧済み

- 送受信者両方の「メッセージの既読機能」設定がオンの場合のみ、お互いの既読状態を確認できます。

✓：相手の端末でメッセージを受信済み
（アイコン表示なし）：サーバにメッセージを送信済み
❌：メッセージ送信に失敗

②

タップするとカメラが起動します。ロングタッチすると、写真が撮影されそのまま送信することができます。

③

写真やスタンプ、位置情報などを送信するためのシェアトレイを表示します。

- シェアトレイを表示すると、画像送信や音声録音などの機能が使用できます。

④

電話アプリが起動し、発信できます。

⑤

サブメニューを表示します。

- 連絡先の登録や、通知設定の変更などができます。

⑥ **メッセージ入力欄**

メッセージを入力することができます。

⑦

スタンプ選択画面への切り替えができます。

⑧

入力したメッセージを送信します。

⑨

画像選択画面への切り替えができます。

⑩ Aa

テキスト入力画面への切り替えができます。

⑪

音声録音画面への切り替えができます。

⑫

地図画面への切り替えができます。

⑬ ◦◦◦

連絡先／スケッチ／ファイル共有が選択できます。

✔お知らせ

ショートメッセージサービス（SMS）についてのお知らせ

- 海外通信事業者をご利用のお客様との間でも送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 宛先が海外通信事業者の場合、「+」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は、先頭の「0」を除いた電話番号を入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。
- 宛先に「#」または「*」がある場合、SMSを送信できません。
- 宛先の電話番号に184／186を付与した場合はSMSを送信できません。

＋メッセージについてのお知らせ

- 海外ローミングにより＋メッセージアプリをご利用いただくには、＋メッセージアプリにて海外ローミング時の＋メッセージ利用設定を「オン」に設定していただく必要があります（初期設定は「オフ」に設定されています）。
  また、端末のデータローミングの設定を「オン」にしてください。
- 機種変更前、またはMNPによる転入前端末で＋メッセージを利用されていた場合であっても、メッセージの受信を行うには＋メッセージアプリを起動し、＋メッセージ利用規約などに同意いただく必要があります。

◆ メッセージを読む

送受信したメッセージは、宛先／送信者ごとにスレッドにまとめて表示されます。

1 ホーム画面で[＋メッセージ]

2 →読みたいメッセージのスレッドを選択

- メッセージを返信する際に使用する各機能については、「メッセージの送信」をご覧ください。→P91

◆ メッセージを転送する

1 ホーム画面で[＋メッセージ]

2 →スレッドを選択

3 転送するメッセージをロングタッチ→

4 宛先を選択し、メッセージを入力→

◆ メッセージを削除する

1 ホーム画面で[＋メッセージ]

2 →スレッドを選択

3 削除するメッセージをロングタッチ→→[削除]

- 本端末上のメッセージのみ削除され、相手側のメッセージは削除されません。
  なお、削除したメッセージは元に戻すことができません。
- 画像選択時など、が表示されない場合があります。その場合は、→［削除］→［削除］の順に操作してください。

◆ スレッドを削除する

1 ホーム画面で[＋メッセージ]

2 →削除するスレッドをロングタッチ

3 →[削除]

- グループメッセージのスレッドを削除すると、グループから退出されます。

◆ ＋メッセージの設定を変更する

1 ホーム画面で[＋メッセージ]

2 →[マイページ]→[設定]

3 各項目を設定

メッセージ：メッセージに関する設定や、バックアップ・復元などができます。
公式アカウント：公式アカウントの通知音設定ができます。
写真や動画：送受信時の写真や動画などの添付ファイルなどに関する設定ができます。
テーマカラー・背景：テーマカラーやメッセージ画面の背景が設定できます。
通知：通知に関する設定ができます。
プライバシー：パスコードやブロックなどが設定できます。
その他：ユーザー情報引き継ぎの設定や＋メッセージサービスの初期化などができます。

◆ 公式アカウント機能を利用する

1 ホーム画面で[＋メッセージ]

2 →[公式アカウントを探す]

3 「公式アカウント」画面にて利用したいアカウントをタップ

4 「利用規約に同意し、この公式アカウントを利用します」にチェックを付ける

5 [利用する]

Gmail

Google のメールサービスや一般のプロバイダが提供するEメールを利用できます。

- Google アカウントやEメールアカウントを設定していない場合は、画面の指示に従って設定してください。

◆ Gmail の表示

1 ホーム画面で[Google]→[Gmail]

受信トレイにメッセージスレッドの一覧が表示されます。

- Gmail の詳細については、をタップまたは画面の左端を右にフリック→［ヘルプとフィードバック］をタップしてヘルプをご覧ください。

緊急速報「エリアメール」

エリアメールは、気象庁が配信する緊急地震速報、津波警報、気象などに関する特別警報、国・地方公共団体が配信する災害・避難情報を、回線混雑の影響を受けずに受信できるサービスです。

- エリアメールはお申し込み不要の無料サービスです。
- 最大50件まで保存できます。最大保存件数を超えると、受信日時が古いエリアメールから順に削除されます。
- 次の場合はエリアメールを受信できません。
  - 電源オフ時
  - 国際ローミング中
  - 機内モード中
  - ソフトウェアアップデート中
  - PINコード入力画面表示中
  - 他社のSIMカードをご利用時
  - 音声通話中（VoLTEを利用した音声通話中を除く）
- 端末のメモリの空き容量が少ないとき、テザリング設定中およびパケット通信を利用している場合は、エリアメールを受信できないことがあります。
- 受信できなかったエリアメール（緊急地震速報）を再度受信することはできません。エリアメール（津波警報、気象などに関する特別警報、災害・避難情報）は再送され、受信できなかった場合は再受信が可能になります。

◆ 緊急速報「エリアメール」の受信

エリアメールを受信すると、内容通知画面が表示され、専用ブザー音または専用着信音とバイブレーションでお知らせします。

- 専用ブザー音および専用着信音は変更できません。

1 エリアメールを自動的に受信する

2 受信すると専用ブザー音または専用着信音が鳴り、ステータスバーにアイコンが表示される

3 エリアメールの本文が表示される

❖受信したエリアメールを後で確認

1 ホーム画面で→[災害用キット]

2 [緊急速報「エリアメール」]

3 エリアメール一覧から、任意のエリアメールを選択

❖エリアメールの削除

1 ホーム画面で→[災害用キット]

2 [緊急速報「エリアメール」]

3 削除するエリアメールを選択→[削除]→[OK]

◆ 緊急速報「エリアメール」設定

エリアメールを受信するかどうかや、受信時の動作などを設定します。

1 ホーム画面で ⊞ →[災害用キット]

2 [緊急速報「エリアメール」]

3 ⋮ →[設定]

4 各項目を設定

エリアメールの許可：エリアメールを受信するかを設定します。
エリアメールの履歴：受信したエリアメールの一覧を表示します。
バイブレーション：エリアメール受信時のバイブレーションを設定します。
メッセージ受信を再通知する：受信したエリアメールを再通知させるかを設定します。再通知は専用音とバイブレーションでお知らせします。
1回を設定した場合、エリアメールを受信した2分後に1回だけ再通知されます。
2分毎を設定した場合、エリアメールを受信した2分後から2分おきに最大3回再通知されます。
15分毎を設定した場合、エリアメールを受信した15分後から15分おきに最大3回再通知されます。
最大音量を使用する：エリアメール受信時の音量を設定します。
ONにした場合、マナーモード設定時においても最大音量で鳴動します。
OFFにした場合、アラーム音量に従って鳴動します。
受信画面および着信音確認：緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報／気象など特別警報のエリアメールを受信したときの受信画面とブザー音・着信音を確認します。
やさしい日本語表示：緊急地震速報・津波警報をわかりやすい日本語で表示するかを設定します。
翻訳・アプリ連携設定：受信内容を翻訳したり、他のアプリとの連携機能を利用するかを設定します。

Chrome

「Chrome」アプリを利用して、パソコンと同じようにWebサイトを閲覧できます。
本端末では、パケット通信またはWi-Fiによる接続で「Chrome」アプリを利用できます。

◆ Webサイト表示中の画面操作

■ Webページを縦表示／横表示に切り替え

本端末を縦または横に傾けて、縦／横画面表示を切り替えます。

■ 画面のスクロール／パン

画面を上下／左右にスクロールまたは全方向にパン（→P48）して見たい部分を表示します。

■ Webページの拡大／縮小

ピンチアウト／ピンチイン：拡大／縮小します。

◆ Chrome を起動してWebサイトを表示

1 ホーム画面で[Chromeアイコン]

ホームページに設定しているWebページが表示されます。
- 画面を下方向にスライドするとWebページの最上部にアドレスバーが表示され、URLやキーワードを入力することができます。

◆ 新しいタブを開く

複数のタブを開いてWebページをすばやく切り替えることができます。

1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→[1]※

※ 開いているタブの数によって数字が異なります。

2 ＋

新しいタブが開き、Webページが表示されます。
切り替え：表示するタブをタップ
閉じる：閉じるタブの[×]

✔お知らせ

- Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→[⋮]→［新しいタブ］をタップしても新しいタブを開くことができます。

◆ シークレットタブでWebサイトを表示

閲覧履歴や検索履歴を残さずに、Webページを閲覧できます。

1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→[⋮]

2 ［新しいシークレット タブ］

シークレットタブでWebページが表示されます。
- アドレスバーにURLやキーワードを入力します。
- シークレットタブを起動中の場合はステータスバーに[シークレットアイコン]が表示されます。また、シークレットタブで表示中はアドレスバーの周囲が灰色で表示されます。

- シークレットタブを閉じるには、Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→1[※]→シークレットタブの⊗をタップします。
  ※ 開いているタブの数によって数字が異なります。

✔お知らせ

- シークレットタブで開いたWebページは履歴に残りません。シークレットタブを閉じるとCookieなどの記録も消去されます。ただし、ダウンロードしたファイルやブックマークに登録したWebページは保存されます。

◆ 履歴からWebサイトを表示

1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→⋮→[履歴]

2 Webサイトの履歴を選択

◆ ブックマークを登録してWebサイトを表示

❖ブックマークの登録

1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→⋮→☆

❖ブックマークからWebサイトを表示

1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→⋮→[ブックマーク]

2 ブックマークを選択

- ブックマークの右の⋮をタップすると、編集や削除などができます。

◆ Webサイトのリンク操作

Webサイトに表示されているリンクを新しいタブで開いたり、アドレスやテキストのコピーやファイルのダウンロードなどができます。

1 Webサイト表示中にリンクをロングタッチ

2 メニューから目的の操作を選択

✔お知らせ

- ダウンロードしたファイルは、「ファイル」アプリ（→P163）やWebサイト表示中に⋮→［ダウンロード］をタップして確認できます。

◆ Webサイトの画像をダウンロード

1 Webサイト表示中に画像を選択（ロングタッチ）→[画像をダウンロード]

- ダウンロードした画像は、「フォト」アプリ（→P106）やWebサイト表示中に⋮→［ダウンロード］をタップして確認できます。

◆ Webサイトの文字列をなぞってコピー

1 **Webサイト表示中にスライドスポットから画面中央へ向かって指をスライドさせて、スライドインランチャーので指を離す**

2 **文字列を指でなぞる**

- 以降の操作は「なぞってコピー」をご覧ください。
→P63

◆ Webページを印刷

Wi-Fi対応プリンタを利用して表示しているWebページを印刷できます。あらかじめプリンタとの接続を設定しておきます。→P168

1 **Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→⋮→[共有...]→[Chrome 印刷]**

- 以降の操作は「印刷」をご覧ください。→P169

◆ Chrome の設定

検索エンジンやプライバシーなどの設定ができます。

1 **Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→⋮→[設定]**

2 **各項目を設定**

Chrome にログイン：Google アカウントで Chrome にログインします。
同期と Google サービス：端末間の同期と Google サービスを設定します。
検索エンジン：Webページを検索するときに使用する検索エンジンを設定します。
パスワード：Webページに入力したパスワードを保存するかを設定します。
お支払い方法：お支払い方法について設定します。
住所やその他の情報：住所や電話番号などの情報を設定します。
通知：新着通知の通知方法について設定します。
ホームページ：ホームページを設定します。
テーマ：テーマを設定します。
プライバシー：安全性や利便性についての設定をします。
ユーザー補助機能：文字のサイズやズームなどの画面表示について設定します。
サイトの設定：CookieやJavascriptなどサイトに関する設定をします。
言語：表示する言語を設定します。表示可能な場合、設定した言語で表示できます。
ライトモード：データの使用量を抑えるようにするかを設定します。
ダウンロード：ダウンロード時の保存場所などを設定します。
Chrome について：アプリのバージョンなど、Chrome に関する情報を確認できます。

カメラ

カメラ

◆ 撮影時の注意事項

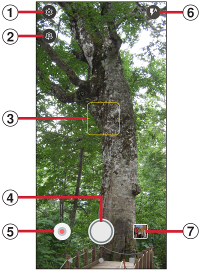
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見えたり暗く見えたりする点や線が存在する場合があります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、白い線やランダムな色の点などのノイズが発生しやすくなりますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- カメラを起動したとき、画面に縞模様が現れることがありますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- 本端末の温度が高い状態が続くと、カメラを利用できなくなる場合があります。本端末の温度が下がってからカメラをご利用ください。
- 本端末の電池残量が少ないと、カメラを利用できなくなる場合があります。十分に充電してからカメラをご利用ください。
- 撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 太陽やランプなどの強い光源が含まれる撮影環境で被写体を撮影しようとすると、画質が暗くなったり画像が乱れたりする場合があります。
- レンズに指紋や油脂などが付くと、きれいに撮影できません。撮影前に柔らかい布で拭いてください。
- カメラ利用時は電池の消費が早くなりますのでご注意ください。
- 本端末の電池残量が少なくなると、フラッシュの光量が制限される場合があります。
- 待機中に約2分間操作をしないとカメラは終了し、ステータスバーにが表示されます。
- 被写体との距離を約10cm以上にすると、オートフォーカスでシーン別の撮影モードにより自動的にピントを合わせます。

著作権・肖像権について

本端末を利用して撮影または録音したものを著作権者に無断で複製、改変、編集などすることは、個人で楽しむなどの目的を除き、著作権法上禁止されていますのでお控えください。また、他人の肖像を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。
なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影または録音が禁止されている場合がありますのでご注意ください。
カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。
お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

◆ 撮影画面の見かた

静止画・動画撮影画面でタップするシャッターボタン／録画開始ボタンにより、静止画の撮影／動画の録画が行えます。



静止画·動画撮影画面

① 設定メニュー表示

② カメラ切替

アウトカメラ／インカメラを切り替えます。

③ フォーカス枠

- 顔が検出された場合は、顔に自動的にフォーカスを合わせて顔検出枠を表示します。顔が検出されない場合は、画面の中央に自動的にフォーカスを合わせるか、または被写体をタップしてフォーカス枠を表示します。

④ シャッターボタン

- 静止画撮影のシャッターです。

⑤ 録画開始ボタン

- 動画撮影（録画）の開始ボタンです。

⑥ フラッシュ

- アイコンをタップして、静止画撮影ではフラッシュの切り替え、動画撮影画面では撮影ライトの点灯／消灯を切り替えます。

⑦ 直前に撮影した静止画／動画

- タップして撮影した静止画や動画を確認できます。カメラ再起動後は枠のみの表示となりますが、タップして撮影した静止画や動画を表示できます。表示したデータの操作は「フォト」（→P106）をご覧ください。

✔お知らせ

- カメラの起動時に保存先を切り替える確認画面が表示された場合は、［いいえ］／［切り替え］をタップします。
- 空き容量が少なくなると、静止画の残り枚数、動画の残り録画時間が撮影画面に表示されます。
- 静止画・動画の撮影画面で⚙をタップして、［位置情報］［露出／WB調整］など対応した機能をONに設定すると、撮影画面にそれぞれのアイコンを表示できます。アイコンによってはタップして各機能の設定値を変更・調整できます。

◆ 静止画撮影

1 ホーム画面で［カメラ］

静止画・動画撮影画面が表示されます。

2 撮影画面に被写体を表示→◯

シャッター音が鳴り、静止画が撮影されます。

- 音量キーの下を押しても、静止画を撮影できます。

■ 静止画撮影画面での主な操作

ズーム：画面をピンチアウト／ピンチイン

- ピンチアウト／ピンチインするとスライドバーと倍率のスケールが表示され、スライドバーを使用してズームすることもできます。なお、インカメラでのズーム機能は利用できません。

インカメラ／アウトカメラの切り替え：撮影画面で

フラッシュの切り替え：撮影画面で

- 静止画撮影時はフラッシュを（オート）／（点灯）／（常に点灯）／（点灯しない）に切り替え、動画撮影時は撮影ライトを（点灯）／（消灯）に切り替えます。

 ※インカメラの場合は、静止画撮影時は（点灯）／（点灯しない）のみ切り替えます。動画撮影時は切り替えできません。

◆ ポートレート撮影

撮影画面でをタップして、撮影モードを［ポートレート］に切り替えます。カメラが人の顔を捉えると、人物の背景にぼかしを付けて撮影できます。

1 ホーム画面で［カメラ］

2 →［ポートレート］

ポートレート撮影画面が表示されます。

3 撮影画面に人の顔を表示→背景ぼかしレベルのスライドバーでぼかしを調整→◯

- 撮影画面で人の顔を認識するとフォーカス枠が表示され、背景にぼかしが入ります。背景ぼかしレベルのスライドバーを左右にスライドすると、ぼかしの度合いを調整できます。
- 人物が被写体となるように被写体との距離に注意し、離れすぎないようにして撮影してください。
- 音量キーの下を押しても撮影できます。

✔お知らせ

- 撮影画面で／をタップして、背景ぼかしレベルのスライドバーの表示／非表示を切り替えられます。ぼかしの度合いを決めてからスライドバーを非表示にしても、ポートレート撮影ができます。

◆ 動画撮影

1 ホーム画面で[カメラ]

2 撮影画面に被写体を表示→◉(開始)

撮影開始音が鳴り、撮影が始まります。

- 撮影が開始されると、撮影画面に録画経過時間が表示されます。
- 録画中に⏸をタップして一時停止できます。⏸をタップして録画を再開します。

3 ◉(停止)

撮影停止音が鳴り、撮影が停止します。

- 保存先の空き容量が足りなくなった場合、または録画データが最大ファイルサイズ（約4GB）になった場合には録画が停止します。また録画中に電話の着信があった場合、録画は停止してカメラが終了します。

■ 動画撮影画面の主な操作

録画中の静止画撮影：録画中に表示される◯

- 録画中の静止画撮影では、シャッター音は鳴りません。

ズーム：画面をピンチアウト／ピンチイン

- ピンチアウト／ピンチインするとスライドバーが表示され、スライドバーを使用してズームすることもできます。なお、インカメラでのズーム機能は利用できません。
- 録画中もズーム機能を利用できます。

インカメラ／アウトカメラの切り替え：撮影画面で◉

◆ Live Auto Zoom撮影

撮影画面で狙った被写体をタップするかまたは丸で囲むと、自動で被写体をズームして画面中央に配置した追従状態の動画が撮影できます。

- Live Auto Zoomでの撮影サイズは、「Full HD」（1920×1080）となり変更できません。
- 被写体と同系色の背景上で撮影している場合、背景の一部が選択された状態となったり、追従が外れてしまうことがあります。
- 同様の形状の被写体と重なった場合、追従が外れてしまうことがあります。
- 背景の一部が選択されたり、追従が外れたりした場合、撮影画面で被写体をタップするか、または丸で囲み、再選択してください。

1 ホーム画面で[カメラ]

2 ⚙→[Live Auto Zoom]

3 ズームする被写体をタップ(または丸で囲む)

被写体に丸い白色のフォーカス枠が表示され、被写体をズームします。

- 白色のフォーカス枠内をタップすると、フォーカス枠がグレーに変わりズームを一時的に解除します。もう一度タップするとズームします。フォーカス枠外の別の被写体をタップする（または丸で囲む）と、フォーカスの対象が変わります。
- 撮影画面をダブルタップすると、フォーカスを解除します。
- 被写体選択後は、画面をピンチアウト／ピンチインして拡大／縮小ができます。

4 (開始)

撮影開始音が鳴り、撮影が始まります。

- 被写体が撮影画面の中央から多少ずれた場合、白いフォーカス枠がズームした状態で被写体を撮影画面の中央にとらえ直します。
- ズームしている被写体が撮影画面から外れた場合、フォーカス枠が赤色に変わりズームは解除されます。再び被写体を撮影画面にとらえると、被写体を追尾します。
- 音量キーの下を押しても、撮影を開始できます。

5 (停止)

撮影停止音が鳴り、撮影が停止して保存されます。

- 音量キーの下を押しても、撮影を停止できます。

◆ カメラの撮影設定

撮影画面でをタップするとカメラの設定画面が表示され、撮影モードの切り替えや静止画・動画の各種撮影設定を変更できます。

❖撮影モードの切り替え

カメラを起動すると、静止画・動画撮影画面が表示されます。をタップして静止画・動画以外の撮影モードに切り替えることができます。

■ 静止画・動画

タップするシャッターアイコンにより、静止画と動画が同じ画面から撮影できます。
他の撮影モード画面から戻るときに設定画面で選択します。

■ ポートレート

人の顔の背景にぼかしを付けて撮影します。ぼかしの度合いは調整できます。→P102

■ Live Auto Zoom

狙った被写体をズームして画面中央に配置して撮影します。動きに合わせてカメラを動かすと追従状態の動画を撮影できます。→P103

❖共通設定

■ 保存先

microSDカードを装着している場合に、タップしてON（）にすると、撮影したデータの保存先をmicroSDカードに設定できます。

■ 位置情報

撮影した画像に位置情報を付加するように設定します。タップしてON（）にすると、位置情報を取得中（未取得）は、取得するとのアイコンが撮影画面に表示されます。

■ 露出／WB調整

タップしてON（）にすると、撮影画面に露出補正（）とホワイトバランス調整（）のアイコンが表示されます。タップしてそれぞれの設定値を変更できます。

■ グリッド表示

撮影画面で構図を決める補助線（グリッド）を表示します。

■ QRコード読み取り

撮影画面にQRコードを表示させると、自動的にQRコードを読み取るように設定します。

- お買い上げ時は、ON（）に設定されています。

❖静止画設定

■ 撮影サイズ

撮影サイズを選択します。

- アウトカメラとインカメラでは撮影サイズは異なります。

■ セルフタイマー

設定をON（）にすると、撮影画面にが表示されます。タップして、2秒後／3秒後／5秒後に撮影されるように設定できます。アウトカメラ／インカメラそれぞれ個別にセルフタイマーを設定できます。

- インカメラではあらかじめON（）に設定されています。

■ HDR撮影

露光時間の違う2枚の画像を連写・合成して、白飛びや黒つぶれを補正した静止画を撮れるように設定します。

- HDR撮影をONに設定すると、フラッシュ、露出／WB調整、美肌補正、連写、手ぶれ補正は使用できません。

■ 手ぶれ補正

静止画撮影時の手ぶれを軽減します。

- 手ぶれ補正をONに設定すると、長押し連写は使用できません。

■ 長押し連写

シャッターボタンをロングタッチ（長押し）して連写撮影ができます。

- 最大100枚までの連写撮影ができます。
- 長押し連写をONに設定すると、手ぶれ補正、美肌補正は使用できません。
- 長押し連写は、インカメラでの撮影やHDR撮影、フラッシュやセルフタイマーの設定には対応していません。

■ 美肌補正

人物の肌の色を調整して撮影します。

- 美肌補正をONに設定すると、長押し連写は使用できません。

❖動画設定

■ 撮影サイズ

撮影サイズを選択します。

■ 手ぶれ補正

動画撮影時の手ぶれを軽減します。

◆ QRコード読み取り

カメラの撮影画面でQRコードのデータを読み取ります。お買い上げ時はカメラの「QRコード読み取り」機能がONに設定されています。撮影画面にQRコードを表示させるだけで、そのまま読み取って結果が表示されます。

- 被写体（QRコード）からカメラを約10cm以上離して読み取ってください。
- QRコードのバージョン（種類やサイズ）によっては読み取れない場合があります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射などにより読み取れない場合があります。
- QRコードが読み取りにくい場合は、QRコードとカメラの距離、角度、方向などの調節により、読み取れることがあります。

1 ホーム画面で[カメラ]

2 撮影画面にQRコードを表示→スキャン

読み取りが完了すると、読み取り結果が表示されます。表示された情報をタップして、Webページを表示したりメールを送信したりすることができます。

- ［コピー］をタップして表示されたURLなどのテキストをコピーできます。
- 読み取り結果が電話帳の場合は、［電話帳に登録］をタップして登録できます。
- 読み取り結果がWi-Fiのアクセス情報の場合は、［Wi-Fiに接続］をタップして接続操作ができます。

フォト

カメラで撮影した静止画や動画、本端末にダウンロードした静止画や動画を表示／再生します。

- 本端末で再生可能な動画のファイル形式については、「主な仕様」をご覧ください。→P190

◆ 静止画表示／動画再生

1 ホーム画面で[フォト]

画像一覧画面が表示されます。

2 画像を選択

- 前後の画像に切り替えるには、画面を左右にフリックします。
- ピンチアウト／ピンチインで拡大／縮小します。
- 動画はタップして再生します。音量キーを押して音量を調節したり、表示されるアイコンやスライダーで再生、一時停止、早戻し、早送りなどの操作をします。

アプリ

dメニュー

dメニューでは、ドコモのおすすめするサイトや便利なアプリに簡単にアクセスすることができます。

1 ホーム画面で[dメニュー]

「Chrome」アプリが起動し、「dメニュー」が表示されます。

✔お知らせ

- dメニューをご利用になる場合は、ネットワークに接続されていることをご確認ください。→P58
- dメニューへの接続およびdメニューで紹介しているアプリのダウンロードには、別途パケット通信料がかかります。なお、ダウンロードしたアプリによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。
- dメニューで紹介しているアプリには、一部有料のアプリが含まれます。

dマーケット

音楽、動画、書籍などのデジタルコンテンツの販売や、ショッピングサイトや旅行予約サイトなどさまざまなサービスを提供しています。

1 ホーム画面で[dマーケット]

dマーケットのトップ画面が表示されます。

- dマーケットの詳細については、以下のホームページをご覧ください。
  https://d.dmkt-sp.jp/common/about/index.html

Play ストア

Play ストアを利用して Google Play のサイトへ接続すると、便利なアプリや楽しいゲームを検索して、本端末にダウンロード、インストールできます。また、映画コンテンツをレンタル視聴することができます。

- Google Play を利用するには、本端末に Google アカウントを設定する必要があります。Google アカウントが未設定の場合は、Play ストアの初回起動時に画面の指示に従って設定してください。
- Google Play の詳細については、Google Play 画面で画面の左端を右にフリック→［ヘルプとフィードバック］をタップしてヘルプをご覧ください。
- アプリのバージョンによって項目や表示が異なる場合があります。

◆ アプリのインストール

1 **ホーム画面で［Play ストア］**

Google Play 画面が表示されます。

2 **アプリを検索→アプリを選択**

3 **［インストール］（無料アプリの場合）／［金額］（有料アプリの場合）**

- アプリによって表示される内容は異なります。
- アプリが本端末のデータや機能にアクセスする必要がある場合、そのアプリがどの機能を利用するかを示す画面が表示されます。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリにはご注意ください。この画面で［同意する］をタップすると、本端末でのこのアプリの使用に関する責任を負うことになります。
- 有料アプリの購入、返品、払い戻し請求などについて詳しくは、Google Play 画面で画面の左端を右にフリック→［ヘルプとフィードバック］をタップしてヘルプをご覧ください。
- 有料アプリをアンインストールする場合は、払い戻し画面が表示されることがあります。詳しくは、Google Play 画面で画面の左端を右にフリック→［ヘルプとフィードバック］をタップしてヘルプをご覧ください。

4 **ダウンロードの進捗状況を確認**

ホーム画面またはアプリ一覧画面にインストールしたアプリのアイコンが表示されます。

✔お知らせ

- アプリのインストールに同意すると、アプリの使用に関する責任を負うことになります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリには特にご注意ください。
- アプリのインストールは、安全であることをご確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する可能性があります。
- お客様がインストールした Google LLC が提供するアプリを含む第三者提供アプリなどにより、各種動作不良や自己または第三者などへ不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- お客様が Play ストアからインストールした Google LLC が提供するアプリを含む第三者提供アプリにつきましては、各提供元にお問い合わせください。
- アプリによってはインターネットに接続し、自動で通信を行うものがあります。パケット通信料が高額になる場合がありますのでご注意ください。
- インストールしたユーザー補助アプリは、［ユーザー補助］から有効にすることができます。→P149

◆ Google Play のアプリの削除

1 Google Play 画面で画面の左端を右にフリック→[マイアプリ＆ゲーム]→[インストール済み]

2 アプリを選択

3 [アンインストール]→[OK]

- 有料アプリで［払い戻し］が表示されない場合、試用期間が終了しています。

おサイフケータイ

お店などの読み取り機に本端末をかざすだけで、お支払いやポイントカードなどとして使える「おサイフケータイ対応サービス」がご利用いただける機能です。
電子マネーやポイントなどを本端末のICカード内、ドコモnanoUIMカード内に保存し、画面上で残高やポイントの確認などができます。また、おサイフケータイの機能をロックすることにより、盗難、紛失時に無断で使用されることを防ぐこともできます。
おサイフケータイの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

- おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、サイトまたはアプリでの設定が必要です。

◆ おサイフケータイ対応端末のご利用にあたって

- 本端末の故障により、ICカード内データ※1およびドコモnanoUIMカード内データ※2が消失・変化してしまう場合があります（修理時など、本端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては必ずバックアップサービスのあるおサイフケータイ対応サービスをご利用ください。
  ※1 おサイフケータイ対応端末に搭載されたICカードに保存されたデータ
  ※2 ドコモnanoUIMカードに保存されたデータ
- 機種変更前のドコモnanoUIMカードを引き続き使う場合でも、ドコモnanoUIMカード内データを利用するおサイフケータイ対応サービスの利用には、おサイフケータイ対応サービス提供者のアプリのインストールおよび設定が必要です。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データおよびドコモnanoUIMカード内データが消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- 本端末の盗難、紛失時は利用停止などの対応方法について、速やかに当社およびご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者へお問い合わせください。

◆「おサイフケータイ対応サービス」の利用

おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、「おサイフケータイ」アプリよりサービスを設定してください。

1 **ホーム画面で⊞→［おサイフケータイ］**
- 初期設定が完了していない場合は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って設定を行ってください。

2 **サービスを選択**

3 **サービスに関する設定を行う**
- サービスのアプリまたはサイトから必要な設定を行います。

4 **マークを読み取り機にかざす**

✔お知らせ

- おサイフケータイ対応のアプリを起動せずに、読み取り機にかざして利用することができます。
- 本端末の電源を切っていても利用できますが、電源を長時間入れなかったり、電池残量が少ない場合や電源を入れてから一定時間は、利用できなくなることがあります。
- 本端末のバッテリーセーバーやデータセーバーの設定にかかわらず、おサイフケータイ対応のアプリはおサイフケータイ対応サービスの提供に必要な通信をバックグラウンドで行うため、パケット通信料がかかる場合があります。→P136
- 本端末の電源を入れた後、再起動後およびソフトウェアアップデート後は、画面ロックを解除してから読み取り機にかざしておサイフケータイ対応サービスをご利用ください。
- spモードをご契約されていない場合は、おサイフケータイ対応サービスの一部機能がご利用できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

◆ タップ&ペイ

おサイフケータイ対応サービスなど、読み取り機にかざして利用できるサービスの有効・無効の設定ができます。

1 **ホーム画面で→[設定]→[接続済みのデバイス]→[接続の設定]**

2 **[NFC／おサイフケータイ 設定]→[タップ&ペイ]**

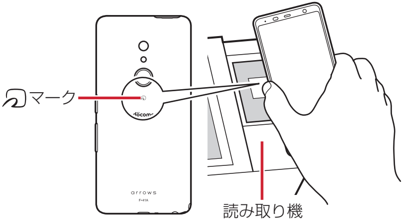
タップ&ペイで使用するアプリ画面が表示されます。

✔お知らせ

- 非常用節電モード（→P50）の設定／解除を行うと、おサイフケータイ対応サービスの有効・無効設定が変更される場合があります。
  非常用節電モードの設定／解除後に、おサイフケータイ対応サービスを利用される場合はタップ&ペイでの設定を確認の上、読み取り機にかざしてください。

◆ 対向機にかざす際の注意事項

読み取り機やNFCモジュールが内蔵された機器など、対向機にかざすときは、次のことにご注意ください。



- マークを対向機にかざす際には、強くぶつけたりせず、ゆっくりと近づけてください。
- マークを対向機の中心へ平行になるようにかざしてください。中心にかざしても読み取れない場合は、本端末を少し浮かしたり、前後左右にずらしたりしてかざしてください。
- マークと対向機の間に金属物があると読み取れないことがあります。また、ケースやカバーに入れたことにより、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますので読み取れない場合はケースやカバーから取り外してください。

◆ おサイフケータイの機能をロック

ロックして、おサイフケータイのサービスや読み取り機からのデータの取得を利用できないようにします。

- おサイフケータイのロックは、本端末の画面ロック、SIMカードロックとは異なります。

1 ホーム画面で→[おサイフケータイ]

2

- NFC／おサイフケータイ ロック設定のパスワード設定画面が表示された場合は、画面の指示に従ってパスワードを設定してください。

3 [NFC／おサイフケータイ ロック]→認証操作

指紋認証の利用：[指紋認証を利用する]→認証操作

- 指紋認証を利用するには、あらかじめ指紋を登録してセキュリティ解除方法を[指紋認証]に設定する必要があります。→P144

✔お知らせ

- NFC／おサイフケータイ ロック設定中は、ステータスバーにまたはが表示されます。
- NFC／おサイフケータイ ロック設定中に電池が切れると、NFC／おサイフケータイ ロックが解除できなくなりますので、電池残量にご注意ください。電源が切れた場合は、充電後にNFC／おサイフケータイ ロックを解除してください。
- NFC／おサイフケータイ ロック設定中におサイフケータイのメニューをご利用になるには、NFC／おサイフケータイ ロックを解除してください。
- NFC／おサイフケータイのロックパスワードは、本端末を初期化しても削除されません。
- NFC／おサイフケータイ ロックの解除は、NFC／おサイフケータイ ロックの設定を行った際に取り付けていたドコモnanoUIMカードを本端末に取り付けた状態で行ってください。

❖ロックの解除

1 ホーム画面で→[おサイフケータイ]

2

3 [NFC／おサイフケータイ ロック]→認証操作

◆ iDアプリ

「iD」とは、ドコモが提供する電子マネーです。「iD」を設定したおサイフケータイをお店の読み取り機にかざして簡単・便利にショッピングができます。カード情報は複数枚を登録できるので、特典などに応じて使い分けることもできます。

- おサイフケータイでiDをご利用の場合、iDアプリで設定を行う必要があります。
- iDサービスのご利用にかかる費用（年会費など）は、カード発行会社により異なります。
- 海外でiDアプリの設定・確認を行う場合は国内でのパケット通信料と異なります。
- iDに関する情報については、iDのホームページ（https://id-credit.com/）をご覧ください。

radiko+FM

FM放送で聴く場合は、アンテナとしてイヤホンケーブル（別売）を本端末に接続しておく必要があります。

1 ホーム画面で田→[radiko+FM]

- radiko+FMの使いかたなどについて詳しくは、メニューから「ラジコの楽しみ方」やヘルプなどをご覧ください。

ララしあコネクト

歩数・歩速、心拍数、睡眠時間、血圧（ユーザーが入力）などのデータを元に、健康管理をサポートします。

1 ホーム画面で田→[ララしあコネクト]

初期設定画面（生年月日、身長、体重などの入力画面）が表示されます。

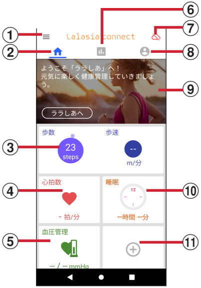
2 各データを入力→[始める]

ララしあコネクトのメイン画面が表示されます。

- 年齢・性別・身長・体重などのデータは正確な数値を入力してください。入力したデータを元にした測定が行われます。

◆ ララしあコネクトでの測定

ララしあコネクトのメイン画面では、本端末を使用して各種測定やデータ入力が行えます。



メイン画面

① **メニュー**
- 各種設定やヘルプなどの情報を表示します。

② **測定メニュー**
- メイン画面の測定／入力メニューを表示します。

③ **歩数・歩速の測定**
- 歩数、歩速、消費カロリー、脂肪燃焼量、活動量などを測定・表示します。

④ **心拍数の測定**
- インカメラを利用して顔を認識し、心拍数を測定・表示します。

⑤ **血圧の記録**
- ご利用されている血圧計で測定した最高／最低血圧と脈拍数を入力し記録します。
- ご利用の血圧計の測定結果をカメラで撮影することで、値を自動的に入力することもできます。

⑥ **ランキング**
- 測定／入力値を元に、同年代の利用者内でのランキングを表示します。

⑦ **データ引き継ぎ**
- ララしあコネクトのデータをクラウドに同期します。

⑧ **プロフィール**
- 生年月日や身長、体重など基礎データを編集・表示します。

⑨ **メッセージ**
- 本端末で測定／入力されたバイタル情報を元に、簡易なメッセージや健康管理のヒントを表示します。

⑩ **睡眠の測定**
- 睡眠時、端末を枕元に置いて睡眠時間や眠りの深さを測定・表示します。

⑪ **連携項目**※
- Google Fit™ と連携して栄養情報、身長、体重の情報を取得します。

※ 連携項目ご使用の際はララしあコネクトにログインする必要があります。

✔お知らせ

- 心拍数の測定にあたっては、なるべく明るい室内で測定するなどの測定環境や、前髪がかからないようにするなどの開始前の注意事項をご確認ください。
  - 周囲の環境や測定状態によっては測定できない場合があります。
  - 医療行為には使用できません。
- その他の機能や操作などについては、☰をタップして［ヘルプ・よくあるお問い合わせ］などをご覧ください。

位置情報・GPS

本端末のGPS機能と対応するアプリを使用して、現在地の確認や目的地までの経路検索などを行うことができます。

- 本端末には、衛星信号を使用して現在地を算出するGPS受信機が搭載されています。GPS機能を利用する際にパケット通信料が発生する場合があります。

◆ GPSのご利用にあたって

- GPSシステムの不具合などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末の故障、誤動作、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されておりますので、米国の国防上の都合により、GPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化、電波の停止など）されることがあります。
- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害するおそれがあり、信号受信が不安定になることがあります。
- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。

■ 受信しにくい場所

GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。また、GPSアンテナ（→P33）の付近を手で覆わないようにしてお使いください。

- 建物の中や直下
- 地下やトンネル、地中、水中
- かばんや箱の中
- ビル街や住宅密集地
- 密集した樹木の中や下
- 高圧線の近く
- 自動車、電車などの室内
- 大雨、雪などの悪天候
- 本端末の周囲に障害物（人や物）がある場合

◆ 電子コンパス利用時の留意事項

本端末は、電子コンパスを内蔵しており、地球の微弱な磁場を感知して方位を算出することができます。

- 電子コンパスは地球の微弱な磁場を感知して方位を算出しています。そのため、建物（地下街を含む）や乗り物、金属製の施設（エレベータなど）、金属製の設備（ガードレール、歩道橋など）、高圧線、架線、磁気を含む岩盤、金属（鉄製の机、ロッカーなど）、永久磁石（磁気ネックレス、バッグの留め金など）、家庭電化製品（テレビ、パソコン、スピーカーなど）の中または近くでは磁場を感知できなかったり、正確に方位を表示できなかったりする場合があります。
- 「マップ」アプリなどで、正しく方位を測定できない場合は、電子コンパスを調整してください。

◆ 電子コンパスを調整する

■ 操作方法

「マップ」アプリなど電子コンパスを利用するアプリを使用中に、本端末を大きく「8」の字を描くように手首を返しながら約10秒動かします。

◆ 位置情報の設定

位置情報の使用をアプリに許可します。

- アプリのバージョンによって項目や表示が異なる場合があります。

1 ホーム画面で→[設定]→[位置情報]

2 画面右上のボタンをタップして[位置情報の使用]をONにする

ユーザーの同意画面が表示されます。

3 [同意する]

4 [詳細設定]→[Google 位置情報の精度]

5 画面右上のボタンをタップして[位置情報の精度を改善]をONにする

✔お知らせ

- 精度の高い位置情報を測位するには、天空が見える場所で使用してください。
- 本機能を使用すると電池の消費が多くなりますのでご注意ください。

◆ Google マップ

Google マップで現在地の測位や場所の検索、経路の検索などを行います。

- Google マップを利用するには、LTE／3G／GPRSネットワークでの接続またはWi-Fi接続が必要です。
- 現在地を測位するには、あらかじめ［位置情報の使用］をONにしてください。→P116
- Google マップは、すべての国や都市を対象としているわけではありません。

1 ホーム画面で［Google］→［マップ］

- Google マップの操作については、画面の左端を右にフリックして、ヘルプや便利な使い方などをご覧ください。
- 現在地の測位で位置情報の設定や精度の設定を変更する旨の確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

スケジュール

スケジュールを管理できます。

1 ホーム画面で田→［スケジュール］

カレンダー画面が表示されます。

- クラウドサービスの利用画面が表示された場合は、［クラウドサービスを設定する］または［後で設定する］をタップします。

◆ スケジュールの登録

1 カレンダー画面で⊕

- ［⊞入力オプションを表示］をタップすると、アラームなどを設定できます。

2 各項目を設定→［保存］

スケジュールが登録されます。

❖ 通知の日時になると

スケジュールの登録時にアラームの設定をすると、設定した日時にステータスバーに🔔が表示されてお知らせします。

1 通知パネルを開く→通知をタップ

詳細画面が表示されます。

◆ スケジュールの表示

登録したスケジュールの詳細を表示します。

1 **カレンダー画面で日付をタップ→ご自身で登録したスケジュールをタップ**

2 **スケジュールを確認**

スケジュールの編集：［編集］→スケジュールを編集→［保存］

スケジュールの削除：⋮→［1件削除］→［削除する］

✔お知らせ

- カレンダー画面で☰をタップすると、設定などのさまざまな操作ができます。
- カレンダー画面で⋮をタップすると、日付移動などのさまざまな操作ができます。

時計

アラーム、時計（世界時計）、タイマー、ストップウォッチが利用できます。

- アラーム画面／時計（世界時計）画面／タイマー画面／ストップウォッチ画面で⋮→［設定］をタップすると、時計の設定ができます。

◆ 時計（世界時計）を表示

1 **ホーム画面で⊞→［時計］**

時計画面が表示されます。

- 時計（世界時計）が表示されなかった場合は、時計画面で［時計］をタップします。

✔お知らせ

- 時計（世界時計）画面に世界各地の時刻を表示する場合は、🌐→都市名を入力→都市を選択します。

◆ アラームの利用

1 **ホーム画面で⊞→［時計］**

2 **［アラーム］**

アラーム画面が表示されます。

3 **⊕→時刻を設定→［OK］**

4 **各項目を設定**

◉／◯：作成した時刻のアラームのON／OFFを設定します。

繰り返し：繰り返しを設定します。

: アラーム音を設定します。
バイブレーション：バイブレーションのON／OFFを設定します。
ラベル：ラベルを入力します。
: アラームが鳴動するまでの時間が2時間以内の場合に表示され、アラームを解除します。
: 作成中のアラームを削除します。

✔**お知らせ**

- アラームの一覧でアラームを削除する場合は、削除するアラームの→をタップします。
- アラームを削除した直後に画面右下に表示される［元に戻す］をタップすると、元に戻すことができます。

◆ タイマーの利用

1 **ホーム画面で→［時計］**

2 **［タイマー］**

タイマー画面が表示されます。

3 **時間を入力→**

カウントダウンが開始されます。

4 **カウントダウンが終了したら／**

カウントダウンを一時停止：カウントダウン中に

- カウントダウンを再開する場合はをタップします。

カウントダウンをリセット：カウントダウン一時停止中に［リセット］
タイマーを削除：［削除］
タイマーを追加：［タイマーを追加］→時間を入力→

- タイマー画面を上下にスライドすると他のタイマーを表示できます。

時間を1分追加：カウントダウン中に［＋1:00］

- タップするたびにカウントダウンの時間が1分追加されます。

◆ ストップウォッチの利用

1 **ホーム画面で→［時計］**

2 **［ストップウォッチ］**

ストップウォッチ画面が表示されます。

3

計測が開始されます。
ラップを追加：計測中に［ラップ］
計測を一時停止：計測中に

- 計測を再開する場合はをタップします。

計測をリセット：計測中または停止中に［リセット］
計測結果を共有：計測停止中に［共有］

電卓

1 ホーム画面で[アプリ一覧アイコン]→[電卓]

2 計算する

入力した数字や記号の消去：[消去アイコン]
数式や計算結果をすべて消去：[消去アイコン](ロングタッチ)
関数パッドを表示：パッドの右端を左にスライド

- 本端末を横向きにしても関数パッドを表示できます。

✔お知らせ

- 計算結果が表示されている場合は、結果を使って続けて数式を入力できます。

検索

「Google」アプリを利用して検索します。

- アプリのバージョンによって項目や表示が異なる場合があります。

◆ Google 検索

キーワードを入力してWebサイトを検索します。また、Google アカウントでログインすると、検索の履歴や関心のあるトピックに関する最新情報などが利用できます。

1 ホーム画面で[Google]→[Google]

2 キーワードを入力

文字の入力に従って検索候補が表示されます。

- 文字を入力して[検索アイコン]をタップすると、Webサイトの検索候補が表示されます。

3 検索候補から選択

◆ 音声検索

音声でキーワードを入力してWebサイトを検索できます。

1 ホーム画面で[Google]→[Google]→[マイクアイコン]→送話口／マイクに向かってキーワードを発声

2 Webサイトの検索候補から選択

✔お知らせ

- Google 検索の詳細については、Google 検索画面で［その他］→［ヘルプ］をタップしてヘルプをご覧ください。

ドコモデータコピー

「ドコモデータコピー」は、本端末に保存されているデータを他の端末へコピーしたり、バックアップ／復元をしたりするためのアプリです。
機種変更時のデータ移行や、大切なデータの定期的なバックアップにご利用ください。

- OSやファイルの種類によっては、正しくコピー、バックアップ、復元できない場合があります。

◆ データ移行

インターネットを使用しない1対1のダイレクト通信を利用して、電話帳、画像などのデータを移行先の端末へ直接コピーすることができます。
コピー元端末とコピー先端末の両方で「データコピー」を起動し、2台並べた状態で利用してください。

1 ホーム画面で→[データコピー]→[データ移行]

- 画面の指示に従って操作してください。
- コピー元端末とコピー先端末の両方に本アプリが必要です。インストールされていない場合、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
- 対応機種や詳しい使い方は、ドコモのホームページをご覧ください。

◆ バックアップ・復元

microSDカードを利用して、電話帳や画像などのデータの移行やバックアップ・復元ができます。

- バックアップまたは復元中にmicroSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。データが破損する場合があります。
- 他の端末の電話帳項目名（電話番号など）が本端末と異なる場合、項目名が変更されたり削除されたりすることがあります。また、電話帳に登録可能な文字は端末ごとに異なるため、復元先で削除されることがあります。
- バックアップ対象の電話帳は、docomoのアカウントとして登録されている電話帳です。
- 名前が登録されていない電話帳はバックアップできません。
- 本端末やmicroSDカードの空き容量が不足しているとバックアップまたは復元が実行できない場合があります。その場合は、本端末やmicroSDカードから不要なファイルを削除して容量を確保してください。
- 電池残量が不足しているとバックアップまたは復元が実行できない場合があります。その場合は、本端末を充電後に再度バックアップまたは復元を行ってください。
- 本アプリでは静止画・動画などのデータのうち本端末に保存されているもののみバックアップされます。microSDカードに保存されているデータはバックアップされません。
- 画面ロック中や非常用節電モードの作動中などは、設定した時刻どおりには定期バックアップが実行されず、次回起動可能となったときに実行されます。

❖バックアップ

電話帳、メディアファイルなどのデータのバックアップを行います。

1 ホーム画面で田→[データコピー]→[バックアップ&復元]

2 [バックアップ]→バックアップするデータにチェックを付ける→[バックアップ開始]→[開始する]

- 選択したデータがmicroSDカードに保存されます。

3 [トップに戻る]

❖復元

microSDカードにバックアップした電話帳、メディアファイルなどのデータを本端末に復元します。

1 ホーム画面で田→[データコピー]→[バックアップ&復元]

2 [復元]→復元するデータ種別を[選択]→復元するデータにチェックを付ける→[選択]

3 復元方法を選択→[復元開始]→[開始する]

- データ種別によっては、復元方法の選択は不要です。
- 選択したデータが本端末に復元されます。

4 [トップに戻る]

- バックアップスケジュールが未設定の場合は、「定期バックアップをONにする」と表示されますので、画面の指示に従って操作してください。

❖電話帳をdocomoのアカウントにコピー

Google アカウントの連絡先をdocomoのアカウントにコピーします。

1 ホーム画面で田→[データコピー]→[バックアップ&復元]

2 [電話帳アカウントコピー]→コピーする電話帳の[選択]→[上書き]/[追加]

- コピーした連絡先がdocomoのアカウントに保存されます。

3 [OK]

かんたんお引越し

携帯電話の電話帳やスケジュール、写真や動画などのデータを、microSDカードを利用して本端末に移行できます。

- あらかじめ、携帯電話で移行したいデータをmicroSDカードにバックアップしておいてください。
  バックアップの方法については、携帯電話の取扱説明書等をご覧ください。

◆ 復元

1 ホーム画面で→[かんたんお引越し]

2 復元するデータにチェックを付ける→[復元開始]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

✔**お知らせ**

- お使いの携帯電話の機種やデータの種類によっては、データを移行できない場合があります。

本体設定

設定メニュー

設定メニューから各種設定を行います。

1 ホーム画面で→［設定］

設定メニューが一覧で表示されます。

- ［設定を検索］をタップすると、設定メニューの項目を検索することができます。

カテゴリ		参照
ネットワークとインターネット	Wi-Fi	P125
	モバイル ネットワーク	P128
	データセーバー	P130
	アクセス ポイントとテザリング	P130
	機内モード	P132
	VPN※	P132
	プライベートDNS※	P133
接続済みのデバイス	新しいデバイスとペア設定する	P165
	以前接続されていたデバイス	P166
	接続の設定	P133
アプリと通知		P134
電池		P136
表示の設定		P137
音		P139
通話設定		P82
ストレージ		P141
プライバシー		P141
位置情報		P116
セキュリティ		P142
ドコモのサービス／クラウド		P147
アカウント		P148
ユーザー補助		P149
arrowsオススメ機能		P150
Digital Wellbeing と保護者による使用制限		P156
Google		P156
システム	言語と入力	P156
	動作	P158
	日付と時刻	P158
	バックアップ	P159
	安心データ保存※	P159
	リセット オプション※	P160
	システム アップデート※	P184
	診断データ送信※	P161
デバイス情報		P161

※［詳細設定］をタップすると表示されます。

Wi-Fi

本端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスの無線LANアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。
無線LANアクセスポイントに接続するには、接続情報を設定する必要があります。

■ Bluetooth機能との電波干渉について

無線LAN（IEEE802.11b/g/n）とBluetooth機能は同一周波数帯（2.4GHz）を使用しています。そのため、本端末の無線LAN機能とBluetooth機能を同時に使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になることがありますので、同時には使用しないでください。
また、本端末の無線LAN機能のみ使用している場合でも、Bluetooth機器が近辺で使用されていると、同様の現象が発生します。このようなときは、次の対策を行ってください。

- 本端末とBluetooth機器は10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、Bluetooth機器の電源を切ってください。

◆ Wi-FiをONにしてネットワークに接続

1 ホーム画面で →[設定]→[ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi]

2 [Wi-Fiの使用]をONにする

3 Wi-Fiネットワークを選択

- セキュリティで保護されたWi-Fiネットワークを選択した場合は、パスワード（セキュリティキー）を入力し、［接続］をタップします。

✔お知らせ

- Wi-Fi機能がONのときもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。Wi-Fiネットワークが切断されると、自動的にLTE／3G／GPRSネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままでご利用になる場合は、パケット通信料がかかる場合がありますのでご注意ください。
- ドコモサービスをWi-Fi経由で利用する場合はdアカウントの設定が必要です。設定するには、ホーム画面で →［設定］→［ドコモのサービス／クラウド］→［dアカウント設定］をタップして操作してください。
- 複数のWi-Fiネットワークを保存している場合、接続先を切り替えるには切り替え先のWi-Fiネットワークを選択してください。現在接続中のWi-Fiネットワークが切断され、選択したWi-Fiネットワークに自動的に切り替わります。
  ※ 切断したネットワークの情報は削除されません。接続操作を行うと再接続できます。
- インターネットに接続されていないアクセスポイントに接続すると、 などが表示され、Wi-Fiではなくモバイルネットワークで通信が行われる場合があります。
- インターネットに接続されていないアクセスポイントには、自動で再接続しないことがあります。自動で再接続させる場合は、「XXXXはインターネットにアクセスできません」（XXXXはアクセスポイント名）の通知をタップ→［このネットワークについて次回から表示しない］にチェックを付ける→［はい］をタップしてください。

◆ Wi-Fiネットワークの追加

ネットワークSSIDやセキュリティを入力して、手動でWi-Fiネットワークを追加します。

- あらかじめWi-FiをONにしてください。

1 ホーム画面で⊞→［設定］→［ネットワークとインターネット］→［Wi-Fi］

2 ［ネットワークを追加］

- ⊞をタップし、QRコードをスキャンしてもネットワークを追加することができます。

3 追加するWi-FiネットワークのネットワークSSIDを入力→セキュリティを選択

- セキュリティは［なし］［Enhanced Open］［WEP］［WPA/WPA2-Personal］［WPA3-Personal］［WPA/WPA2/WPA3-Enterprise］が設定可能です。

4 必要に応じて追加のセキュリティ情報や詳細設定を設定→［保存］

- ステルス機能を有効にした非公開のWi-Fiネットワークの場合は、［非公開ネットワーク］を［はい］にしてください。

◆ Wi-Fiネットワークの接続情報の削除

1 ホーム画面で⊞→［設定］→［ネットワークとインターネット］→［Wi-Fi］

2 接続しているWi-Fiネットワークを選択→［削除］

- ［共有］が表示されている場合は、［共有］をタップするとQRコードが表示され、現在接続中のWi-Fiアクセスポイントを共有することができます。
- ✎をタップすると、Wi-Fiネットワークの設定を編集することができます。

◆ Wi-Fi Directで他の機器と接続

アクセスポイントなどを経由せずに、Wi-Fi Direct対応機器同士で接続ができます。

- あらかじめWi-FiをONにしてください。
- Wi-Fi Directを利用して動画や静止画などのデータ交換を行うためには、Wi-Fi Directのデータ交換に対応したアプリを Play ストアから入手し、インストールする必要があります。

1 ホーム画面で⊞→［設定］→［ネットワークとインターネット］→［Wi-Fi］

2 ［Wi-Fi設定］→［詳細設定］→［Wi-Fi Direct］

- 接続するWi-Fi Direct対応機器が表示されないときは、⋮→［デバイスの検索］をタップします。

3 検出されたWi-Fi Direct対応機器をタップ

Wi-Fi Direct対応機器の切断：接続済みのWi-Fi Direct対応機器をタップ→［OK］

■ 他のWi-Fi Direct対応機器から接続要求を受けた場合

接続への招待画面が表示された場合は、［同意する］をタップしてください。

◆ Wi-Fiを自動的にONにする

保存済みの高品質なWi-Fiネットワークを検出したとき、自動でWi-Fi機能をONにすることができます。

- あらかじめ［位置情報］をONにしてください。→P116

1 **ホーム画面で⊞→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi]**

2 **[Wi-Fi設定]→[Wi-Fiを自動的にONにする]をタップしてON／OFFを設定**

✔お知らせ

- 次のような場合は、本機能が動作しません。
  - 機内モードがONまたはWi-FiテザリングがONの場合
  - ステルス機能を有効にした非公開のWi-Fiネットワークの場合
  - Wi-Fiを手動でOFFにした直後の場合（検出が再開されるまでしばらく時間がかかります）

◆ Wi-Fi設定

1 **ホーム画面で⊞→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi]**

2 **[Wi-Fi設定]**

3 **各項目を設定**

Wi-Fiを自動的にONにする：設定方法→P127
オープン ネットワークの通知：高品質のWi-Fiオープンネットワークが利用可能なとき、通知するかを設定します。
モバイルデータへの自動切り替え：Wi-Fiでインターネットにアクセスできないとき、自動的にモバイルデータ通信に切り替えるかを設定します。
証明書のインストール※：証明書をインストールします。
ネットワーク評価プロバイダ※：よりよいWi-Fiネットワークに接続するために、Wi-Fiネットワークの状態などを評価するプロバイダを設定します。
Wi-Fi Direct※：設定方法→P126
MACアドレス※：MACアドレスが表示されます。
IPアドレス※：IPアドレスが表示されます。
※［詳細設定］をタップすると表示されます。

◆ Wi-Fiデータ使用量

Wi-Fiデータ使用量がグラフで表示されます。また、アプリごとのWi-Fiデータ使用量も確認できます。

1 **ホーム画面で⊞→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi]**

2 **[Wi-Fiデータ使用量]**

モバイル ネットワーク

モバイルデータ通信に関する設定を行います。

1 ホーム画面で→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[モバイル ネットワーク]

2 各項目を設定

モバイルデータ：設定方法→P128
データローミング：設定方法→P171
アプリのデータ使用量：モバイルデータ使用量がグラフで表示されます。また、アプリごとのモバイルデータ使用量も確認できます。
4G LTE拡張モード※：通話時にVoLTEを有効にするかを設定します。
優先ネットワークタイプ※：設定方法→P172
ネットワークを自動的に選択※：設定方法→P172
ネットワーク※：利用するネットワークを設定します。

- ［ネットワークを自動的に選択］がONの場合は設定できません。

アクセスポイント名※：設定方法→P128
※［詳細設定］をタップすると表示されます。

◆ モバイルデータ

モバイル ネットワーク経由のインターネットアクセス（パケット通信）をON／OFFにします。

1 ホーム画面で→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[モバイル ネットワーク]

2 [モバイルデータ]をタップしてON／OFFを設定

✔お知らせ

- アプリによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信を切断するかタイムアウトにならない限り、接続されたままになります。必要に応じて［モバイルデータ］のON／OFFを切り替えてください。

◆ アクセスポイント（APN）の設定

インターネットに接続するためのアクセスポイント（spモード）はあらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。
spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
https://www.nttdocomo.co.jp/service/spmode/
mopera U、ビジネスmoperaインターネットをご利用になる際は、手動でアクセスポイントを追加する必要があります。
mopera Uの詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。
https://www.mopera.net/

- テザリングを有効にしているときは、アクセスポイントの設定はできません。→P130

❖利用中のアクセスポイントの確認

1 **ホーム画面で⊞→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[モバイル ネットワーク]→[詳細設定]→[アクセスポイント名]**

APNの一覧画面が表示されます。利用中のアクセスポイントには◉が表示されています。

❖アクセスポイントの追加

- MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。

1 **ホーム画面で⊞→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[モバイル ネットワーク]→[詳細設定]→[アクセスポイント名]**

2 **[+]**

アクセスポイントの編集画面が表示されます。

3 **[名前]→ネットワークプロファイル名を入力→[OK]**

4 **[APN]→アクセスポイント名を入力→[OK]**

5 **その他、通信事業者によって要求されている項目を入力→⋮→[保存]**

✔お知らせ

- MCC、MNCの設定を変更して画面上に表示されなくなった場合は、アクセスポイントを初期化するか、手動でアクセスポイントの設定を行ってください。

❖アクセスポイントの初期化

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 **ホーム画面で⊞→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[モバイル ネットワーク]→[詳細設定]→[アクセスポイント名]**

2 **⋮→[初期設定にリセット]**

✔お知らせ

- APNの一覧画面でアクセスポイントをタップ→アクセスポイントの編集画面で⋮→［APNを削除］をタップすると、アクセスポイントを1件ずつ削除できます。

◆データの警告と制限

データ使用量の使用サイクル（測定期間）を設定したり、データ使用量の警告値や上限値を設定したりできます。

1 **ホーム画面で⊞→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[モバイル ネットワーク]→[アプリのデータ使用量]→⚙**

2 **各項目を設定**

✔お知らせ

- 表示されるデータ使用量は目安です。実際のデータ使用量は「My docomo」で確認できます。
- データ使用量が指定の上限に達したときは、モバイルデータ通信が一時停止中であることをお知らせする画面が表示されます。モバイルデータ通信を再開するには［再開］をタップします。

データセーバー

データの使用量を抑えるようにするかを設定します。

1 ホーム画面で⊞→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[データセーバー]

2 [データセーバーを使用]をONにする

- ［無制限のデータアクセス］をタップすると、データ使用を無制限にするアプリを設定できます。

アクセス ポイントとテザリング

テザリングとは、スマートフォンなどのモバイル機器をモデムとして使用することにより、Wi-FiやUSBケーブル、Bluetooth通信で接続した外部接続機器を、インターネットに接続できるようにする機能です。

- テザリングを有効にした状態では、インターネット接続・メールサービス以外のspモードの機能について、認証できない場合やdアカウントによるログインを求められる場合があります。認証できない場合はテザリングを解除してご利用ください。
- テザリングを利用してインターネットに接続した場合、ご利用の環境によってはWi-Fi対応機器のブラウザやゲームなどのアプリが正常に動作しない場合があります。
- テザリングのご利用には、パケットパック／パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- 最大で15台（Wi-Fiテザリング：10台、USBテザリング：1台、Bluetoothテザリング：4台）の機器を同時に接続できます。

◆ Wi-Fiテザリング

本端末をWi-Fiアクセスポイントとして利用することで、Wi-Fi対応機器をインターネットに接続できます。

- Wi-Fi対応機器を10台まで同時接続できます。
- テザリングは、2.4GHzのみに対応しています。

1 ホーム画面で⊞→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[アクセス ポイントとテザリング]

2 [Wi-Fiアクセス ポイント]→画面右上のボタンをタップして[Wi-Fiアクセス ポイント]をONにする

◆ Wi-Fiテザリングの設定

必要に応じて設定を変更します。
- お買い上げ時は、アクセス ポイント名には［F-41A_XXXX］（XXXXは4桁の数字）が、セキュリティには［WPA2-Personal］が、［アクセス ポイントのパスワード］にはランダムな値が設定されています。

1 ホーム画面で⊞→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[アクセス ポイントとテザリング]→[Wi-Fiアクセス ポイント]

2 アクセスポイント名を入力→セキュリティを選択→アクセスポイントのパスワードを入力
- セキュリティは［WPA2-Personal］［なし］が設定できます。

✔お知らせ
- 操作2で［詳細設定］→［アクセス ポイントを自動的にオフにする］をONにすると、Wi-Fi対応機器の接続がない状態が続いたときにWi-Fiテザリングが自動的にOFFになります。

◆ USBテザリング

本端末をUSBケーブル A to C 02（別売品）でパソコンと接続し、モデムとして利用することでインターネットに接続できます。

1 本端末とパソコンをUSBケーブル A to C 02で接続

USBの設定画面が表示されます。

2 [USBテザリング]

✔お知らせ
- Windows 8.1、Windows 10のパソコンで動作を確認しています。ただし、すべてのパソコンで動作を保証するものではありません。

◆ Bluetoothテザリング

Bluetooth機器をインターネットに接続できます。
- Bluetooth機器を4台まで同時接続できます。
- あらかじめBluetooth機器とのペア設定が必要です。→P165

1 ホーム画面で⊞→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[アクセス ポイントとテザリング]

2 [Bluetoothテザリング]をONにする

✔お知らせ
- Bluetooth機器側の設定については、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

機内モード

機内モードを設定すると、本端末のワイヤレス機能（電話、パケット通信、Wi-Fi、テザリング、Bluetooth機能）が無効になります。ただし、Wi-Fi、Bluetooth機能は機内モード中に手動でONにすることができます。

1 ホーム画面で→[設定]→[ネットワークとインターネット]

2 [機内モード]をONにする

✔お知らせ

- （電源キー）（1秒以上）→［機内モード］をタップしても、機内モードを設定／解除できます。

VPN（仮想プライベートネットワーク）

VPN（Virtual Private Network：仮想プライベートネットワーク）は、企業や大学などの保護されたローカルネットワーク内の情報に、外部からアクセスする技術です。本端末からVPN接続を設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手してください。

◆ VPNの追加

1 ホーム画面で→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[詳細設定]→[VPN]

2 [＋]→各項目を設定→[保存]

◆ VPNへの接続

1 ホーム画面で→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[詳細設定]→[VPN]

2 接続するVPNを選択

3 必要に応じて認証情報を入力→[接続]

VPNに接続すると、ステータスバーにが表示されます。

◆ VPNの切断

1 **ホーム画面で→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[詳細設定]→[VPN]**

2 **切断するVPNを選択**

3 **[切断]**

プライベートDNS

対応するDNSサーバーとの通信を自動で暗号化するかを設定したり、利用するプライベートDNSプロバイダを登録したりします。

1 **ホーム画面で→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[詳細設定]→[プライベートDNS]**

2 **項目を選択→[保存]**

- ［プライベートDNSプロバイダのホスト名］をタップした場合は、DNSプロバイダのホスト名を入力します。

接続の設定

Bluetooth機器との接続など、他の機器との接続に関する設定を行います。

- 利用状況により項目が表示されない場合があります。

1 **ホーム画面で→[設定]→[接続済みのデバイス]→[接続の設定]**

2 **各項目を選択**

Bluetooth：設定方法→P165
NFC／おサイフケータイ 設定：設定方法→P111、P167
USB機器の検出：本端末にUSB機器を接続したときにUSB機器を検出します。
キャスト：設定方法→P169
印刷：設定方法→P168
Bluetoothで受信したファイル：他のBluetooth機器から受信したファイルを確認します。
Chromebook：本端末と Chromebook™ をリンクします。

アプリと通知

アプリに関する設定を行います。

1 ホーム画面で田→[設定]→[アプリと通知]

2 各項目を設定

最近開いたアプリ：最近起動したアプリが表示されます。すべてのアプリを表示するには［XX個のアプリをすべて表示］をタップします。
通知：設定方法→P135
利用時間：ダッシュボードが表示され、本端末の利用時間などを確認したり、1日に利用できる最大時間をアプリごとに設定したりできます。
デフォルトのアプリ：デフォルトで使用するブラウザアプリや電話アプリ、SMSアプリなどを設定します。
権限マネージャ※：アプリの権限の設定を変更できます。
エリアメール※：設定方法→P96
特別なアプリアクセス※：本端末の機能や情報にアクセスするアプリの設定を変更できます。
※［詳細設定］をタップすると表示されます。

◆ アプリ情報

インストールしたアプリの管理や削除などを行います。

❖アプリに許可されている動作の表示

1 ホーム画面で田→[設定]→[アプリと通知]→[XX個のアプリをすべて表示]

2 アプリを選択→[権限]

❖アプリのデータやキャッシュの削除

1 ホーム画面で田→[設定]→[アプリと通知]→[XX個のアプリをすべて表示]

2 アプリを選択→[ストレージとキャッシュ]→[ストレージを消去]／[キャッシュを削除]

- ［ストレージを消去］を選択した場合は［OK］をタップします。

❖アプリの削除

- Play ストアから入手したアプリは、Google Play 画面から削除することをおすすめします。→P109
- お買い上げ時にインストールされているアプリによっては削除できません。また、削除した場合は本端末をリセットすると復元することができます。

1 ホーム画面で田→[設定]→[アプリと通知]→[XX個のアプリをすべて表示]

2 アプリを選択→[アンインストール]→[OK]

❖アプリの無効化

アプリの無効化は、アンインストールできない一部のアプリやサービスで利用できます。無効化したアプリはアプリ一覧画面やホーム画面などに表示されず、起動もできなくなりますが、アンインストールはされていません。

1 **ホーム画面で→[設定]→[アプリと通知]→[XX個のアプリをすべて表示]**

2 **アプリを選択→[無効にする]／[有効にする]**

- ［無効にする］を選択した場合は［無効にする］をタップします。

✔お知らせ

- アプリを無効化した場合、無効化されたアプリと連携している他のアプリが正しく動作しないことがあります。その場合、再度アプリを有効にすることで正しく動作します。

❖電池の最適化

アプリごとの電池消費を抑えるために、本端末を使用していないときやアプリが数日間使用されていないときにアプリを無効にします。

1 **ホーム画面で→[設定]→[アプリと通知]→[詳細設定]→[特別なアプリアクセス]→[電池の最適化]**

2 **[最適化していないアプリ]→[すべてのアプリ]→アプリを選択→[最適化する]／[最適化しない]→[完了]**

◆ 通知

アプリや機能の通知に関する設定を行います。

1 **ホーム画面で→[設定]→[アプリと通知]→[通知]**

2 **各項目を設定**

過去7日間をすべて表示：通知を最近送信したアプリ／機能が表示され、通知の詳細を設定できます。
ロック画面上の通知：ロック画面に警告やサイレント通知を表示するかを設定します。
機密性の高い通知※1：機密性の高いコンテンツをロック画面に表示するかを設定します。
通知のスヌーズを許可※2：通知のスヌーズを許可するかを設定します。
操作や返信の候補※2：操作や返信の候補を自動で表示するかを設定します。
通知ドットの許可※2：アイコンにドット（点）を表示してアプリの通知をお知らせするかを設定します。
点滅※2：お知らせLEDの点滅でアプリの通知をお知らせするかを設定します。
デフォルトの通知音※2：通知音を設定します。
高度なサイレントモード※2：高度なサイレントモード中の通知に関する詳細を設定します。

※1 セキュリティ解除方法を［なし］／［スワイプ］に設定している場合は表示されません。
※2 ［詳細設定］をタップすると表示されます。

電池

電池残量の確認などを行います。

- 利用状況により表示が異なる場合があります。

1 **ホーム画面で→[設定]→[電池]**

2 **各項目を設定**

（電池の使用状況）：電池残量、電池切れの推定時間を表示します。
アプリは正常に実行されています：アプリの電池使用状況などが表示されます。
バッテリーセーバー：設定方法→P136
自動調整バッテリー：アプリの使用状況を学習し、使用頻度の低いアプリの電池使用を自動的に制限するかを設定します。
電池残量：ステータスバーに電池残量を表示するかを設定します。
電池長持ち充電：電池を100%まで充電するか、電池の寿命をより長くするために電池残量85%で充電を停止させるかを設定します。
前回のフル充電：前回のフル充電から経過したおよその時間を表示します。
電池の性能：内蔵電池の性能（充電能力）を表示します。
フル充電以降の画面の電池使用状況：前回のフル充電から画面が電池を使用したおよその時間を表示します。

◆ バッテリーセーバー

バッテリーセーバーを起動／停止します。

- バッテリーセーバーが起動すると、ステータスバーにが表示されます。

1 **ホーム画面で→[設定]→[電池]→[バッテリーセーバー]**

2 **[スケジュールの設定]→[残量に基づく]**

- スライダーをスライドして、バッテリーセーバーが自動的に起動する電池残量を設定できます。
- ［フル充電で無効］をONにすると、電池残量が90%になるとバッテリーセーバーが自動的にOFFになります。
- ［今すぐONにする］／［今すぐOFFにする］をタップすると、バッテリーセーバーを手動で起動／停止できます。

表示の設定

画面の明るさや壁紙など、画面の表示に関する設定を行います。

1 ホーム画面で →[設定]→[表示の設定]

2 各項目を設定

明るさのレベル：設定方法→P137
ブルーライトカットモード：画面から発せられる青い光を弱くするかを設定します。自動的にブルーライトカットモードをONにすることもできます。
明るさの自動調節：[明るさのレベル]で設定した明るさを基準に、周囲の明るさに応じて自動で明るさを調節します。
壁紙：壁紙を設定します。
ダークテーマ：黒背景のテーマに変更します。
画面消灯※：設定方法→P138
画面の自動回転※：本端末の向きに合わせて画面を回転させるかを設定します。
- 表示中の画面によっては、本端末の向きを変えても画面表示が切り替わらない場合があります。

フォント※：表示フォントを変更できます。
フォントサイズ※：文字の大きさを変更します。
表示サイズ※：画面に表示されるアイコンなどのサイズを拡大／縮小します。
スクリーンセーバー※：設定方法→P138
ロック画面の表示※：ロック画面に表示する通知やメッセージを設定したり、スリープモード中も時計や通知アイコンなどを画面に表示するかを設定したりします。また、スリープモード中に画面をダブルタップしたり端末を持ち上げたりすることで、時計や通知を確認できるように設定できます。通知を受信したときにスリープモードを解除するように設定することもできます。
ホーム画面切替※：設定方法→P66
シンプルホーム設定※：シンプルホームに表示するシートを設定します。
シンプルモード設定※：次の設定をまとめて行います。すでに次の設定になっている項目については変更されません。
- ホームアプリをシンプルホームに設定（→P66）
- はっきり文字をONに設定（→P150）
- ナビゲーションバーに (バックアイコン)、 (ホームアイコン)、 (履歴アイコン）が表示されるように設定（→P158）

- 各設定は個別に変更することもできます。

※［詳細設定］をタップすると表示されます。

✔お知らせ

- ［画面の自動回転］をOFFに設定しても、本端末の向きを変えたときにナビゲーションバーに が表示された場合は、タップして画面表示を切り替えることができます。

◆ 画面の明るさ

画面の明るさを設定します。

1 ホーム画面で →[設定]→[表示の設定]→[明るさのレベル]

2 スライダーをスライドして明るさを調整

◆ 画面消灯

画面が消灯するまでの時間を設定します。

1 **ホーム画面で⊞→[設定]→[表示の設定]→[詳細設定]→[画面消灯]**

2 **時間を選択**

◆ スクリーンセーバー

充電中、スリープモードになった場合に表示するスクリーンセーバーを設定します。

1 **ホーム画面で⊞→[設定]→[表示の設定]→[詳細設定]→[スクリーンセーバー]**

2 **[現在のスクリーンセーバー]→設定するスクリーンセーバーを選択**

3 **必要に応じて⚙→各項目を設定**

4 **[起動するタイミング]→項目を選択**

- ［今すぐ起動］をタップすると、スクリーンセーバーが起動します。

◆ ロック画面の表示

ロック画面の表示に関する設定を行います。

1 **ホーム画面で⊞→[設定]→[表示の設定]→[詳細設定]→[ロック画面の表示]**

2 **各項目を設定**

ロック画面：ロック画面に表示する通知を設定します。

ロック画面メッセージ：ロック画面に表示するメッセージを入力します。

スライドでカメラ起動：ロック画面の右下にあるカメラアイコンを左にスワイプしてカメラを起動するかを設定します。

ロックダウン オプションの表示※：⏻（電源キー）を1秒以上押して表示されるメニューに「ロックダウン」を表示するかを設定します。

- ［ロックダウン］をタップすると、Smart Lockや指紋認証による認証操作、ロック画面の通知表示を無効にすることができます。

常に表示：時刻、通知アイコンなどの情報をロック画面に常に表示するかを設定します。

画面をダブルタップして時計を表示：タッチパネルをダブルタップしたときに時計を表示するかを設定します。

デバイスを持ち上げて時計を表示：本端末を持ち上げたときに時計を表示するかを設定します。

新しい通知：通知を受信したときに通知の画面を表示するかを設定します。

※ セキュリティ解除方法を［スワイプ］に設定している場合は表示されません。

音

音量や着信音、マナーモードなど音に関する設定を行います。

1 ホーム画面で→[設定]→[音]

2 各項目を設定

メディアの音量：設定方法→P139
通話の音量：設定方法→P139
着信音の音量：設定方法→P139
アラームの音量：設定方法→P139
着信バイブレーション：着信音が鳴っているときに、振動でもお知らせするかを設定します。

- マナーモード中は設定できません。
- OFFにしている場合でも、［着信音の音量］を0に設定するとバイブレーションが鳴動します。

着信のバイブレーション強度：着信時のバイブレーションの強度を設定します。
通知時のバイブレーション強度：通知時のバイブレーションの強度を設定します。
マナーモード：設定方法→P140
高度なサイレントモード：高度なサイレントモード中の通知に関する詳細を設定します。

- マナーモード中は設定できません。

着信音ミュート用のショートカット※：（電源キー）と音量キーの上を同時に押して着信音や通知音を鳴らさないようにするかを設定します。

- ［バイブレーション］に設定すると、着信や通知があったときに振動します。［ミュート］に設定すると、着信や通知があっても音や振動は鳴動しません。
- マナーモード中は設定できません。

着信音※：電話着信音を設定します。

- 電話帳に着信音を設定している場合は、電話帳の着信音が優先されます。

デフォルトの通知音※：通知音を設定します。
デフォルトのアラーム音※：アラーム音を設定します。
ダイヤルパッドの操作音※：ダイヤルパッドを操作したときに音を鳴らすかを設定します。
画面ロック音※：（電源キー）を押して画面ロックをかけたときや、画面ロックを解除したときに音を鳴らすかを設定します。
充電時の音とバイブレーション※：充電開始時に音と振動でお知らせするかを設定します。
タッチ操作音※：項目などをタップしたときに音を鳴らすかを設定します。
タップ操作時のバイブ※：ナビゲーションバーのアイコンをタップしたときなどに、本端末を振動させるかを設定します。
※［詳細設定］をタップすると表示されます。

◆ 音量

メディア再生音、通話音、着信音、アラームの音量を調節できます。

- マナーモード中は［メディアの音量］［通話の音量］の設定ができます。

1 ホーム画面で→[設定]→[音]

2 [メディアの音量]／[通話の音量]／[着信音の音量]／[アラームの音量]のスライダーをスライドして音量を調節

✔お知らせ

- ［着信音の音量］を0にすると、バイブレーションがONになります。バイブレーションをOFFにしたい場合は、サイレントマナー（→P140）などに設定してください。
- 音量キーを押しても［メディアの音量］を調節できます。
- 音量キーを押して表示される画面でアイコンをタップすると、バイブレーション／ミュートに設定することができます。
  - をタップ（表示）：バイブレーション（着信と通知をバイブレーションでお知らせ）
  - をタップ（表示）：ミュート（着信と通知を音やバイブレーションでお知らせしない）
  - をタップ（表示）：［着信音の音量］で設定した音量で着信と通知をお知らせ

◆ マナーモード

マナーモードを設定／解除します。

- マナーモードの種類は変更できます。→P140

1 ホーム画面で→［設定］→［音］→［マナーモード］

2 ［マナーモード］をONにする

マナーモードを設定すると、ステータスバーに（通常マナー）または（サイレントマナー）が表示されます。

✔お知らせ

- 通知パネルを開く→パネルスイッチで［マナー］／［サイレント］をタップしても、マナーモードを設定／解除できます。
- 本端末では、マナーモードの設定に関わらず、シャッター音、撮影開始音／撮影終了音、オートフォーカスロック音、セルフタイマーのカウントダウン音、カメラ起動中のスクリーンショット音、カメラ起動中のキャプチャメモ／なぞってコピーのキャプチャ音、アラーム音が鳴ります。アラーム音を鳴らさないようにするには、アラームの設定でアラーム音を［マナーモード］に設定してください。→P118
- マナーモード中でも、音量キーを押すか［メディアの音量］で音量を調節することで、メディア再生音が鳴るようにすることができます。

❖マナーモードの種類を変更

1 ホーム画面で→［設定］→［音］→［マナーモード］→［マナーモード選択］

2 項目を選択

通常マナー：本端末のスピーカーから音を鳴らしません。また、バイブレーションがONになります。
サイレントマナー：音を鳴らさないだけでなく、バイブレーションもOFFになります。

ストレージ

内部ストレージやmicroSDカードの使用状況を確認します。

1 **ホーム画面で⊞→[設定]→[ストレージ]**

2 **各項目を設定**

内部共有ストレージ：本端末のメモリの使用容量と合計容量、データごとの使用容量を表示します。
SDカード：microSDカードのデータ一覧画面を表示します。▲をタップすると、microSDカードのマウントを解除（認識を解除）して安全に取り外すことができます。microSDカードを認識させるには［SDカード］→［マウント］をタップします。

◆ microSDカードのデータ消去（フォーマット）

- 操作を行うと、microSDカード内のデータがすべて消去されますのでご注意ください。

1 **ホーム画面で⊞→[設定]→[ストレージ]→[SDカード]**

2 **⋮→[ストレージの設定]→[フォーマット]**

3 **[SDカードをフォーマット]→[完了]**

プライバシー

プライバシーに関する設定を行います。

1 **ホーム画面で⊞→[設定]→[プライバシー]**

2 **各項目を設定**

権限マネージャ：アプリの権限の設定を変更できます。
パスワードの表示：暗証番号／パスワード入力時に入力した文字を表示するかを設定します。
ロック画面：ロック画面にプライベートな内容の通知を表示するかどうかを設定します。
Google の自動入力サービス：Google アカウントに保存されているパスワードなどを自動で入力するかどうかを設定します。
Google ロケーション履歴※：本端末を持って訪れた場所を保存するかどうかを設定します。
アクティビティ管理※：ウェブとアプリのアクティビティを保存するかどうかを設定します。
広告※：Google 広告のカスタマイズ設定を管理します。
使用状況と診断情報※：使用状況と診断情報を Google に自動的に送信するかどうかを設定します。
※［詳細設定］をタップすると表示されます。

セキュリティ

セキュリティに関する設定を行います。

1 ホーム画面で⊞→[設定]→[セキュリティ]

2 各項目を設定

Google Play プロテクト：本端末を定期的にスキャンし、セキュリティ上の脅威を確認するかを設定します。
デバイスを探す：本端末の紛失時にリモートで端末の位置を特定したり、ロックやデータ消去をしたりするかを設定します。
セキュリティ アップデート：設定方法→P184
セキュリティ解除方法：設定方法→P142
指紋管理／FASTフィンガーランチャー：設定方法→P144
Smart Lock：設定方法→P145
パーソナルノート：設定方法→P145
デバイス管理アプリ：デバイス管理アプリを有効にするかを設定します。
SIM カードロック※1：設定方法→P46
暗号化と認証情報※2：設定方法→P146
信頼エージェント※2：Smart Lockなどの機能の信頼できるエージェントを管理します。
利用アプリの固定※2：設定方法→P146

※1 ドコモnanoUIMカードを取り付けていない場合は表示されません。
※2［詳細設定］をタップすると表示されます。

◆ セキュリティ解除方法の設定

画面ロックの解除時に使用する認証操作の種類などを設定します。

1 ホーム画面で⊞→[設定]→[セキュリティ]→[セキュリティ解除方法]

2 認証操作

- 初めて設定するときは、認証操作は必要ありません。

3 項目を選択

なし：ロック画面を表示しないように設定します。
スワイプ：スワイプでロックを解除するように設定します。
パターン：最低4つの点を結ぶパターンでロックを解除するように設定します。
暗証番号：暗証番号（4～16桁の数字）でロックを解除するように設定します。
パスワード：パスワード（4～16桁の英数字と記号）でロックを解除するように設定します。

4 必要に応じて[セキュリティ解除方法]の⚙→各項目を設定

- セキュリティ解除方法の設定により表示される項目は異なります。

パターンを表示する：画面ロック解除時のパターン入力時にパターンを表示するかを設定します。
画面消灯後にロック：認証操作が必要なセキュリティ解除方法を選択した場合、スリープモードになってから設定した時間が経過すると、画面ロックがかかるように設定できます。

電源ボタンですぐにロックする：（電源キー）を押してすぐに画面ロックをかけるかを設定します。画面ロックを解除するには認証操作が必要です。

✔お知らせ

- 認証ストレージを利用中に使用できるセキュリティ解除方法は、パターン、暗証番号、パスワード、指紋認証のいずれかになります。

❖画面ロックをかける

セキュリティ解除方法を設定（→P142）した後に、（電源キー）を押してスリープモードにする、または自動的に画面が消灯してから［画面消灯後にロック］で設定した時間が経過すると、画面ロックがかかります。

- 画面ロックを解除する場合は、（電源キー）を押してスリープモードを解除し、セキュリティ解除方法の種類に応じて解除操作を行います。

✔お知らせ

- Google アカウントを設定している場合に、パソコンやタブレットなどからパスワードによるロックを設定することができます。端末紛失時などは次のURLにアクセスし、本端末に設定されている Google アカウントでログインしてください。
  https://www.google.com/android/devicemanager
  - 新しいパスワードを本端末に入力することで、画面ロックを解除することができます。
  - Google アカウントでログインしていない場合は操作できません。

❖解除方法を忘れたときは

- 認証操作が必要なセキュリティ解除方法を設定している場合、画面ロックの解除に5回以上失敗すると、一時的に解除の操作ができなくなりますが、一定時間経過後にやり直すことができます。
- セキュリティ解除方法のパターン／暗証番号／パスワードを忘れた場合は、ドコモショップにお問い合わせください。

✔お知らせ

- 画面ロックを解除しなくても、ロック画面から緊急通報を行うことができます。→P77

◆ 指紋認証機能

本端末は、あらかじめ登録した指紋でセキュリティの認証を行う指紋認証機能を搭載しています。

❖指紋認証機能利用時の留意事項

- 指紋の特徴情報を利用して認証を行うため、特徴情報が少ないお客様の場合は、指紋認証を利用できないことがあります。
- 認証性能（指で指紋センサーに正しく触れた際に指紋が認証される性能）は、お客様の使用状況により異なります。指の状態が次のような場合は、指紋の登録が困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。なお、手を拭く、手を洗う、認証する指を変える、指の登録範囲を広くするなど、お客様の指の状態に合わせて対処することで、認証性能が改善されることがあります。
  - お風呂上がりなどで指がふやけていたり、濡れていたり、汗をかいたりしている
  - 指に汗や脂が多く付着している

- 泥や油などで指が汚れている
- 手が荒れていたり、指に損傷（切傷やただれなど）を負ったりしている
- 指が極端に乾燥している
- 太ったりやせたりして指紋が変化した
- 指の表面が磨耗して指紋が薄い
- 登録時に比べ、認証時の指の表面状態が極端に異なる

• デスクトップパソコンなどアースを必要とする機器に本端末をUSBケーブルで接続するときは、必ず機器のアースが接続されていることを確認してください。アースが接続されていない状態で接続している間は、指紋認証できない場合があります。そのときは、本端末を機器から取り外して指紋認証を行ってください。
• 指紋認証技術は完全な本人認証・照合を保証するものではありません。当社では第三者に本端末を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関して、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
• セキュリティ解除方法を指紋認証に設定しても、72時間ごとおよび本端末起動時には予備のセキュリティ解除方法で画面ロックを解除する必要があります。予備のセキュリティ解除方法をお忘れにならないようご注意ください。

❖指紋センサー利用時の留意事項

• 指紋センサー表面は防水性を有していますが、指紋センサー表面や操作する指先に水滴や汚れが付着した場合は誤動作の原因となります。柔らかい布で水滴・汚れを取り除いてご使用ください。また、水分により指先がふやけた場合でも、誤動作の原因となる場合があります。
• 次のような場合は、故障および破損の原因となることがあります。
  - ぶつけたり、強い衝撃を与えたりする
  - ひっかいたり、先の尖ったものでつついたりする
  - 爪やストラップの金具など硬いものを押し付け、指紋センサー表面にキズが入る
  - 泥などで指紋センサー表面にキズが入る、表面が汚れる
  - シールを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりする
• 次のような場合は、指紋の読み取りが困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。指紋センサー表面は時々清掃してください。
  - ほこりや皮脂などの汚れ、汗などの水分の付着や結露
• 次のような現象が起きる場合は、指紋センサー表面を清掃してください。現象が改善されることがあります。
  - 指紋の登録失敗や認証失敗が頻発する
• 指紋センサーを清掃する際には、静電気の発生しにくい乾いた柔らかい布で表面の汚れを取り除いてください。長期間の使用によりゴミがたまることがありますが、その場合でも先の尖ったもので取り除かないでください。
• 静電気が故障の原因となる場合があります。指紋センサーに指を置く前に、金属に手を触れるなどして静電気を取り除いてください。冬期など乾燥する時期は、特にご注意ください。

❖指紋登録

1 **ホーム画面で→[設定]→[セキュリティ]→[指紋管理／FASTフィンガーランチャー]**
  • 認証操作が必要なセキュリティ解除方法を設定している場合は、認証操作を行って操作3に進みます。

2 **予備のセキュリティ解除方法を選択→画面の指示に従って設定**

3 登録する指をタップ→画面の指示に従って指紋を登録→[完了]

- ［アプリを登録］をタップすると、指紋で起動できるアプリを登録できます。→P145

❖指紋認証の操作

1 ロック画面で、登録した指で指紋センサーに触れる

- 正しく認証されない場合は、指紋登録時に設定した予備のセキュリティ解除方法（パターン／暗証番号／パスワード）で認証操作を行ってください。

❖FASTフィンガーランチャー

1 ホーム画面で⊞→[設定]→[セキュリティ]→[指紋管理／FASTフィンガーランチャー]→認証操作

2 指紋を登録済みの指をタップ

- 指紋を登録していない指をタップすると、指紋を追加できます。
- 🗑をタップすると指紋を削除できます。

3 [ランチャーモード]／[ダイレクトモード]

- モード名をタップすると、モードを切り替えることができます。

4 画面の指示に従ってアプリを登録→[完了]

✔お知らせ

- 非常用節電モードがONの場合、FASTフィンガーランチャー機能からのアプリの起動はできません。

◆Smart Lock

外部機器からの接続時などで画面ロックを解除する方法について設定します。

- あらかじめ認証操作が必要なセキュリティ解除方法を設定する必要があります。→P142

1 ホーム画面で⊞→[設定]→[セキュリティ]→[Smart Lock]→認証操作

2 各項目を設定

- Smart Lockの詳細については、⋮→［ヘルプ］をタップしてヘルプをご覧ください。

◆パーソナルノート

ID（アカウント）やパスワードなど認証情報を登録して管理します。登録した内容を引用して入力できます。→P52

- あらかじめ認証操作が必要なセキュリティ解除方法を設定する必要があります。→P142
- 登録した内容を引用するには、Super ATOK ULTIASを使用する必要があります。
- 最大100件登録できます。

1 ホーム画面で⊞→[設定]→[セキュリティ]→[パーソナルノート]→認証操作

2 [新規登録]→各項目を設定→[完了]

編集：タイトルをタップ→各項目を編集→［完了］
削除：タイトルをロングタッチ→画面下部の🗑までドラッグ→［OK］
並べ替え：タイトルをロングタッチ→移動先までドラッグ

チュートリアル：⋮→［チュートリアル］→画面の指示に従って内容を確認
バックアップ／リストア：⋮→［バックアップ／リストア］→項目を選択→画面の指示に従って操作
全件削除：⋮→［全件削除］→［OK］

◆ 暗号化と認証情報

本端末が暗号化されていることを確認したり、認証情報を管理したりします。

1 **ホーム画面で⊞→［設定］→［セキュリティ］→［詳細設定］→［暗号化と認証情報］**

2 **各項目を設定**

スマートフォンの暗号化：内部ストレージに保存されているシステムデータが暗号化されていることを確認できます。

- 本端末では［スマートフォンの暗号化］の設定を変更することはできません。

ストレージのタイプ：認証情報ストレージのタイプを表示します。
信頼できる認証情報：信頼できる認証情報や証明書を表示します。
ユーザー認証情報：本端末に保存されているユーザー認証情報を管理します。
ストレージからのインストール：認証情報や証明書をインストールします。
認証ストレージの消去：認証ストレージからすべての認証情報や証明書、VPNの設定を消去します。

◆ 利用アプリの固定

現在起動しているアプリを固定して、他のアプリを利用できないように設定できます。

1 **ホーム画面で⊞→［設定］→［セキュリティ］→［詳細設定］→［利用アプリの固定］**

2 **画面右上のボタンをタップして［利用アプリの固定］をONにする**

3 **固定したいアプリを起動**

4 **□→固定したいアプリのアイコンをタップ→［固定］→［はい］**

- アプリの固定を解除するには、◀（バック）と●（ホーム）を同時にロングタッチします。

✔お知らせ

- 操作2で［解除時のセキュリティ認証］をONにすると、アプリの固定を解除するときにセキュリティ解除操作が必要になるように設定できます。

ドコモのサービス／クラウド

ドコモのサービスやクラウドの設定を行います。

1 **ホーム画面で⊞→[設定]→[ドコモのサービス／クラウド]**

2 **各項目を設定**

dアカウント設定：ドコモアプリで利用するdアカウントを設定します。また、本端末に登録されている生体情報（指紋認証）を利用したdアカウント認証の設定もできます。
ドコモクラウド：ドコモクラウドに対応した各種サービスのクラウド設定を行います。
ドコモアプリデータバックアップ：各アプリのデータバックアップ／復元の設定や、データがバックアップされたアプリの一覧を確認できます。
ドコモアプリ管理：ドコモが提供するアプリのアップデートをしたり、定期アップデート通知や自動アップデートなどを設定します。
おすすめアプリ：おすすめアプリの設定や、通知の履歴の確認をします。
おすすめ使い方ヒント：おすすめ使い方ヒントの設定や、ヒントの履歴の確認をします。
ドコモ位置情報：イマドコサーチ、イマドコかんたんサーチ、ケータイお探しサービスの位置情報サービス機能の設定を行います。
端末アプリ情報送信：アプリ情報をドコモが管理するサーバーへ送信するための設定を行います。
会員情報／プロフィール情報設定：ドコモの各種サービスで利用するお客様の会員情報／プロフィール情報を、確認・変更できます。
ドコモサービス初期設定：ドコモサービスの設定を一括して行います。
USBデバッグ切替：ドコモショップなどで専用端末を利用するための設定を行います。
オープンソースライセンス：オープンソースライセンスを表示します。

✔お知らせ

- ドコモのサービス／クラウドで表示されるアプリの中には無効化できるものがあります。無効化した場合、ドコモのサービス／クラウドの一覧には表示されなくなることがあります。また、新たにドコモ提供のアプリをダウンロードすると、ドコモのサービス／クラウドの一覧に項目が追加されることがあります。

アカウント

アカウントを追加します。また、お客様ご自身のプロフィールなどを登録できます。

1 ホーム画面で田→[設定]→[アカウント]

2 各項目を設定

アカウントを追加：設定方法→P148
自動的にデータを同期：アカウントのデータの同期を自動で行うかを設定します。
マイプロフィール：設定方法→P88
自分の電話番号：本端末の電話番号を確認できます。
自分からだ設定：健康系のアプリやウィジェットで利用する基本情報を設定します。

◆アカウントの追加

1 ホーム画面で田→[設定]→[アカウント]

2 [アカウントを追加]→アカウントの種類を選択→画面の指示に従って操作

アカウントを設定：アカウントを選択→各項目を設定

❖アカウントの削除

1 ホーム画面で田→[設定]→[アカウント]

2 アカウントを選択→[アカウントを削除]→[アカウントを削除]

✔**お知らせ**

- docomoのアカウントは削除できません。

❖手動で同期を開始

1 ホーム画面で田→[設定]→[アカウント]

2 アカウントを選択→[アカウントの同期]→⋮→[今すぐ同期]

■ 同期の中止

1 同期中に⋮→[同期をキャンセル]

ユーザー補助

ユーザー操作を補助する設定を行います。

1 **ホーム画面で[アプリ一覧アイコン]→[設定]→[ユーザー補助]**

2 **各項目を設定**

音量キーのショートカット：音量キーの上と下を同時に約3秒押すことでユーザー補助機能を起動できるようにするかを設定します。また、ショートカットに割り当てるユーザー補助機能を選択できます。
Exlider機能：Exliderに触れることで画面のスクロールや拡大ができるExlider機能を利用するかを設定します。
おすすめ使い方ヒント：おすすめ使い方ヒントを利用できるように設定します。
テキスト読み上げの設定：テキスト読み上げに関する設定を行います。
フォントサイズ：文字の大きさを変更します。
表示サイズ：画面に表示されるアイコンなどのサイズを拡大／縮小します。
ダークテーマ：黒背景のテーマに変更します。
拡大：画面を3回タップしたり、ショートカットを利用したりして表示を拡大できるようにするかを設定します。
色補正：色補正機能に関する設定をします。
色反転：色を反転させるかを設定します。
大きなマウスポインタ：マウス使用時のポインタを大きくするかを設定します。
アニメーションの削除：画面のアニメーション表示を無効にするかを設定します。
停止時間：マウス使用時にポインタが停止したらクリック操作を行うようにするかを設定します。
電源ボタンで通話を終了：[電源キーアイコン]（電源キー）を押すと通話を終了できるようにするかを設定します。
画面の自動回転：本端末の向きに合わせて画面を回転させるかを設定します。
- 表示中の画面によっては、本端末の向きを変えても画面表示が切り替わらない場合があります。

長押しする時間：ロングタッチを感知する時間を設定します。
操作までの時間（ユーザー補助タイムアウト）：操作の実行を求めるメッセージを表示する時間を設定します。
バイブレーションと触覚フィードバックの強さ：着信時や通知時、タップ操作時のバイブレーションのON／OFFを設定します。
- アプリによってはOFFに設定してもバイブレーションが無効にならない場合があります。

モノラル音声：音声をモノラル再生するかを設定します。
オーディオバランス：左右のオーディオバランスを設定します。
字幕の設定：字幕を表示するかを設定したり、字幕の言語や文字の大きさなどを設定したりします。
高コントラストテキスト：テキストのコントラストを高くするかを設定します。

✔お知らせ

- ［電源ボタンで通話を終了］をONに設定しているとき、通話中にスリープモードになった場合は、[電源キーアイコン]（電源キー）を押してスリープモードを解除してから[電源キーアイコン]（電源キー）を押すと、通話を終了できます。

arrowsオススメ機能

スライドイン機能や歩数計などの設定を行います。

1 ホーム画面で⊞→[設定]→[arrowsオススメ機能]

2 各項目を設定

シンプルモード設定：シンプルホームに設定され、はっきり文字、かんたん文字入力がONになり、ナビゲーションバーに◀(バックアイコン)、○(ホームアイコン)、□(履歴アイコン）が表示されます。また、通話画面がシンプルなデザインに変更になります。
Exlider設定：設定方法→P150
Super ATOK ULTIAS：設定方法→P54
FAST フィンガーランチャー：設定方法→P145
はっきり文字：文字やアイコンのサイズを自動で調整し、いつもはっきり見えるように設定します。
くっきり表示：設定方法→P151
持ってる間ON：端末を手に持って動きのある間は画面を点灯し続けるかを設定します。
手袋タッチ：設定方法→P151
歩数計：設定方法→P152
スライドイン機能：設定方法→P153
迷惑電話対策機能：設定方法→P153
ジュニアモード設定：設定方法→P154
安心データ保存：設定方法→P159

✔**お知らせ**

- オススメ機能を約1か月使用していない場合、アプリ一覧画面の［設定］アイコンや設定メニュー一覧の［arrowsオススメ機能］の各アイコンの右上にドット（点）が表示されることがあります。ドットを消去するには、ホーム画面で⊞→［設定］→［arrowsオススメ機能］→該当の機能をタップします。

◆ Exlider設定

Exliderに触れることで画面のスクロールや拡大ができます。

1 ホーム画面で⊞→[設定]→[arrowsオススメ機能]→[Exlider設定]

2 [Exliderによる操作]をONにする

3 各項目を設定

- ［体験する］／［Exlider体験］をタップすると、Exliderの使いかたを確認できます。

◆ くっきり表示

表示画面内の文字が小さい文章ブロックなどを一時的に拡大させるくっきり表示機能について設定します。

1 ホーム画面で→[設定]→[arrowsオススメ機能]→[くっきり表示]

2 [くっきり表示機能]をONにする

3 各項目を設定

アイコン表示方法：アイコンの表示を［常時ON］または［自動ON］（［見やすさ補正強度設定］で設定した見やすさ度合いに応じてアイコンを自動表示）から選択します。

アイコン表示アプリ指定：くっきり表示機能を使用するアプリを指定します。

見やすさ補正強度設定：見やすさ度合いを設定します。

アイコン初期表示位置指定：アイコンの初期表示位置を設定します。

- 画面上でアイコンをドラッグして表示位置を変更することもできます。

機能説明：くっきり表示機能の使いかたを確認できます。

◆ 手袋タッチ

手袋をしていてもタッチ操作できるように、タッチパネルの感度を上げるかを設定します。

1 ホーム画面で→[設定]→[arrowsオススメ機能]

2 [手袋タッチ]をタップしてON／OFFを設定

✔お知らせ

- 手袋の素材によってはタッチ操作がしづらい場合があります。
- タッチ操作がしづらい場合は、指を寝かせて指の腹をタッチパネルに接触させるように操作してください。
- ［手袋タッチ］をONにした状態で手袋をはめずにタッチ操作を行うと、タッチのしかたによっては意図しない操作が実行される場合があります。
- ［手袋タッチ］をONにした状態で、本端末の画面を点灯させたままポケットやかばんの中に入れると、意図しない操作が実行される場合があります。本端末をポケットなどに入れるときはスリープモードにしてください。

◆ 歩数計

歩数のカウントを開始するかを設定します。

- ［歩数計利用］をONにすると、歩数情報を利用するアプリやウィジェットが使用できるようになります。
- ［自分からだ設定］で身長と体重を設定すると、より正確な歩数情報が取得できます。→P148

1 **ホーム画面で→［設定］→［arrowsオススメ機能］→［歩数計］**

2 **［歩数計利用］をONにする**

全履歴の削除：［歩数計の全履歴削除］→［実行］→［はい］

- カウント中の歩数も含め、履歴がすべて削除されます。

❖ 歩数計ご使用時の注意事項

- 歩数を正確にカウントするためには、正しく装着して（キャリングケースに入れて腰のベルトなどに装着する、かばんに入れるときは固定できるポケットや仕切りの中に入れる）毎分100～120歩程度の速さで歩くことをおすすめします。
- 正しく装着していても、手や足など身体の一部のみが動作しているなど歩行が本端末に伝わらない状態では、歩数のカウントが正確に行われないことがあります。
- 次の場合は歩数が正確にカウントされないことがあります。
  - 本端末を入れたかばんが足や腰に当たって不規則に動くときや、本端末を腰やかばんにぶら下げたとき
  - すり足のような歩きかたや、サンダル、下駄、草履などを履いて不規則な歩行をしたとき、混雑した場所を歩くなど歩行が乱れたとき
  - 立ったり座ったり、階段や急斜面の昇り降りをしたり、乗り物（自転車、車、電車、バスなど）に乗車したりなど、上下運動や振動、横揺れなどが多いとき
  - 歩行以外のスポーツを行ったときや、ジョギングをしたとき、極端にゆっくり歩いたとき
- 本端末に振動や揺れが加わっているときは、歩数のカウントが正確に行われないことがあります。

✔お知らせ

- 誤カウントを防ぐために歩行を始めたかを判断しているため、歩き始めは数値が変わりません。目安として4秒程度歩くとそこまでの歩数が加算されます。
- カウントした歩数は約60分ごとに保存されます。ただし、当日カウントされない歩数については、翌日補正されます。
- 歩数のカウントが更新されない場合は、画面を表示し直すと反映されます。
- 歩数の情報は本端末の故障、修理やその他の取り扱いによって消失してしまう場合があります。万が一、消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◆ スライドイン機能

画面の端から指をスライドさせて、表示されたランチャーからアプリを起動したり、画面をキャプチャしたり、画面を指でなぞって文字をコピーしたりできるように設定します。

1 ホーム画面で→[設定]→[arrowsオススメ機能]→[スライドイン機能]

2 [スライドイン機能]をONにする

3 各項目を設定

- ［機能説明］をタップすると、スライドインランチャー、キャプメモ、なぞってコピーの使いかたを確認できます。

✔お知らせ

- ランチャーに登録したアプリが更新された場合、登録が解除されることがあります。

◆ 迷惑電話対策機能

電話帳に登録していない相手から着信した場合、または電話帳に登録していない相手に発信した通話に還付金詐欺に関する内容が含まれていることを検出した場合は、通話を自動で録音することができます。着信時には特別な着信音でお知らせし、還付金詐欺の危険性を検出したときは通知音と警告表示でお知らせして、相手には通話を録音する旨の音声メッセージを流します。

- 迷惑メモは1件あたり最長60分、最大50件録音されます。50件を超えると、保護されていない古い迷惑メモから順に上書きされます。残しておきたい迷惑メモは保護してください。
- 還付金詐欺の危険性を検出した場合、1件あたりの録音時間は上限なしとなります。
- キャッチホンの利用中は、次の動作になります。
  - 通話中に発信、および着信した場合、本機能は動作しません。
  - 迷惑メモ録音中に別の相手と通話をすると録音が中断されることがあります。
- 通話の内容によっては、迷惑電話であっても機能しない場合や、迷惑電話ではないのに誤って機能する場合があります。
- 還付金詐欺対策機能、警視庁犯罪抑止対策本部からの助言を参考に富士通コネクテッドテクノロジーズ株式会社が開発したものです。

❖ 迷惑電話対策機能のON／OFFを設定する

1 ホーム画面で→[設定]→[arrowsオススメ機能]→[迷惑電話対策機能]

2 [迷惑電話対策]

❖録音した会話を再生する

1 ホーム画面で▦→[設定]→[arrowsオススメ機能]→[迷惑電話対策機能]

2 [迷惑メモリスト]

3 迷惑メモを選択→▶

❖機能説明を確認する

1 ホーム画面で▦→[設定]→[arrowsオススメ機能]→[迷惑電話対策機能]

2 [機能説明]

✔お知らせ

- 迷惑電話対策機能は、海外ではご利用できません。

◆ジュニアモード設定

アプリや利用時間の制限を設定することができます。
ジュニアモードをONにすると、お買い上げ時の設定では下記アプリケーションが「使用可能なアプリを選択する」にて、使用不可（チェックなし）となっています。

- 小学生：カメラ、ドライブ、フォト、らくらくコミュニティ、ローソン、Amazon ショッピング、Amazon Kindle、Chrome、dフォト、d払い、Disney DX、Duo、Facebook、Google Play ムービー &TV、iDアプリ、my daiz、My docomo、News Suite、Photoshop Express、radiko+FM、TikTok、YouTube、YouTube Music
- 中学生：ドライブ、フォト、らくらくコミュニティ、ローソン、Amazon ショッピング、Amazon Kindle、Chrome、d払い、Disney DX、Duo、Facebook、Google Playムービー &TV、iDアプリ、my daiz、My docomo、News Suite、TikTok、YouTube
- 高校生：フォト、らくらくコミュニティ、Chrome、Duo、News Suite、TikTok、YouTube

1 ホーム画面で▦→[設定]→[arrowsオススメ機能]

2 [ジュニアモード設定]

3 パスワードを入力→パスワードを再入力

4 秘密の質問と答えを登録

5 保護者の電話番号を入力→保護者の電話番号を再入力

6 [小学生]／[中学生]／[高校生]→[OK]

- ✿をタップすると使用可能なアプリ、使用できない時間帯、1日の使用可能時間の上限を設定できます。
- ⋮をタップするとパスワードの変更、保護者の電話番号の変更、アプリの使用履歴が確認できます。

✔お知らせ

- アプリの使用を制限する際は、あんしんフィルター for docomoのアプリインストール制限を有効にしてからご利用ください。使用不可に設定したアプリが解除される場合があります。
- ジュニアモードの設定を行うと、ホーム画面上のアプリの配置が変更されます。
  設定後にジュニアモードをOFFにした際は、改めてアプリの配置を行ってください。
- ジュニアモード設定中に、すべてのデータを消去（出荷時リセット）を行うと、端末が初期化されて、ジュニアモードが解除されます。
- バックグラウンドにて動作するアプリについては、制限時間になっても動作し続けます。

❖パスワードのリセット

パスワードや秘密の質問を忘れた場合は、パスワード登録時に登録した電話番号から、本端末に特定の数字を入力したSMSを送信すると、パスワードがリセットできます。

1 ホーム画面で⊞→[設定]→[arrowsオススメ機能]→[ジュニアモード設定]→[忘れた場合]→[忘れた場合]

SMSに入力する特定の数字が文中に表示されます。

2 パスワード登録時に登録した電話番号から、操作1で確認した数字を入力してSMSを送信

- パスワードのリセットはSMSでのみ利用可能です。＋メッセージを利用する場合は、メッセージ入力画面右上のⓘ→［SMSに切替］をONにしてから、メッセージを送信してください。

Digital Wellbeing と保護者による使用制限

本端末の利用時間などを確認したり、1日に利用できる最大時間をアプリごとに設定したりして、使い過ぎを抑えることができます。

1 **ホーム画面で→[設定]→[Digital Wellbeing と保護者による使用制限]**

2 **各項目を設定**

Google

Google のアカウントおよびサービスに関する、情報や設定の確認/変更/削除などができます。

- Google 設定の詳細については、Google の設定画面で?をタップしてヘルプをご覧ください。

1 **ホーム画面で→[設定]→[Google]**

Google の設定画面が表示されます。

2 **各項目を設定**

言語と入力

本端末で使用する言語を変更したり、表示フォントや文字の大きさを変更したりします。

1 **ホーム画面で→[設定]→[システム]→[言語と入力]**

2 **各項目を設定**

言語:設定方法→P157
仮想キーボード:設定方法→P54、P157
- [キーボードを管理]をタップすると、キーボードの変更画面に表示するキーボードを設定できます。

物理キーボード:本端末にキーボードを接続したときの設定をします。→P56
スペルチェック※:スペルチェックを行うかを設定します。
自動入力サービス※:自動入力サービスを利用するかを設定します。
単語リスト※:スペルチェックアプリなどで使われる単語を追加します。
ポインタの速度※:マウスやトラックパッド使用時のポインタの速度を設定します。
テキスト読み上げの設定※:テキスト読み上げに関する設定を行います。
※[詳細設定]をタップすると表示されます。

◆ 英語表示に切り替え

利用する言語を英語に変更します。

1 **ホーム画面で⊞→[設定]→[システム]→[言語と入力]→[言語]**

2 **[言語を追加]→[English (United States)]の═を最上段([1]の位置)までドラッグ**

✔お知らせ

- アプリによっては英語表示されません。
- 日本語表示に戻す場合は次の操作を行います。
  ホーム画面で⊞→［Settings］→［System］→［Languages & input］→［Languages］→［日本語(日本)］の═を最上段（［1］の位置）までドラッグ

◆ 音声検索の設定

Google 音声検索の機能を設定します。

1 **ホーム画面で⊞→[設定]→[システム]→[言語と入力]→[仮想キーボード]→[Google音声入力]**

2 **各項目を設定**

言語：Google 音声検索時に使用する言語を設定します。
音声による検索結果：検索結果を音声で出力する条件を設定します。
オフラインの音声認識：言語を追加でダウンロードして、オフライン状態でも音声認識を使えるように設定します。
不適切な語句を表示しない：不適切な結果を表示しないようにするかを設定します。
Voice Match：「OK Google」と発声して音声検索を開始できるように設定します。
Bluetoothでの録音：使用可能なBluetooth機器が接続されている場合、Bluetooth機器からの音声録音を有効にするかを設定します。
デバイスロック時にBluetoothのリクエストを許可：本端末がロックされている状態でも、Bluetooth機器を使用して音声操作ができるようにするかを設定します。
デバイスロック時に有線ヘッドセットのリクエストを許可：本端末がロックされている状態でも、本端末に接続した機器を使用して音声操作ができるようにするかを設定します。

動作

本端末を動かすことによって機能を操作できるように設定します。

1 ホーム画面で⊞→[設定]→[システム]→[動作]

2 各項目を設定

カメラの起動：⏻（電源キー）を2回押すとカメラを起動するように設定します。ONにすると、どの画面からでもカメラを起動できるようになります。

システム ナビゲーション：画面をスワイプすることで各種操作を行う「ジェスチャー ナビゲーション」と、ナビゲーションバーにバックアイコン、ホームアイコン、履歴アイコンを表示させる「3ボタン ナビゲーション」を選択できます。

着信音を停止：⏻（電源キー）と音量キーの上を同時に押すことで、着信音や通知音を鳴らさないようにするかを設定します。

- ［バイブレーション］にすると、着信や通知があったときに振動します。［ミュート］に設定すると、着信や通知があっても音や振動は鳴動しません。
- マナーモード中は設定できません。

日付と時刻

日付と時刻に関する設定を行います。

- ［ネットワークの時刻を使用する］／［タイムゾーンを自動設定］／［言語／地域のデフォルトを使用する］をOFFにすると、日付と時刻、タイムゾーン、24時間表示を手動で設定できます。

1 ホーム画面で⊞→[設定]→[システム]→[日付と時刻]

2 各項目を設定

ネットワークの時刻を使用する：ネットワーク上の日付・時刻情報を使って自動的に補正するかを設定します。

日付：日付を手動で設定します。

時刻：時刻を手動で設定します。

タイムゾーンを自動設定：ネットワーク上のタイムゾーン情報を使って自動的に補正するかを設定します。

タイムゾーン：タイムゾーンを手動で設定します。

言語／地域のデフォルトを使用する：［言語］の設定に従って24時間表示を自動的に切り替えるかを設定します。

24時間表示：24時間表示を手動で設定します。

バックアップ

アプリのデータや本端末の設定などを Google ドライブにバックアップするかを設定します。

1 ホーム画面で→[設定]→[システム]→[バックアップ]

2 [Google ドライブへのバックアップ]をONにする

3 [アカウント]→バックアップアカウントを選択

安心データ保存

本端末の各種データや設定などをmicroSDカードにバックアップしたり、本端末に復元したりします。

1 ホーム画面で→[設定]→[システム]→[詳細設定]→[安心データ保存]

2 各項目を設定

今すぐバックアップ：本端末のデータを暗号化してmicroSDカードにバックアップします。
定期バックアップ設定：周期と時刻を指定して、定期的にバックアップを行うかを設定します。
バックアップデータ選択：バックアップするデータを選択します。
前回のバックアップ／復元結果：前回のバックアップおよび復元結果を表示します。
データの復元：microSDカードにバックアップしたデータを本端末に復元します。

- 復元を行うと、本端末のデータや設定はバックアップデータに置き換わります。

リセット オプション

本端末のネットワーク設定やアプリの設定をリセットしたり、本端末を初期化したりします。

1 **ホーム画面で田→[設定]→[システム]→[詳細設定]→[リセット オプション]**

2 **各項目を設定**

Wi-Fi、モバイル、Bluetoothをリセット：Wi-Fi、モバイルデータ通信、Bluetoothの設定をリセットします。

アプリの設定をリセット：アプリの無効化、デフォルトのアプリ、アプリの権限などをリセットします。

すべてのデータを消去（出荷時リセット）：設定方法→P160

◆ 本端末の初期化

本端末を初期化すると、お客様がインストールしたアプリや登録したデータは、一部を除き削除されます。

- microSDカードのデータ消去については「microSDカードのデータ消去（フォーマット）」をご覧ください。→P141

1 **ホーム画面で田→[設定]→[システム]→[詳細設定]→[リセット オプション]**

2 **[すべてのデータを消去(出荷時リセット)]→[すべてのデータを消去]**

- 認証操作が必要なセキュリティ解除方法を設定している場合は、認証操作が必要です。

3 **[すべてのデータを消去]**

リセットが完了してしばらくたつと、本端末が再起動します。

- 初期化中に電源を切らないでください。

✔お知らせ

- 初期化後、タッチ操作が正しく動作しない場合などは、電源を入れ直してください。

診断データ送信

詳細な診断データを提供し、端末の品質向上に役立てます。

1 ホーム画面で→[設定]→[システム]→[詳細設定]→[診断データ送信]

2 [診断データ送信]をONにする→内容を確認して[同意する]

デバイス情報

電話番号やAndroid™ のバージョンなど、本端末に関する各種情報を表示します。

1 ホーム画面で→[設定]→[デバイス情報]

2 項目を確認

デバイス名：本端末の名前を設定します。
電話番号：自分の電話番号が表示されます。
緊急時情報：緊急時の初期対応に役立てられる血液型などの情報や、緊急時の連絡先を登録します。
法的情報：サードパーティ ライセンスや Google 利用規約などに関する詳細を表示します。
規制ラベル：技適マークや無線LAN（Wi-Fi）周波数帯など、各規制に関する詳細を表示します。
SIMのステータス：SIMカード内の情報（ネットワーク名や電話番号など）を表示します。
モデルとハードウェア／IMEI／Android バージョン／IPアドレス／Wi-Fi MACアドレス／Bluetoothアドレス／稼働時間／ビルド番号：各バージョンや番号などを表示します。

ファイル管理

本体（内部ストレージ）

お買い上げ時の本体メモリ（/storage/emulated/0/）のフォルダ構成と、各フォルダに保存されるデータは次のとおりです。

Alarms	アラーム音
Android	インストールしたアプリの一時ファイルなど
DCIM	カメラで撮影した静止画／動画など
Download	ブラウザなどでダウンロードしたファイル
Movies	動画（カメラで撮影した動画を除く）
Music	音楽ファイル
Notifications	通知音
Pictures	静止画（カメラで撮影した静止画を除く）
Podcasts	Podcast（インターネット経由で配信される番組など）のファイル
Ringtones	着信音

microSDカード（外部ストレージ）

本端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを本端末に取り込んだりできます。

- microSDカードについては、「microSDカード」をご覧ください。→P37

ファイル操作

本端末の本体メモリやmicroSDカードに保存されたデータの管理（フォルダ・ファイル名の変更／削除／コピー／移動など）ができます。

1 ホーム画面で⊞→[ファイル]

2 ≡→[F-41A]／[SDカード]→フォルダ／ファイルをロングタッチ

- ファイルをタップすると、ファイルの表示／再生ができます。
- ≡→［F-41A］／［SDカード］をタップすると、ストレージを切り替えることができます。
- ⋮→［新しいウィンドウ］をタップすると、複数のウィンドウを開くことができます。
- ⋮→［新しいフォルダ］をタップすると、新しいフォルダを作成できます。

3 目的の操作を行う

アプリで開く：⋮→［アプリで開く］→アプリを選択
並べ替え：⋮→［並べ替え...］→並べ替えの順を選択
すべて選択：⋮→［すべて選択］
コピー：⋮→［コピー...］→コピー先を選択→［コピー］
移動：⋮→［移動...］→移動先を選択→［移動］
圧縮：⋮→［圧縮］
名前の変更：⋮→［名前を変更］→名前を入力→［OK］
情報を見る：⋮→［情報を見る］
削除：🗑→［OK］
共有：<→画面の指示に従って操作

- フォルダの共有はできません。

データ通信

Bluetooth®通信

◆ Bluetooth機能の利用

本端末とBluetooth機器を接続してワイヤレスで通信したり、音声や音楽などを再生したりします。

- Bluetooth接続を行うと電池の消費が早くなりますのでご注意ください。
- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。

✔お知らせ

- 対応バージョン、プロファイルなどについては「主な仕様」をご覧ください。→P190
- Bluetooth機器のご使用にあたっては、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

❖ Bluetooth機能取り扱い上のご注意

- 他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。本端末とBluetooth機器の間に障害物がある場合や周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。
- 電気製品／AV機器／OA機器などからなるべく離して接続してください。電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください。他の機器の電源が入っているときは正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります。
- 放送局や無線機などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
- Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、電車内、航空機内、病院内、自動ドアや火災報知器から近い場所、ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する可能性のある場所では本端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。

❖ 無線LANとの電波干渉について

Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になる場合があります。この場合、無線LANの電源を切るか、本端末やBluetooth機器を無線LANから10m以上離してください。

◆ Bluetooth機能ON／OFF

Bluetooth機能を利用するときは、Bluetooth機能をONに設定してください。利用しないときは、電池の減りを防ぐためOFFに設定してください。

- Bluetooth機能ON／OFFの設定は、電源を切っても変更されません。

1 ホーム画面で→[設定]→[接続済みのデバイス]→[接続の設定]→[Bluetooth]

2 画面右上のボタンをタップしてON／OFFを設定

◆ Bluetooth機器との接続

Bluetooth機器を接続します。Bluetooth機器で通話したり、音声や音楽を再生したり、Bluetooth機器とデータを送受信したりすることができます。また、Bluetooth対応キーボードで本端末の文字入力ができます。

- あらかじめBluetooth機器を検出できる状態にしてください。
- 接続中はステータスバーにが表示されます。
- プロファイルがHFP／A2DPの場合、同時に接続できるBluetooth機器は2台です。
- Qualcomm® aptX™ audioを搭載しているBluetooth機器で、aptXオーディオコーデックを利用した音楽再生が可能です。

Qualcomm® aptX™

1 ホーム画面で→[設定]→[接続済みのデバイス]

2 [新しいデバイスとペア設定する]

3 検出されたBluetooth機器名をタップ→必要に応じてパスコード(PIN)を入力して[OK]／[ペア設定する]

■ 他のBluetooth機器から接続要求を受けた場合

Bluetoothのペア設定リクエスト画面が表示された場合は、必要に応じてパスコード（PIN）を入力して［OK］／［ペア設定する］をタップしてください。

◆ Bluetooth機器とのデータ送受信

「フォト」アプリ（→P106）や電話帳などのデータを送信したり、Bluetooth機器からデータを受信したりできます。

- あらかじめBluetooth機器を接続した状態または検出できる状態にしてください。

〈例〉「フォト」アプリのファイルを送信する

1 「フォト」アプリを開いて画像をタップ

2 →[Bluetooth]→[OK]

3 Bluetooth機器名をタップ

通知パネルを開くと送信完了を確認できます。

〈例〉Bluetooth機器からファイルを受信する

1 Bluetooth機器からファイルを送信

2 **ファイル着信通知後に通知パネルを開く→「着信ファイル」の[承諾]**

- 受信したファイルは、通知パネルを開いて「Bluetooth共有：受信したファイル」の通知をタップするか、ホーム画面で⊞→［設定］→［接続済みのデバイス］→［接続の設定］→［Bluetoothで受信したファイル］をタップしても確認できます。

◆ Bluetooth機器との接続解除

イヤホンマイクやキーボードなどのBluetooth機器を接続中の場合は、次の操作で接続を解除できます。

1 **ホーム画面で⊞→[設定]→[接続済みのデバイス]**

2 **接続中のBluetooth機器名／右側の⚙をタップ→[接続を解除]**

- 再接続する場合は、［以前接続されていたデバイス］欄の接続するBluetooth機器名をタップします。

◆ Bluetooth機器とのペアリング解除

1 **ホーム画面で⊞→[設定]→[接続済みのデバイス]**

2 **Bluetooth機器名／右側の⚙→[削除]→[このデバイスとのペア設定を解除]**

- Bluetooth機器との接続を解除している場合は、［以前接続されていたデバイス］欄のBluetooth機器名右側の⚙→［削除］→［このデバイスとのペア設定を解除］をタップして解除できます。

◆ Bluetooth機器の名前を変更

1 **ホーム画面で⊞→[設定]→[接続済みのデバイス]**

2 **Bluetooth機器名／右側の⚙→✎→機器名を入力→[名前を変更]**

- Bluetooth機器との接続を解除している場合は、［以前接続されていたデバイス］欄のBluetooth機器名右側の⚙→✎→機器名を入力→［名前を変更］をタップして変更できます。

NFC通信

NFCとはNear Field Communicationの略で、ISO（国際標準化機構）で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。非接触ICカード機能やReader／Writer機能、P2P機能などが本端末でご利用いただけます。
NFCの機能を利用して、他の対応機器とデータのやりとりができます。

- 対向機にかざす際の注意事項については、「対向機にかざす際の注意事項」をご覧ください。→P111

◆ Reader／Writer, P2P

Reader／Writer, P2P機能を搭載した端末との間でデータを送受信できます。

- Reader／Writer, P2Pを利用するには、あらかじめデータ交換を許可する設定を行っておく必要があります。
- 「NFC／おサイフケータイ ロック」を設定している場合は、Reader／Writer, P2Pを利用できません。
- アプリによっては、Reader／Writer, P2Pをご利用になれません。また、送受信できるデータはアプリによって異なります。
- すべてのReader／Writer, P2P機能を搭載した端末との通信を保証するものではありません。

1 ホーム画面で →［設定］→［接続済みのデバイス］→［接続の設定］→［NFC／おサイフケータイ 設定］

- パスワード設定画面が表示されたら、パスワードを設定してください。
- ［NFC／おサイフケータイ ロック］にチェックが付いている場合は、チェックを外します。

2 ［Reader／Writer, P2P］にチェックを付ける

外部機器接続

パソコンとの接続

◆ 本端末のデータをパソコンから操作

USBケーブル A to C 02（別売品）で本端末とパソコンを接続すると、本端末の内部ストレージやmicroSDカードのデータをパソコンから操作できます。

- Windows 8.1、Windows 10に対応しています。ただし、すべてのパソコンで動作を保証するものではありません。

1 **USBケーブル A to C 02のType-Cプラグを本端末のUSB Type-C接続端子に、USBケーブル A to C 02のUSBプラグをパソコンのUSBコネクタに差し込む**

2 **USB接続の用途を選択**

ファイル転送：MTP対応のファイル管理用ソフトウェアで音楽や動画などを転送できます。
USBテザリング：設定方法→P131
MIDI：本端末をMIDI入力に使用します。
PTP：MTP非対応のパソコンなどに静止画や動画を転送できます。
データ転送なし：充電のみ行います。

3 **目的の操作を行う**

✔**お知らせ**

- 本端末でmicroSDカードがマウントされていない場合は、パソコンからmicroSDカードを認識できません。その場合は、ホーム画面で⊞→［設定］→［ストレージ］→［SDカード］→［マウント］をタップしてからパソコンに接続します。

プリンタとの接続

◆ デフォルト印刷サービスでプリンタを接続

デフォルト印刷サービスではプリンタドライバをインストールすることなく、本端末から印刷することができます。

1 **ホーム画面で⊞→［設定］→［接続済みのデバイス］→［接続の設定］→［印刷］→［デフォルト印刷サービス］**

2 **画面右上のボタンをタップして［デフォルト印刷サービス］をONにする**

対応のプリンタが自動的に検出されます。

- お使いのプリンタが検出されない場合は、⋮→［プリンタを追加］をタップして手動でプリンタを追加してください。

◆ 印刷

〈例〉「Chrome」アプリで表示しているWebサイトを印刷する

1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→⋮→[共有...]→[Chrome 印刷]

接続したプリンタの印刷設定画面が表示されます。

2 各項目を設定

- 部数や用紙サイズなどを設定します。

3 印刷を実行

- 画面の指示に従って操作してください。

✔お知らせ

- 印刷可能なデータは、使用しているアプリの印刷機能への対応状況により異なります。

その他の機器との接続

◆ Wi-Fi接続でWi-Fi Miracast対応機器に表示

本端末とWi-Fi Miracast対応機器をWi-Fi接続して、テレビやディスプレイなどに動画、画像などを表示します。

1 ホーム画面で⊞→[設定]→[接続済みのデバイス]→[接続の設定]→[キャスト]

2 ⋮→[ワイヤレスディスプレイの有効化]にチェックを付ける

3 検出されたWi-Fi Miracast対応機器をタップ

Wi-Fi Miracast対応機器と切断：接続済みの機器をタップ→［接続を解除］

✔お知らせ

- HDCP非対応の機器と接続した場合、アプリによっては映像・音声が正しく出力されないことがあります。また、コンテンツによっては、コンテンツプロバイダから外部出力を禁止されていたり、性能上の問題から外部出力が抑止されていたりするものがあります。
- 接続中に電話着信があった場合、着信画面が接続した機器にも表示されます。
- 一部のアプリでは、接続した機器にコンテンツが表示され、本端末で再生などの操作ができます。

海外利用

国際ローミング（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）とは、日本国内で使用している電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用になれるサービスです。電話、SMSは設定の変更なくご利用になれます。
国際ローミング（WORLD WING）の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
https://www.nttdocomo.co.jp/service/world/roaming/

■ 対応ネットワークについて

本端末はLTEネットワーク、3GネットワークおよびGSM／GPRSネットワークのサービスエリアでご利用になれます。また、3G850MHz／GSM850MHzに対応した国・地域でもご利用になれます。

✔お知らせ

- 国番号／国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号／接続可能な国・地域および海外通信事業者は、ドコモのホームページをご確認ください。

海外で利用可能なサービス

主な通信サービス	LTE	3G	3G850	GSM (GPRS)
電話	○	○	○	○
SMS	○	○	○	○
パケット通信※	○	○	○	○

※ ローミング時にパケット通信を利用するには、データローミングの設定をONにしてください。→P171

✔お知らせ

- 接続する海外通信事業者やネットワークによりご利用になれないサービスがあります。
- 接続している通信事業者名は、パネルスイッチ（→P60）の画面上部に表示されます。

海外でご利用になる前に

◆ 出発前の確認

海外でご利用になる際は、日本国内で次の確認をしてください。

■ ご契約について

WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 充電について

充電についてはドコモのホームページをご確認ください。

■ 料金について

- 海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は日本国内とは異なります。詳細はドコモのホームページをご確認ください。
- ご利用のアプリによっては自動的に通信を行うものがありますので、パケット通信料が高額になる場合があります。各アプリの動作については、お客様ご自身でアプリ提供元にご確認ください。

◆ 事前設定

■ ネットワークサービスの設定について

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス、転送でんわサービス、番号通知お願いサービスなどのネットワークサービスをご利用になれます。ただし、一部のネットワークサービスはご利用になれません。

- 海外でネットワークサービスをご利用になるには、［遠隔操作設定］を開始にする必要があります。渡航先で「遠隔操作設定」を行うこともできます。日本国内から（→P83）、海外から（→P175）
- 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

◆ 滞在国での確認

海外に到着後、本端末の電源を入れると、自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

■ 接続について

ホーム画面で→［設定］→［ネットワークとインターネット］→［モバイル ネットワーク］→［詳細設定］をタップして、［ネットワークを自動的に選択］をONにしている場合は、最適なネットワークを自動的に選択します。

◆ 海外で利用するための設定

- SIMロックを解除して他社のSIMカードを使用しデータ通信を行う場合は、アクセスポイント（APN）を設定してから操作してください。→P128

❖ データローミングの設定

海外でパケット通信を行うためには、データローミングの設定をONにする必要があります。

1 **ホーム画面で→［設定］→［ネットワークとインターネット］→［モバイル ネットワーク］**

2 **［データローミング］→注意画面の内容を確認して［OK］**

❖通信事業者の設定

お買い上げ時は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。手動でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。

1 **ホーム画面で田→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[モバイル ネットワーク]→[詳細設定]**

2 **[ネットワークを自動的に選択]をOFFにする**

利用可能なネットワークを検索して表示します。

- ネットワーク検索でエラーが発生する場合は、[モバイルデータ]（パケット通信）をOFFにしてから再度実行してください。→P128

3 **通信事業者のネットワークを選択**

✔お知らせ

- 自動でネットワークを切り替える場合は、操作2で[ネットワークを自動的に選択]をONにしてください。

❖優先ネットワークタイプの設定

1 **ホーム画面で田→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[モバイル ネットワーク]→[詳細設定]→[優先ネットワークタイプ]**

2 **[4G/3G/GSM]／[3G/GSM]／[GSM]**

✔お知らせ

- 優先ネットワークタイプを自動に設定する場合は、操作2で[4G/3G/GSM]をタップしてください。

❖日付と時刻

[日付と時刻]の[ネットワークの時刻を使用する]、[タイムゾーンを自動設定]をONにしている場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます。

- 海外通信事業者のネットワークによっては、時刻・時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- 「日付と時刻」→P158

❖お問い合わせについて

- 本端末やドコモnanoUIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、本書巻末をご覧ください。My docomoからも利用中断の手続きは可能です。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

滞在先で電話をかける／受ける

◆ 滞在国外（日本含む）に電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、滞在国から他の国へ電話をかけることができます。

- 先頭に「+」を付けてから相手の国番号と電話番号を入力すると、滞在先から日本、または他の国へ簡単に国際電話をかけることができます。
- 接続可能な国および通信事業者などの情報については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 ホーム画面で→[かんたん電話]

- 通話履歴が表示された場合は、［ダイヤル］をタップします。

2 +（「0」をロングタッチ）→国番号、地域番号（市外局番）、相手先電話番号の順に入力

- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、先頭の「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要になる場合があります。
- 電話をかける相手が海外でのWORLD WING利用者の場合は、滞在国内外に関わらず国番号として「81」（日本）を入力してください。

3 [電話をかける]

4 通話が終了したら

✔お知らせ

- ［国際ダイヤルアシスト］の［自動変換機能］をONにしている場合、日本への発信は日本国内のときと同様に市外局番から入力→［電話をかける］→［変換後の番号で発信］をタップします。

◆ 国際ダイヤルアシストを利用して電話をかける

滞在国から他の国へ電話をかける場合、国際ダイヤルアシストを利用すると、簡単な操作で国際電話をかけることができます。

- あらかじめ［国際ダイヤルアシスト］の［自動変換機能］をONに設定する必要があります。→P175
- 地域番号の先頭の「0」があらかじめ設定した国番号に自動的に変換されます。

1 ホーム画面で→[かんたん電話]

2 地域番号（市外局番）、相手先電話番号の順に入力

3 [電話をかける]

- 「国際ダイヤルアシスト」画面が表示された場合は［発信］をタップします。

4 通話が終了したら

◆ 滞在国内に電話をかける

日本国内で電話をかける操作と同様に、相手の一般電話や携帯電話の番号を入力するだけで電話をかけることができます。

1 ホーム画面で⊞→[かんたん電話]

2 電話番号を入力

- 一般電話にかける場合は、地域番号（市外局番）、相手先電話番号の順に入力します。

3 [電話をかける]

- 「国際ダイヤルアシスト」画面が表示された場合は［元の番号で発信］をタップします。

4 通話が終了したら⊖

◆ 海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

相手が国際ローミング中の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として電話をかけてください。

- 滞在先にかかわらず日本経由での通信となるため、日本への国際電話と同じように「+」と「81」（日本への国番号）を先頭に付け、先頭の「0」を除いた電話番号を入力して電話をかけてください。

◆ 滞在先で電話を受ける

海外でも日本にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

✔お知らせ

- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通信料がかかり、着信側には着信料がかかります。

❖ 相手からの電話のかけかた

■ 日本国内から滞在先に電話をかけてもらう場合

日本国内の一般電話、携帯電話から滞在先の本端末に電話をかけてもらう場合は、日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルしてもらうだけで電話をかけることができます。

■ 日本以外から滞在先に電話をかけてもらう場合

滞在先に関わらず日本経由で電話をかけるため、発信国の国際電話アクセス番号および「81」（日本の国番号）をダイヤルしてもらう必要があります。

発信国の国際電話アクセス番号-81-90（または80、70）-XXXX-XXXX

国際ローミングの設定

国際ローミングサービスを利用するときの設定を行います。

- 海外通信事業者によっては設定できない場合があります。

1 **ホーム画面で⊞→[通話設定]→[ネットワークサービス・海外設定]→[海外設定]**

2 **各項目を設定**

ローミング時着信規制：国際ローミング中に着信を規制することができます。
ローミング着信通知：国際ローミング中に圏外などで着信できなかった場合にSMSでお知らせします。
ローミングガイダンス：国際ローミング中に電話をかけてきた相手に、国際ローミング中であることをお知らせするガイダンスを流すことができます。
ネットワークサービス：設定方法→P175

◆ 国際ダイヤルアシストの設定

1 **ホーム画面で⊞→[通話設定]→[国際ダイヤルアシスト]**

2 **項目を選択**

自動変換機能：国番号を自動で追加します。
国番号：自動変換機能で使用される国番号を選択します。

◆ ネットワークサービス（海外）の設定

滞在国で利用する留守番電話サービスなどのネットワークサービスを設定します。

- あらかじめ［遠隔操作設定］を開始にする必要があります。→P83
- 海外から操作した場合は、滞在国から日本までの通話料がかかります。
- 海外通信事業者によっては設定できない場合があります。

1 **ホーム画面で⊞→[通話設定]→[ネットワークサービス・海外設定]→[海外設定]→[ネットワークサービス]**

2 **サービスを選択**

遠隔操作（有料）：遠隔操作を開始するかを設定します。
番号通知お願いサービス（有料）：発信者番号が非通知の電話がかかってきた場合に発信者に番号通知を依頼するガイダンスを流します。
ローミング着信通知（有料）：設定方法→P175
ローミングガイダンス（有料）：設定方法→P175
留守番電話サービス（有料）：電波が届かないところにいたり、電源を切っている場合などに電話をかけてきた方の伝言メッセージをお預かりします。（お申し込みが必要）
転送でんわサービス（有料）：かかってきた電話を、あらかじめ登録した他の携帯電話などに転送することができます。（お申し込みが必要）

3 **画面の指示に従って操作**

4 **音声ガイダンスに従って操作**

帰国後の確認

日本に帰国後は渡航前の設定に戻してください。

■ 海外でパケット通信を利用した場合

［モバイル ネットワーク］の［データローミング］をOFFに設定します。→P171

■ 帰国後に自動的にドコモのネットワークに接続できない場合

- ［モバイル ネットワーク］の［詳細設定］で［優先ネットワークタイプ］を［4G/3G/GSM］に設定します。→P172
- ［モバイル ネットワーク］の［詳細設定］で［ネットワークを自動的に選択］をONにします。→P172

付録

トラブルシューティング（FAQ）

◆ 故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったときに、お客様ご自身で診断することができます。
  詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。
- ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。→P184
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、本書巻末の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」またはドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源・充電

●本端末の電源が入らない

電池切れになっていませんか。→P39

●画面が動かない／電源が切れない

- 画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に⏻（電源キー）と音量キーの上を同時に8秒以上押し、画面が消灯した後に指を離すと強制的に電源を切ることができます。
- ⏻（電源キー）と音量キーの上を同時に32秒以上押し、起動画面が表示された後に指を離すと強制的に再起動させることができます。

※ 強制的に電源を切ったり、再起動させたりする操作のため、データおよび設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

●充電ができない（お知らせLEDが点灯しない、または点滅する）

- アダプタの電源プラグがコンセントまたはアクセサリーソケットに正しく差し込まれていますか。
- アダプタと本端末が正しくセットされていますか。→P40
- ACアダプタ（別売品）をご使用の場合、ACアダプタのType-Cプラグが本端末に正しく接続されていますか。→P40
- 本端末をパソコンでUSB接続して充電を行っている場合、パソコンの電源が入っていますか。
- 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇してお知らせLED（赤色）が消える場合があります。温度が高い状態では安全のために充電を停止しているため、ご使用後に本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

■ 端末操作・画面

●タップしたり、キーを押したりしても動作しない

- 電源が切れていませんか。→P41
- スリープモードになっていませんか。⏻（電源キー）を押して解除してください。→P41
- ［手袋タッチ］をONにしているときに、手袋をした指を垂直に立てて操作すると動作しにくい場合があります。指を寝かせて指の腹をタッチパネルに接触させて操作してください。→P151

●電池の使用時間が短い

- 複数のアプリを起動していると、電池の消費が増えて使用時間が短くなることがあります。次の方法で使用していないアプリを終了してください。
  - 実行中のアプリを終了→P63
  - ◀(バック）でアプリを終了
- 電池の消費を抑える設定などarrowsについてのFAQや便利な使いかたについては、arrows lifeをご覧ください。
- 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。圏外が続く場所では機内モードをONにするか、電源を切ってください。→P41、P132
- 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。
- 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電してもお買い上げ時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、本書巻末の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」またはドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- フル充電時の充電量を85%に抑えることにより、内蔵電池の寿命を伸ばすことができます。→P136
- Wi-Fi機能やBluetooth機能を使用していないときは、OFFに設定してください。→P125、P165

●ドコモnanoUIMカードが認識されない

ドコモnanoUIMカードを正しい向きで取り付けていますか。→P35

●タッチパネルをタップしたとき／キーを押したときの画面の反応が遅い

本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。

●操作中・充電中に熱くなる

操作中や充電中、充電しながら電話や動画の視聴などを長時間行った場合などには、本端末や内蔵電池、アダプタが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。

●操作中・充電中に熱くなり、機能が利用できない

本端末の温度が高い状態が続く場合は、充電またはご使用中の一部機能を利用できないことがあります。

●端末が熱くなり、電源が切れる

複数のアプリの起動、カメラの使用やインターネット接続などを長時間行った場合など、本端末の温度が高い状態が続く場合は、充電や機能が停止したり、画面の明るさを調整したりすることがあります。また、やけどを防ぐため本端末の電源が切れることがあります。

●ディスプレイが暗い

- 次の設定を変更していませんか。
  - 非常用節電モード→P50
  - 画面の明るさ→P137
  - 画面消灯→P138
  - バッテリーセーバー→P136
- 本端末の温度が高い状態が続く場合は、ディスプレイが暗くなることがあります。

●ディスプレイがちらつく

［明るさの自動調節］をONにしていると、ディスプレイの照明が周囲の明るさによって自動的に変更されたとき、ちらついて見える場合があります。→P137

●ディスプレイに残像が残る

しばらく同じ画面を表示していると、何か操作して画面が切り替わったとき、前の画面表示の残像が残る場合があります。

●時計がずれる

長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。［日付と時刻］の［ネットワークの時刻を使用する］／［タイムゾーンを自動設定］がONになっていることを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。→P158

●端末動作が不安定

- お買い上げ後に端末へインストールしたアプリにより不安定になっている可能性があります。セーフモード（お買い上げ時に近い状態で起動させる機能）で起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。
  次のどちらかの方法でセーフモードを起動してください。
  - 電源が入っている状態で、（電源キー）を押す（1秒以上）→［電源を切る］／［再起動］をロングタッチ→［OK］
  - 電源を切った状態で（電源キー）を2秒以上押し、docomoのロゴ表示が消えたらすぐに音量キーの下を押し続ける

  セーフモードが起動すると画面左下に「セーフモード」と表示されます。セーフモードを終了させるには、電源を入れ直してください。

※事前に必要なデータをバックアップしてからセーフモードをご利用ください。

※セーフモードは通常の起動状態ではありません。通常ご利用になる場合にはセーフモードを終了し、ご利用ください。

※アプリやウィジェットによっては非表示になる場合があります。

●タップしても正しく操作できない

- 爪の先で操作したり、異物を操作面に乗せたままで操作したりしていませんか。
- ディスプレイに保護シートやシールなどを貼っていませんか。保護シートの種類によっては、正しく操作できない場合があります。
- タッチパネルが濡れたままで操作したり、指が汗や水などで濡れた状態で操作したりしていませんか。
- 水中で操作していませんか。
- 指で直接タッチパネルに触れて操作してください。

●本端末の動作が遅くなった／アプリの動作が不安定になった／一部のアプリを起動できない

本端末のメモリの空き容量が少なくなると動作が安定しません。空き容量が少ない旨のメッセージが表示された場合は、不要なアプリを削除してください。→P109、P134

●アプリが正しく動作しない（アプリが起動できない／エラーが頻繁に起こる）

無効化されているアプリはありませんか。無効化されているアプリを有効にしてから、再度操作してください。→P135

●データが正常に表示されない／タッチパネルを正しく操作できない

電源を入れ直してください。→P41

■ 通話・音声

●をタップしても発信できない

機内モードを設定していませんか。→P132

●通話中、相手の声が聞こえにくい／相手の声が大きすぎる

- 通話音量を調節してください。→P80
- はっきりボイスをONにすると相手の声が聞き取りやすくなります。→P81

●通話ができない（場所を移動してもの表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）

- 電源を入れ直すか、ドコモnanoUIMカードを取り付け直してください。→P35、P41
- 電波の性質により「圏外ではない」「電波状態はを表示している」状態でも、発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。
- 着信拒否設定など着信制限を設定していませんか。→P83
- ［優先ネットワークタイプ］の種類（4G／3G／GSM）を変更していませんか。→P172
- 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

●着信音が鳴らない

- ［着信音の音量］を0にしていませんか。→P139
- 次の機能を起動していませんか。
  - マナーモード→P140
  - 機内モード→P132
- 着信拒否設定など着信制限を設定していませんか。→P83
- 次の設定を0秒にしていませんか。
  - 伝言メモの［着信呼出設定］→P82
  - 留守番電話サービスの［呼出時間設定］→P82
  - 転送でんわサービスの［呼出時間］→P82

●電話がつながらない

- ドコモnanoUIMカードを正しい向きで取り付けていますか。→P35
- 市外局番から入力していますか。
- 機内モードを設定していませんか。→P132

■ メール

●メールを自動で受信しない

- 非常用節電モードを設定していませんか。→P50

■ カメラ

●カメラで撮影した静止画や動画がぼやける

カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。

■ おサイフケータイ

●おサイフケータイが使えない

- おまかせロックを設定するとステータスバーにまたはが表示され、NFC／おサイフケータイ ロックの設定に関わらずおサイフケータイの機能が利用できなくなります。
- NFC／おサイフケータイ ロックを設定していませんか。→P112
- 本端末のマークがある位置を読み取り機にかざしていますか。→P110、P111

■ 海外利用

●海外で、が表示されているのに本端末が使えない

WORLD WINGのお申し込みをされていますか。
WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。

●海外で、が表示され本端末が使えない

- 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、ドコモのホームページをご覧ください。
- ［優先ネットワークタイプ］の種類を［4G/3G/GSM］に変更してください。→P172
- ［モバイル ネットワーク］の［ネットワークを自動的に選択］をONに設定してください。→P172
- 本端末の電源を入れ直すことで回復することがあります。→P41

●海外で利用中に、突然本端末が使えなくなった

利用停止目安額を超えていませんか。国際ローミング（WORLD WING）のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。

●海外で電話がかかってこない

ローミング時着信規制を［規制開始］にしていませんか。→P175

●相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない

相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、本端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

●海外でデータ通信ができない

データローミングの設定を確認してください。→P171

■ データ管理

●microSDカードに保存したデータが表示されない

microSDカードを取り付け直してください。→P38

●データ転送が行われない

USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

●画像が表示されない

画像データが壊れている場合は、画像が表示されません。「ファイル」アプリなどから開くと、黒い画面が表示される場合があります。

■ Bluetooth機能

● **Bluetooth通信対応機器と接続ができない／サーチしても見つからない**
Bluetooth通信対応機器（市販品）側を検出できる状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して、再度機器登録を行う場合には本端末とBluetooth通信対応機器（市販品）の両方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。→P165、P166

● **カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態で本端末から発信できない**
相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、本端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。

■ その他

● **USBマスストレージに保存したデータが表示されない**
USBマスストレージを取り付け直してください。

● **市販の外部機器（USBマウス、キーボードなど）が認識されない**
- 本端末にUSB機器を接続後、次の操作でUSB機器の使用を開始してください。
  ホーム画面で→［設定］→［接続済みのデバイス］→［接続の設定］→［USB機器の検出］→［USB機器の検出］をタップ
- Type-C用変換アダプタ（市販品）を使用している場合は、Type-C用変換アダプタと外部機器を接続後、本体に接続してください。

※ 市販品のすべてを保証するものではありません。HOST機能（OTG機能）対応と記載があるものをご使用ください。

◆ エラーメッセージ

● **空き容量低下**
端末の空き容量が低下しています。このままご使用になられると一部機能やアプリケーションが動作しない場合があります。
設定画面を起動して不要なアプリを選択し、「アンインストール」を押してアプリを削除してください。
端末の空き容量が低下している場合に表示されます。［設定画面］をタップして不要なアプリを削除してください。また、実行中のアプリを終了したり、アプリのキャッシュを消去したりすることで、端末の空き容量を増やすことができます。→P63、P134

● **指紋ハードウェアは使用できません**
指紋センサーが正常に動作できない場合に表示されます。電源を入れ直しても指紋センサーが利用できなくなった場合は、お近くのドコモショップなど窓口までお問い合わせください。

● **音声サービスと緊急通報のブロック／音声通話サービス停止／緊急通報のブロック／モバイルデータ サービスのブロック**
音声回線／パケット通信設備が故障、または音声回線ネットワーク／パケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

● **PUKコードがロックされています**
ドコモnanoUIMカードのPINロック解除コード（PUK）の入力に10回連続して間違えた場合に表示されます。ドコモショップなど窓口にお問い合わせください。→P45

● **SIMカードなし**
ドコモnanoUIMカードが正しく取り付けられているかを確認してください。→P35

● **SIMカードはロックされています**
PINコードを有効にしているときに電源を入れると表示されます。正しいPINコードを入力してください。
→P46

● **SIMカードはPUKでロックされています**
ドコモnanoUIMカードがPINロック解除コード（PUK）でロックされているときに表示されます。正しいPINロック解除コード（PUK）を入力してください。→P46

● **SIM card 異常**
SIMカードが取り外されました。
端末を再起動します。
SIM／SDカード取付時はトレイ（Tray）をご使用ください。
ドコモnanoUIMカードのICが汚れなどで正常に読み込めないときや、電源が入っている状態でドコモnanoUIMカードを取り外したときに表示されることがありますが、故障ではありません。ドコモnanoUIMカードのICは定期的に清掃してください。また、電源が入っている状態ではドコモnanoUIMカードを取り外さないでください。正常に動作しなくなる場合があります。

● **SD Card 異常**
SDカードが取り外されました。
データの損失を防ぐため、端末の電源を切ってからSDカードを抜いて下さい。
電源が入っている状態ではmicroSDカードを取り外さないでください。データが破損したり、正常に動作しなくなったりする場合があります。

● **ダウンロード処理中にエラーが発生しました。**
同じ理由のエラーが複数回表示される場合は、本端末を再起動の上、再度アップデートを実行してください。

● **充電異常を検知したため充電を停止しました。接続している機器やケーブルがある場合は抜いてください。**
ACアダプタの異常などにより電圧が低下している可能性があります。接続しているACアダプタや機器のケーブルを抜いてください。

ソフトウェアアップデート

◆ソフトウェアアップデートについて

ソフトウェアアップデート※とは、本端末をより安全で快適にご利用いただくためにソフトウェアの更新を行う機能です。以下の内容が含まれますので、必ず最新ソフトウェアへのアップデートをお願いいたします。
※本端末ではシステムアップデートと表示されます。

ソフトウェアアップデートの種類としては以下の4つがあります。

■ Android OS バージョンアップ

Android OS およびプリインストールされているアプリや端末機能のバージョンアップを行うことで、機能・操作性・品質などが向上し、本端末をより快適に安心してご利用いただけます。

■ 新機能追加

プリインストールされているアプリや端末機能を更新することで、機能・操作性が向上し、本端末をより快適にご利用いただけます。

■ 品質改善

プリインストールされているアプリや端末機能を更新することで、品質が向上し、本端末をより快適にご利用いただけます。

■ セキュリティパッチの更新

セキュリティパッチの更新を行うことで、脆弱性を対処するためのソフトウェアを適用することができます。適用することで本端末をより安心してご利用いただけます。

本端末に提供されている具体的なソフトウェアアップデートの内容および期間については、ドコモのホームページをご覧ください。

❖ご利用条件

- Xi／FOMAでのパケット通信をご利用の場合、モバイル ネットワーク設定でアクセスポイントをspモードもしくはmoperaに設定してください。
- Xi／FOMAでのパケット通信をご利用の場合、ダウンロードによる通信料金は発生しません。
- 国外でソフトウェアアップデートを行う場合は、ドコモnanoUIMカードを挿入した状態でWi-Fi接続が必要です。
- ソフトウェアが改造されているときはアップデートができません。

◆ ソフトウェアアップデートを行う

❖更新の開始

更新を開始する方法としては以下のいずれかの操作を行います。

■ 更新をお知らせする通知から

本端末のステータスバーから通知を選択し、更新を開始します。

■ 定期的に表示される画面から

本端末が更新可能になると、確認画面が表示される場合があります。その確認画面にて動作を選択いただき、更新を進めてください。

■ 本体設定から

ホーム画面で→［設定］→［システム］→［詳細設定］→［システム アップデート］をタップし、更新を開始します。

※ アップデートが不要な場合、「お使いのシステムは最新の状態です」と表示されます。

❖更新の流れ

更新は以下の流れで行われます。
詳細な操作手順は本端末の表示内容に従ってください。

1 更新ファイルのダウンロードおよびインストール

- 更新の種類によっては、更新ファイルのダウンロードとインストールが自動的に行われます。
- 更新ファイルのダウンロードとインストールの前に通知もしくは確認画面が表示される場合があります。いずれかが表示された場合は、表示されている手順に従いシステムアップデートを進めてください。

※ 通信料金が発生すると表示される場合がありますが、spモードもしくはmoperaに設定の場合、通信料金は発生しません。

2 再起動

更新の準備が整い次第、通知もしくは確認画面が表示されます。
［今すぐ再起動］を選択すると、すぐに本端末が再起動します。

3 更新完了の通知

- 更新が完了すると、本端末に完了画面が表示されます。
- 更新の種類が Android OS バージョンアップの場合は、更新完了後にお客様自身でインストールされたアプリのアップデートを確認してください。アップデートを行わないと動作が不安定になることや、機能が正常に動作しなくなることがあります。

❖注意事項

- ソフトウェアアップデート完了後は、以前のソフトウェアへ戻すことはできません。
- ソフトウェアアップデート中、本端末固有の情報（機種や製造番号など）が当社のサーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェアアップデート以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェアアップデート中は一時的に各種機能を利用できない場合があります。
- ソフトウェアアップデートを行うと、一部の設定が初期化されることがありますので、再度設定を行ってください。
- PINコードが設定されているときは、書き換え処理後の再起動の途中で、PINコードを入力する画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- ソフトウェアアップデートに失敗し、一切の操作ができなくなった場合には、お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口もしくはオンライン修理受付サービスまでご相談ください。
- ソフトウェアアップデートは、本端末に保存されたデータを残したまま行うことができますが、お客様の端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータは事前にバックアップを取っていただくことをおすすめします。各アプリの持つデータについて、バックアップ可能な範囲はアプリにより異なります。各アプリでのバックアップ方法は、各アプリの提供元にご確認ください。
- 以下の場合はソフトウェアアップデートができません。事象を解消後に再度お試しください。
  - 通話中
  - 日付・時刻を正しく設定していないとき
  - 必要な電池残量がないとき
  - 内部ストレージに必要な空き容量がないとき
  - 国際ローミング中
- ソフトウェアアップデート中は電源を切らないでください。
- 更新ファイルのダウンロード中は電波状態の良い場所で、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、アップデートを中断することがあります。

保証とアフターサービス

❖保証について

- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- 本端末の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いします。

※ 本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。

※ 本端末はドコモクラウドをご利用いただくことにより、電話帳などのデータをバックアップしていただくことができます。

■ 無料修理規定

① 保証期間内に取扱説明書などの注意に従った使用状態のもとで、故障が発生した場合は無料で修理いたします。(代替品と交換となる場合があります。)

② 保証期間内でも以下の場合は無料修理対象外となる場合がございます。

1. 改造（ソフトウェアの改造も含む）による故障、損傷。
2. 落下や、外部からの圧力などで本端末、ディスプレイおよび外部接続端子などが破損したことによる故障、損傷、または本端末内部の基板が破損、変形したことによる故障、損傷。
3. 火災、公害、異常電圧、地震、雷、風水害その他天災地変などによる故障、損傷。
4. 本端末に接続している当社指定以外の機器、消耗品による故障、損傷。
5. 本端末内部への水の浸入による故障、損傷、本端末の水濡れシールが反応している場合、本端末に水没・水濡れなどの痕跡が発見された場合、または結露などによる腐食が発見された場合。
6. ドコモ指定の故障取扱窓口以外で修理を行ったことがある場合。

③ 本保証は日本国内においてのみ有効です。

④ 本保証は明示した期間、条件においての無料修理をお約束するものでお客様の法律上の権利を制限するものではございません。

⑤ お預かり品に故障箇所が複数あった場合、一部分の修理だけでは製品の品質が保証できないため、全て修理してご返却いたします。その際は無料修理対象外となる場合がございます。

⑥ 修理実施の有無に関わらず、動作確認試験を実施したお預かり品は、最新のソフトウェアに更新してご返却いたします。

⑦ 修理を実施した場合の修理箇所や修理実施日は、修理完了時にお渡しする修理結果票でご確認ください。

<販売元>
株式会社NTTドコモ
東京都千代田区永田町2-11-1

❖アフターサービスについて

■ 調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください（→P177）。それでも調子がよくないときは、本書巻末の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」にご連絡の上、ご相談ください。

■ お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後4年間を基本としております。
修理受付対応状況については、ドコモのホームページをご覧ください。
ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、詳細はドコモ指定の故障取扱窓口へお問い合わせください。

■ お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
- 以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
  - ディスプレイ部やキー部にシールなどを貼る
  - 接着剤などにより本端末に装飾を施す
  - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
- 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 本端末に付いている銘板プレートは、取り外さないでください。
  銘板プレートが故意に取り外されたり、付け替えられた場合など、銘板プレートの内容が確認できないときは、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、その場合は再度設定を実施いただくようお願いいたします。その際、設定によってはパケット通信料が発生する場合があります。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末にキャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。

- 本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、お早めにドコモ指定の故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

お客様が作成されたデータおよびダウンロード情報などについて

本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。データの再ダウンロードにより発生するパケット通信料は、当社では補償いたしかねますのであらかじめご了承ください。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

あんしん遠隔サポート

お客様の端末上の画面をあんしん遠隔サポートセンターのオペレーターと共有することで、端末操作設定やアプリの使い方、パソコンなどの周辺機器との接続に関する操作サポートを受けることができます。

- ドコモnanoUIMカード未挿入時、国際ローミング中、機内モードなどではご利用できません。
- あんしん遠隔サポートはお申し込みが必要な有料サービスです。
- 一部サポート対象外の操作・設定があります。
- あんしん遠隔サポートの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

◆ オペレーターとの画面共有（電話でのお問い合わせ）

1 あんしん遠隔サポートセンターへ電話

ドコモの携帯電話からの場合：（局番なしの）15710（無料）
一般電話などからの場合：0120-783-360
受付時間　午前9:00～午後8:00（年中無休）

- 本端末からあんしん遠隔サポートセンターへ電話する場合は、ホーム画面で→［遠隔サポート］→［電話で問い合わせる］→をタップします。

2 ホーム画面で→［遠隔サポート］

3 ［接続画面に進む］→［同意する］

4 ドコモからご案内する接続番号を入力→［開始］

5 接続後、遠隔サポートを開始

◆ Q&Aサイト／LINEを利用

あんしん遠隔サポートご契約者様専用のQ&Aサイトのご利用や、LINEでオペレーターにお問い合わせいただくこともできます。

- LINEでのお問い合わせでは、画面共有はご利用いただけません。

❖Q&Aサイトで調べる

1 ホーム画面で→[遠隔サポート]

2 [Q&Aサイト／アプリで調べる]

❖LINEでのお問い合わせ

1 ホーム画面で→[遠隔サポート]

2 [LINEで問い合わせる]

主な仕様

ソフトウェアアップデートなどにより、変更が生じる場合があります。最新の情報は、ドコモのホームページをご覧ください。

■本体

品名			F-41A
サイズ			高さ約147mm×幅約70mm×厚さ約8.9mm
質量			約144g
ディスプレイ		サイズ	約5.6インチ
		種類	有機EL
		解像度（ピクセル数　横×縦）	Full HD+（1080×2220）
		発色数	16777216色
内蔵メモリ			RAM：3GB ROM：32GB※1
バッテリー容量			2780mAh
連続待受時間（静止時）※2、3		4G（LTE）	約620時間
連続通話時間※3、4	4G（LTE）	LTE（VoLTE）	約1230分
		LTE（VoLTE（HD+））	約1100分
充電時間			ACアダプタ 07：約190分

無線LAN	対応規格	IEEE802.11a/b/g/n/ac準拠 (IEEE802.11n対応周波数帯：2.4GHz/5GHz)
	MIMO対応	-
	MU-MIMO（クライアント）対応	○
	MIMO対応規格	-
	MU-MIMO（クライアント）対応規格	IEEE802.11ac
Bluetooth機能	バージョン	4.2※5
	出力	Power Class 1
	対応プロファイル※6／コーデック	HFP（1.7）※7、HSP（1.2）、 OPP（1.2）、SPP（1.2）、 HID（1.0）、A2DP（1.3）※8、AVRCP（1.6）、PBAP（1.2）、PAN（1.0）※9、HOGP（1.0）
イヤホンマイクジャック	端子径	3.5mmステレオミニプラグ
	極数	4極

カメラ	撮像素子	種類	アウトカメラ：裏面照射積層型CMOS インカメラ：裏面照射型CMOS
		サイズ	アウトカメラ：1/3.0インチ インカメラ：1/4.0インチ
	有効画素数		アウトカメラ：約1310万画素 インカメラ：約810万画素
	記録画素数（最大時）		アウトカメラ：約1310万画素 インカメラ：約810万画素
	記録ファイル形式	動画	MP4
		静止画	JPEG
	動画1件あたりの最大動画撮影時間		約36分※10
	ズーム（デジタル）	静止画	アウトカメラ：最大約8.0倍 インカメラ：－
		動画	アウトカメラ：最大約8.0倍 インカメラ：－

動画再生	**コーデック**	H.263、H.264、H.265、MPEG-2、MPEG-4、VP8、VP9
音楽再生	**コーデック**	AAC、HE-AAC v1、HE-AAC v2、AAC ELD、xHE-AAC、AMR-NB、AMR-WB、FLAC、MP3、MIDI、Vorbis、PCM、Opus、AIFF、ALAC
マルチリンガル機能	**表示言語**	日本語／英語
	入力言語	日本語／英語
伝言メモ	**保存可能件数**	最大10件
	1件あたりの最大録音時間	最大1分

※1 メモリ容量は、撮影した動画や静止画、ダウンロードしたアプリやデータなどの保存にすべての容量を使用することはできません。
使用可能な空き容量については、「ストレージ」をご覧ください。→P141

※2 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。設定状況、使用環境や通話・メール・カメラなどのご利用頻度により、大きく変動します。

※3 各種機能のご利用頻度が多い場合、実際の時間は半分以下になることがあります。

※4 連続通話時間は、設定状況、使用環境や通話・メール・カメラなどのご利用頻度により、大きく変動します。

※5 本端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認し、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なる場合や接続してもデータのやりとりができない場合があります。

※6 Bluetooth機器の接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。

※7 mSBC（16kHz）およびCVSDに対応しています。

※8 音声コーデックaptX、SBCに対応しています。

※9 PAN-NAP、PANUに対応しています。

※10 撮影サイズがFull HD（1920×1080）の場合の撮影時間です。

携帯電話機の比吸収率（SAR）

この機種F-41Aの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.487W/kg※2、身体に装着した場合のSARの最大値は0.323W/kg※3です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

https://www.who.int/peh-emf/publications/factsheets/en/

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm

一般社団法人電波産業会のホームページ

https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html

ドコモのホームページ

https://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/

富士通のホームページ

https://www.fmworld.net/product/phone/sar/

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

※2 LTE/FOMAと同時に使用可能な無線機能を含みます。

※3 LTE/FOMAと同時に使用可能な無線機能を含みます。

Specific Absorption Rate (SAR) of Mobile Phones

This model F-41A mobile phone complies with the Japanese technical regulations and the international guidelines regarding human exposure to radio waves.

This mobile phone was designed in observance of the Japanese technical regulations regarding exposure to radio waves*1 and the limits of exposure recommended in the international guidelines, which are equivalent to each other. The international guidelines were set out by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is in collaboration with the World Health Organization (WHO), and the permissible limits include substantial safety margins designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health conditions.

The technical regulations and the international guidelines set out the limits of exposure to radio waves as the Specific Absorption Rate, or SAR, which is the value of absorbed energy in any 10 grams of human tissue over a 6-minute period. The SAR limit for mobile phones is 2.0 W/kg.

The highest SAR value for this mobile phone when tested for use near the head is 0.487 W/kg*2, and that when worn on the body is 0.323 W/kg*3. There may be slight differences of the SAR values in individual product, but they all satisfy the limit. The actual value of SAR of this mobile phone while operating can be well below the indicated above. This is due to automatic changes in the power level of the device to ensure it only uses the minimum power required to access the network.

This mobile phone can be used in positions other than against your head. By using accessories such as a belt clip holster that maintains a 1.5cm separation with no metal (parts) between it and the body, this mobile phone is certified the compliance with the Japanese technical regulations and the international guidelines.

The World Health Organization has stated that "a large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use."

Please refer to the WHO website if you would like more detailed information.
https://www.who.int/peh-emf/publications/factsheets/en/
Please refer to the websites listed below if you would like more detailed information regarding SAR.
Ministry of Internal Affairs and Communications Website:
https://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/index.htm
Association of Radio Industries and Businesses Website:
https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html (in Japanese only)

NTT DOCOMO, INC. Website:
https://www.nttdocomo.co.jp/english/product/sar/
FUJITSU LIMITED Website:
https://www.fmworld.net/product/phone/sar/ (in Japanese only)

*1 The technical regulations are provided in Article 14-2 of Radio Equipment Regulations, a Ministerial Ordinance of the Radio Act.
*2 Including other radio systems that can be simultaneously used with LTE/FOMA.
*3 Including other radio systems that can be simultaneously used with LTE/FOMA.

◆ Declaration of Conformity

Trade Mark: Fujitsu
Model Name: F-41A
Hereby, Fujitsu Connected Technologies Ltd. declares that the RE product of "F-41A" is in compliance with RED 2014/53/EU.
The full text of the EU DoC is available at the following internet address:
https://www.fmworld.net/product/phone/doc/

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves. Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR*1 limits*2 for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR*1 value, when tested for compliance against the standard was 0.68 W/kg*3 for HEAD and 1.28 W/kg*3 for BODY. While there may be differences between the SAR*1 levels of various phones and at various positions, they all meet*4 the EU requirements for RF exposure.

*1 The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.
*2 The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.
*3 Including other radio systems that can be simultaneously used with cellular radio wave.
*4 Tests for SAR have been conducted using standard operation positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

Radio type/ Description		Transmitter Frequency	Maximum Output Power
GSM	GSM900	880-915MHz	33.0dBm
	DCS1800	1710-1785MHz	30.0dBm
UMTS	FDD I	1920-1980MHz	23.5dBm
LTE	FDD 1	1920-1980MHz	23.5dBm
	FDD 3	1710-1785MHz	23.5dBm
WLAN 2.4GHz	IEEE 802.11b	2400-2483.5MHz	17.0dBm
	IEEE 802.11g	2400-2483.5MHz	17.0dBm
	IEEE 802.11n	2400-2483.5MHz	17.0dBm

Radio type/ Description		Transmitter Frequency	Maximum Output Power
WLAN 5GHz	IEEE 802.11a	5150-5350MHz	13.0dBm
		5470-5725MHz	13.0dBm
	IEEE 802.11n	5150-5350MHz	13.0dBm
		5470-5725MHz	13.0dBm
	IEEE 802.11ac	5150-5350MHz	13.0dBm
		5470-5725MHz	13.0dBm
Bluetooth	Bluetooth	2400-2483.5MHz	11.0dBm
RFID	NFC	13.56MHz	-19dBμA/m at 10m

The manufacturer of this product is Fujitsu Connected Technologies Ltd. with its registered place of business at 7-10-1 Chuorinkan, Yamato-shi, Kanagawa 242-0007, Japan.

◆ Federal Communications Commission (FCC) Notice

- This device complies with part 15 of the FCC rules.
  Operation is subject to the following two conditions :
  ① this device may not cause harmful interference, and
  ② this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications made in or to the radio phone, not expressly approved by the manufacturer, will void the user's authority to operate the equipment.
- The device complies with 15.205 of the FCC Rules.

◆ FCC RF Exposure Information

This model phone meets the U.S. Government's requirements for exposure to radio waves. This model phone contains a radio transmitter and receiver. This model phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy as set by the FCC of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.
The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. Tests for SAR are conducted using standard operating positions as accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the power output level of the phone.
Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to prove to the FCC that it does not exceed the limit

established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC, when tested for use at the ear, is 1.18 W/kg*, and when worn on the body, is 0.71 W/kg*. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements).
While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirements.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Equipment Authorization Search section at https://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ (please search on FCC ID 2AQYEFMP177).
For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. Please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the handset a minimum of 1.0 cm from the body.

- In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the general public is 1.6 Watts/kg (W/kg), averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

* Including other radio systems that can be simultaneously used with cellular radio wave.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules.
These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.
If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

◆ Important Safety Information

AIRCRAFT

Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers flight mode or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

DRIVING

Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

HOSPITALS

Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

PETROL STATIONS

Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.

INTERFERENCE

Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

Pacemakers

Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15 cm be maintained between a mobile phone and a pace maker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and does not carry it in a breast pocket.

Hearing Aids

Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.

For other Medical Devices :

Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

Warning

This device have been tested to comply with the Sound Pressure Level requirement laid down in the applicable EN 50332-1 and/or EN 50332-2 standards. Permanent hearing loss may occur if earphones or headphones are used at high volume for prolonged periods of time.

<Prevention of Hearing Loss>


High sound pressure

Warning: In order to prevent possible hearing damage, do not listen to high volume levels for long periods.

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品及び付属品を輸出又は再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省又は米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権

◆ 著作権・肖像権

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

◆ 商標

- 「FOMA」「おまかせロック」「mopera U」「ビジネスmopera」「WORLD CALL」「WORLD WING」「おサイフケータイ」「iD」「公共モード」「エリアメール」「マチキャラ」「spモード」「Xi」「Xi／クロッシィ」「dメニュー」「dマーケット」「eトリセツ」「イマドコサーチ」「イマドコかんたんサーチ」「あんしん遠隔サポート」「my daiz」「dフォト」「d払い」「dカード」「dポイント」「はなして翻訳」「マイマガジン」「LIVE UX」「オフィスリンク」「スグ電」および「おサイフケータイ」ロゴ「iD」ロゴ「エリアメール」ロゴ「dmenu」ロゴ「dマーケット」ロゴ「あんしん遠隔サポート」ロゴ

「dフォト」ロゴ「d払い」ロゴ「dカード」ロゴ「dポイント」ロゴ「はなして翻訳」ロゴ「ドコモメール」ロゴ「ドコモデータコピー」ロゴ「ドコモ留守電」ロゴ「ドコモ電話帳」ロゴ「データ保管BOX」ロゴ「スケジュール」ロゴ「メモ」ロゴ「マイマガジン」ロゴは（株）NTTドコモの商標または登録商標です。

- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- 「Disney DX」アプリには、ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社やその親会社、ならびにこれらの関連会社（総称して「ディズニー」）の著作権やその他の知的財産権が含まれます。
  利用条件はディズニーデラックス利用規約をご覧ください。
- 「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、その他権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- FacebookおよびFacebookロゴは、Facebook,INC.の商標または登録商標です。
- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Google、Android、Google Play およびその他のマークは、Google LLC の商標です。
- Bluetooth® とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、富士通コネクテッドテクノロジーズ株式会社はライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- Qualcomm aptX audio is a product of Qualcomm Technologies International, Ltd.
  Qualcomm is a trademark of Qualcomm Incorporated, registered in the United States, and other countries, used with permission. aptX is a trademark of Qualcomm Technologies International, Ltd., registered in the United States and other countries, used with permission.
- 「UD新丸ゴ」は、株式会社モリサワより提供を受けており、フォントデータの著作権は同社に帰属します。
  「UD新丸ゴ」は、同社の登録商標または商標です。
- Wi-Fi、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi Alliance、WMM、Wi-Fi CERTIFIED、Wi-Fi CERTIFIEDロゴ、WPA、WPA2、WPA3、Wi-Fi Enhanced Open、Wi-Fi Direct、MiracastはWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- iWnn© OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2020 All Rights Reserved.
- 「Vidhance® and Vidhance® Live Auto Zoom™」はIMINT Image Intelligence AB社の商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Photoshop Express、および Adobe Photoshop Express ロゴはそれぞれ、アメリカ合衆国およびその他の国々におけるAdobe（アドビ社）の登録商標または標章です。
- その他、本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。
- その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

◆ その他

- 本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品の一部分に、ArcSoft, Inc.が開発したモジュールが含まれています。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（i）AVC規格準拠のビデオ（以下「AVCビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）AVCビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
  https://www.mpegla.com をご参照ください。

◆ オープンソースソフトウェア

- 本製品には、Apache License V2.0に基づきライセンスされるソフトウェアに富士通コネクテッドテクノロジーズ株式会社が必要な改変を施して使用しております。
- 本製品には、GNU General Public License（GPL）、GNU Lesser General Public License（LGPL）、その他のライセンスに基づくオープンソースソフトウェアが含まれています。
  当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、ホーム画面で→［設定］→［デバイス情報］→［法的情報］→［サードパーティ ライセンス］をご参照ください。
  オープンソースライセンスに基づき富士通コネクテッドテクノロジーズ株式会社が公開するソフトウェアのソースコードは、下記サイトで公開しています。詳細は下記サイトをご参照ください。
  http://spf.fmworld.net/fujitsu/c/develop/sp/android/

SIMロック解除

本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- ご利用になれるサービス、機能などが制限される場合があります。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除の手続きの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

1 他社のSIMカードを取り付ける

2 本端末の電源を入れる

3 SIMロック解除コードを入力

4 [ロック解除]

✔お知らせ

- SIMロックの解除状態については、ホーム画面で → →［*］［#］［*］［#］［4］［6］［6］［9］［#］［*］［#］［*］をタップするとご確認いただけます。表示の意味は次のとおりです。
  SIMロック：SIMロック状態
  SIMロック解除：SIMロック解除状態
  -：状態不明

※ 本操作は「かんたん電話」アプリからは行えません。標準の電話アプリから操作してください。

索引

索引

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

英数字・記号

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合
航空機内や病院では、各航空会社または各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、電源を切ってください。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合
自動車などを運転中の使用にはご注意ください。法令で定める場合を除き、運転中に本端末の画面を注視したり、手で持って通話することは、罰則の対象となります。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合
静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で本端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

■ カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

歩きながらのスマートフォンの使用はやめましょう

■ スマートフォンや携帯電話の画面を見つめながらの歩行は大変危険です。視野が極端に狭くなり、自分自身だけでなく、周囲の方も巻き込む事故につながることもあります。

■ スマートフォンを使用する際は、安全な場所で立ち止まって使用するようにしてください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

●公共モード（電源OFF）→P83
　電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

●バイブレーション→P139
　電話がかかってきたことを振動でお知らせします。

●マナーモード→P140
　着信音や操作音など本端末から鳴る音を消します（ただし、シャッター音は消せません）。

そのほかにも、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどのオプションサービスが利用できます。→P82

オンラインでのご利用料金・ご利用データ量・ご契約内容の確認・各種お手続きなど

本端末から　dメニュー→My docomo（お客様サポート）

パソコンから　My docomo（ https://www.nttdocomo.co.jp/mydocomo/ ）

●システムメンテナンスやご契約内容などにより、ご利用になれない場合があります。
●「My docomo」のご利用には、「ネットワーク暗証番号」や「dアカウントのID／パスワード」が必要です。

海外からのお問い合わせ先（紛失・盗難・つながらない場合など）

■ドコモの携帯電話からの場合

「+」を画面表示 **-81-3-6832-6600**（無料）

（「+」は「0」をロングタッチします。）

※「+」発信のかわりに国際電話アクセス番号でも発信できます。

■一般電話などからの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6832-6600**（有料）

※日本向け通話料がかかります。
※国際電話アクセス番号については、ドコモのホームページをご覧ください。

受付時間 24時間（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
●お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

総合お問い合わせ先 〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）151（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　午前9：00～午後8：00　（年中無休）

故障お問い合わせ・修理お申込み先

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）113（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24時間　（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモのホームページにてお近くのドコモショップなどをご確認の上、お問い合わせください。

●オンライン修理受付サービスについては、ドコモのホームページをご覧ください。
ドコモのホームページ　https://www.nttdocomo.co.jp/

モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。
※回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

危険です、歩きスマホ。

キケン！水ぬれ充電

あぶない！電池への衝撃

Li-ion 00

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　富士通コネクテッドテクノロジーズ株式会社

’20.5（1 版）
CA92005-0562